

ご挨拶	5
大会日程表	6
会場へのアクセス	12
会場案内図	14
参加者へのお知らせ	16
座長・発表者へのお知らせ	21
日本臨床神経生理学会 理事会・社員総会・各種委員会	25
プログラム I	
会長講演	28
特別講演	28
時実レクチャー	28
島菌レクチャー	28
奨励賞受賞記念講演	28
50回大会記念シンポジウム	29
教育講演	29
ベーシックレクチャー	34
アドバンスレクチャー	43
特別シンポジウム	53
シンポジウム	53
関連学会合同シンポジウム	64
サテライトシンポジウム	76
ワークショップ	77
日本臨床神経生理学会学術大会50回記念講演会・座談会	80
主催セミナー	81
ハンズオンセミナー	82
最優秀演題候補	85
ランチョンセミナー	85
イブニングセミナー	89
Iowa Reunion Symposium	90
ISIN Educational Seminar	90
プログラム II	
一般演題	92
協賛企業一覧	132



# 第50回 日本臨床神経生理学会学術大会



テーマ：臨床神経生理学の五十年を振り返る、-そして未来へ-

会 期：2020年11月26日（木）～28日（土）

会 場：国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地

事務局：関西医科大学整形外科学講座

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

会 長 齋藤 貴徳  
(関西医科大学 整形外科学講座 主任教授)

副 会 長 長谷 公隆  
(関西医科大学 リハビリテーション医学講座 主任教授)

吉村 匡史  
(関西医科大学 精神神経科学講座 病院准教授)

板倉 毅  
(関西医科大学 総合医療センター 助教)

事務局長 谷口慎一郎  
(関西医科大学 整形外科学講座 准教授)

実行委員

荒木 敦	安藤 宗治	大島 秀規	木下 利彦	幸原 伸夫	鈴木 俊明
園生 雅弘	高橋 修	藤井 正美	目崎 高広	安原 昭博	

プログラム委員 (五十音順)

相原 正男	赤松 直樹	荒木 敦	安藤 宗治	飯田 幸治
池田 昭夫	生駒 一憲	石井 良平	石郷 景子	出江 紳一
稲垣 真澄	今井 富裕	鵜飼 聡	宇川 義一	牛田 享宏
鬼塚 俊明	大島 秀規	小川 潤	岡島 康友	金子 文成
柿木 隆介	金井 数明	川合 謙介	川端 茂徳	貴島 晴彦
木下 利彦	軍司 敦子	幸原 伸夫	児玉 三彦	後藤 純信
後藤 哲哉	小林 勝弘	小森 哲夫	酒田あゆみ	齋藤 貴徳
佐々木達也	鈴木 俊明	関口 兼司	園生 雅弘	高松 直子
谷口慎一郎	飛松 省三	中里 信和	長田美智子	野寺 裕之
信田 進吾	長谷 公隆	長谷川和重	畑中 裕己	花島 律子
羽田 康司	原 恵子	原 元彦	平田 幸一	福多 真史
藤井 正美	藤原 俊之	前原 健寿	正門 由久	松本 理器
三國 信啓	美馬 達哉	目崎 高広	安原 昭博	矢部 博興
吉村 匡史				

# 第50回日本臨床神経生理学会学術大会 第57回日本臨床神経生理学会技術講習会

## ご挨拶

この度、日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会を、2020年11月26日(木)から28日(土)の3日間国立京都国際会館におきまして、開催させて頂く運びとなりました。併せて第57回日本臨床神経生理学会技術講習会を11月27日(金)から28日(土)に開催させて頂きます。伝統と長い歴史を持つ日本臨床神経生理学会の第50回記念大会を主催させて頂くことを心より光栄に存じております。本学会は筋電図学会と脳波学会が昭和46年に合流し、脳波・筋電図学会になったのが始まりです。その後、より広い分野での議論を尽くすべく平成12年には名称を日本臨床神経生理学会と変更し現在に至っております。当初より、電気生理学的手法は神経系の機能を評価可能な唯一の手段として、その新たな技術開発、記録波形の起源の同定などに本学会が大きく貢献してきたことは周知の事実でございます。神経や電気生理学というキーワードで結ばれた各研究者が、臨床的専門性を越えて集学的に議論するという我が国においても稀な環境を提供し、その発展に寄与してまいりました。関連する科は脳神経内科、精神科、脳外科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、耳鼻科、麻酔科、臨床心理科、臨床検査科など非常に多岐にわたっておりますが、逆に同じ現象でも専門科によっては大きく見方が異なることもあり、お互いに切磋琢磨しながらより高いレベルへと昇華させ研究を発展させてまいりました。

学術大会のテーマは“臨床神経生理学の50年を振り返る－そして未来へ－”とさせて頂きました。今年は本学会が現在の名称になって50年という節目を迎えました。これは多くの偉大な先達の先生方のたゆまぬ努力の結果得られたもので、我が国で電気生理学に関連した多くの分野で世界をリードする研究成果を積み重ねてきたことは国際的にも注目されております。我々は今年この節目を迎えるに際し、現在の本学会会員の皆様全員でこれまでの本学会の歴史を振り返り、過去を学ぶことによりさらなる発展につなげていく機会にしたいと思っております。

第50回記念大会の事業と致しましては、初日にはこれまでの本学会歴代理事長とLegendによる座談会と脊髄再生医療のシンポジウムを、2日目にはノーベル賞を受賞された京都大学の山中伸弥教授の研究成果をシンポジウムで再現して頂くため、iPS細胞を用いた臨床応用のシンポジウムを予定しております。脊髄再生、パーキンソン病治療、角膜再生、心筋再生などの我が国における第一人者に参加していただき、我が国のiPS医療の未来を語って頂く予定です。さらに、本学会の50周年記念事業委員会を中心に記念誌の作成が現在行われておりますが、本委員会と協力して本学会中に展示する、本学会の歴史を振り返るパネルを作成し、休息室に展示しております。また、休憩時間には本学会の歴史を振り返るビデオも流す予定です。是非、会員の皆様には注目してご覧頂いただき、本学会の長い歴史を振り返っていただければと思っております。また、記念大会の特別企画として20に及ぶ関連学会との合同シンポジウムを企画しました。是非、本学会員の皆様もこの合同シンポジウムに注目していただき、ディスカッションに参加して頂くことにより皆様方の研究の発展につなげていただければ幸甚に存じます。

今年の学会は私の専門分野の一つである術中モニタリングの国際学会7th ISIN(International Society of Intraoperative Neurophysiology)の会長を拝命し、同時開催とさせて頂く予定でした。しかし、コロナ禍の中、本年春には中止の決定がされましたが、代わりに2日目の27日にハンズオンの部屋でISINとのコラボレーションセッションを行います。世界中の著名な術中モニタリングの研究者に教育的な講義を行っていただきます。是非、ご注目ください。

現在、約3700名の会員を擁する本学会ですが、今年の総会は現会員の皆様が本学会の歴史を振り返る絶好の機会だと思っております。あいにくコロナ禍で通常の学会が開くことが出来なくなり、会長として現地に来れない学会員を想定し、早くからhybride + on demand開催で準備を進めてまいりました。本来は会員の皆様全員が京都に集合していただき、本学会の活動を内外に周知していただく機会とさせて頂くと共に、京都観光のベストシーズンですので寺院も散策し紅葉に彩られ美しい日本の伝統美を楽しんでいただきたと考えておりました。しかし、それも困難となった現状を鑑み、学会の新しい形を本学会から全国に提案すべく現在考え得る最高の学会形式を具現化したつもりです。名誉会員、理事、代議員の皆様をはじめとする会員の皆様には周りの非会員の先生方もお誘い合わせの上、現地あるいはwebでご参加頂き、本学会の歴史的通過点を一緒に体験し、また目撃者となっていただき、これからの新たな50年のスタートを多くの先生方とともに切りたいと思っております。

最後になりましたが全学会員の皆様のさらなる発展と本学会が未来に向けて更なる深化を遂げることを祈念し、大会長の挨拶とさせていただきます。

第50回日本臨床神経生理学会学術大会

会 長 齋藤 貴徳

関西医科大学 整形外科学教室 主任教授

## 第50回日本臨床神経生理学会学術大会日程表

第1日 11月26日(木)

会場名	7:00	8:00	8:10	8:30	8:50	9:00	10:00	10:05	10:35	10:40	11:00	11:40	11:50	12:50
第1会場 (2F A)														
			座長: 中里 信和 演者: 齋藤 貴徳	開会式	表彰式	会長講演	特別講演1 神経伝導検査の 波形分析 座長: 谷口慎一郎 演者: 木村 淳	奨励賞受賞 記念講演1 座長: 野寺 裕之 演者: 能登 祐一	特別講演2 ICUにおける重症患者の Bedside EEG Monitor 座長: 池田 昭夫 演者: 山田 徹	ランチョン セミナー1 座長: 齋藤 貴徳 演者: 宮下 修行				
第2会場 (2F B-1)														
			教育講演1 ギラン・バレー症候群の ガイドラインについて 座長: 薬師寺祐介 演者: 国分 則人	教育講演2 日本脊髄神経学会モニタリング 委員会としての活動と今後の展望 —この10年を振り返って— 座長: 町田 正文 演者: 松山 幸弘	教育講演3 神経伝導ブロックの 新しい考え方 座長: 梶 龍兒 演者: 桑原 聡	ランチョン セミナー2 座長: 鈴木 俊明 演者: 長谷 公隆 共催: アニマ株式会社								
第3会場 (2F B-2)														
			Basic Lecture 1 筋電計の基礎 フィルタ、サンプリング 周波数と 高橋 修 演者: 内藤 寛 座長: 高橋 修	Basic Lecture 2 NCSの基礎: 神経 伝導速度を上げるため のルーチン検査 における注意 座長: 津田 笑子 演者: 神林 隆道	Basic Lecture 3 NCSの基礎: NCS始めて半年、 軸索障害と5回に1回ふと 脱髄による普通の疑問 に答えます 座長: 畑中 裕己 演者: 三澤 園子 畑中 裕己	ランチョン セミナー3 座長: 根尾 昌志 演者: 川口 善治 共催: グローパス メディカル株式会社								
第4会場 (1F C-1)														
			Advanced Lecture 1 皮質脳波判読の 基本(てんかん性 放電を中心に) 座長: 柳澤 琢史 演者: 小林 勝哉 柳澤 琢史	Advanced Lecture 2 てんかんと 睡眠 関連疾患 座長: 大倉 陸美 演者: 茶谷 裕 大倉 陸美	Advanced Lecture 3 睡眠を動かす 薬剤 座長: 立花 直子 演者: 杉田 尚子 杉田 尚子 立花 直子	ランチョン セミナー4 座長: 神 一敬 演者: 山野 光彦 共催: エーザイ株式会社								
第5会場 (1F C-2)														
			関連学会合同シンポジウム1 GBS/CIDPにおける生物学・ 免疫学と電気生理学の接点 (日本神経治療学会・日本神経学会) 座長: 桑原 聡/小池 春樹 演者: 馬場 広子/小池 春樹/ 澁谷 和幹/桑原 聡	シンポジウム3 電気生理検査における医師と 検査技師の連携 (技師はどこまでできるべきか) 座長: 幸原 伸夫/高橋 修 演者: 高橋 修/松下 隆史/ 石郷 景子/大崎 裕亮/幸原 伸夫	ランチョン セミナー5 座長: 山田 宏 演者: 小谷 善久 共催: 日本メドトロニック 株式会社									
第6会場 (2F I)														
			シンポジウム1 神経筋接合部の臨床検査: 感度と特異度 座長: 今井 富裕 演者: 中根 俊成/中村 友紀/ 畑中 裕己/山本 大輔	シンポジウム4 自閉症脳の不思議を紐解く 座長: 相原 正男/稲垣 真澄 演者: 山崎 貴男/軍司 敦子/ 金村 英秋	ランチョン セミナー6 座長: 園生 雅弘 演者: 黒川 勝己 共催: 日本製薬株式会社									
第7会場 (2F J)														
			シンポジウム2 発達障害の事象関連脳活動: 事象関連電位を中心に 座長: 稲垣 真澄/板垣俊太郎 演者: 太田 豊作/加賀 佳美/ 池田 一成/板垣俊太郎	関連学会合同シンポジウム3 急性症候性発作(acute symptomatic seizure: ASS) (日本神経救急学会) 座長: 横田 裕行/永山 正雄 演者: 本多 満/下竹 昭寛/ 中村 謙介/恩田 秀賢/久保田有一	ランチョン セミナー7 座長: 松山 幸弘 演者: 川端 茂徳 共催: 株式会社リコー									
第8会場 (2F K)														
			関連学会合同シンポジウム2 神経生理学的アプローチ による心理学研究 (日本生理心理学会) 座長: 勝二 博亮/軍司 敦子 演者: 鈴木 浩太/田原 敬/ 木田 哲夫/木村 元洋/高原 円	関連学会合同シンポジウム4 ボツリヌス「+α」で もう一段上を目指す (日本ボツリヌス治療学会) 座長: 正門 由久/有村 公良 演者: 古川 俊明/衛藤 誠二/ 鈴木 俊明/村瀬 永子										
ハンズオン会場① (5F 509)														
			主催セミナー1 脳波ハンズオン 司会: 池田 昭夫 講師: 人見 健文/榎 日出夫/三枝 隆博/ 夏目 淳/神 一敬/菅野 秀宣											
ハンズオン会場② (5F 510)														
			ハンズオンセミナー1 (VNSコース) てんかんに対する迷走神経刺激 (VNS) 装置の 使用方法に関するレクチャーとハンズオン チーフコーディネーター: 山本 貴道 コーディネーター: 原 恵子 ハンズオン講師: 山本 貴道/赤松 直樹/川合 謙介 共催: リヴァノヴァ株式会社	ハンズオン セミナー2 運動単位電位を捉える コーディネーター: 小森 哲夫 ハンズオン講師: 阿部 達哉/峰須賀明子 共催: 日本光電工業株式会社										
展示会場 (1F・2Fエレベーターホール付近)														

国立京都国際会館



## 第 50 回日本臨床神経生理学会学術大会日程表

第 2 日 11 月 27 日 (金)

会場名	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	
第 1 会場 (2F A)		8:00	9:00	9:20	10:20	10:40	11:40	
		<b>教育講演 8</b> デジタル脳波判読術 座長:後藤 純信 演者:飛松 省三		<b>教育講演 9</b> 脊髄誘発電位 研究の始まりから 脊髄機能診断まで 座長:小川 潤 演者:四宮 謙一		<b>教育講演 10</b> 分かりやすい 閾値追跡法の 臨床応用 座長:辻 貞俊 演者:梶 龍兒		<b>ランチョン セミナー 8</b> 座長:齋藤 貴徳 演者:阿部 栄二 共催:ミズホ株式会社
第 2 会場 (2F B-1)		8:00	9:00	10:00	10:10	10:40	11:40	
		<b>教育講演 13</b> 運動誘発電位検査を用いた 脊椎脊髄疾患の評価 座長:谷 俊一 演者:中西 一義		<b>教育講演 14</b> 脳波記録と判定上に於ける アーチファクトの鑑別 座長:荒木 敦 演者:山田 徹		<b>Basic Lecture 7</b> 安静時自発放電 座長: 演者: 匡 幸原 伸夫	<b>Basic Lecture 8</b> 針筋電図: 筋萎縮性側索 随患収縮時 硬化症における 活動 検査の役割 座長: 演者: 匡 幸原 伸夫 関口 兼司 葉内 匡 関口 兼司 葉内 匡	<b>ランチョン セミナー 9</b> 座長:小澤 浩司 演者:齋藤 充 共催:アムジェン株式会社/ アステラス製薬株式会社
第 3 会場 (2F B-2)		8:00	9:00	9:20	10:20	10:40	11:40	
		<b>Advanced Lecture 7</b> 経頭蓋直流 身体性 電気刺激の システム科学と 臨床活用 リハビリ 座長: テーション 森岡 周 佐伯 覚 演者: 佐伯 覚 森岡 周		<b>Advanced Lecture 8</b> 脳腫瘍切除時の 悪神経腫瘍 機能的な 小脳橋角部腫瘍の 摘出限界線の 術中神経 術中判断 生理モニタリング 座長: 演者: 河野 道宏 鎌田 恭輔 鎌田 恭輔 河野 道宏		<b>Advanced Lecture 9</b> 術中VEP 覚醒下 モニタリングの 手術中の 臨床的有用性 脳機能 座長: モニタリング 演者: 三國 信啓 佐々木達也 佐々木達也 三國 信啓		<b>ランチョン セミナー 10</b> 座長:正門 由久 演者:有村 公良 共催:グラクソ・スミスクライン 株式会社
第 4 会場 (1F C-1)		8:00	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	
		<b>ワークショップ 4</b> 脳深部刺激療法の現状と未来 座長:深谷 親/藤井 正美 演者:小林 正人/藤井 正美/ 山田 和慶/杉山 憲嗣		<b>ワークショップ 5</b> 症例から学ぶ 脳波のピットフォール 座長:飛松 省三/池田 昭夫 演者:重藤 寛史/神 一敬/ 寺田 清人/松本 理器		<b>ランチョン セミナー 11</b> 座長:吉村 匡史 演者:渡辺 裕貴 共催:第一三共株式会社/ ユーシービージャパン株式会社		
第 5 会場 (1F C-2)		8:20	9:50	10:10	11:40	12:00	13:00	
		<b>シンポジウム 13</b> てんかん外科における 脳機能モニタリング 座長:三國 信啓/松本 理器 演者:福多 真史/岩崎 真樹/ 菊池 隆幸/國枝 武治		<b>シンポジウム 15</b> 上肢絞扼性神経障害の診療の実際 ~各診療科における役割~ 座長:信田 進吾/逸見 祥司 演者:大石知瑞子/植松 明和/ 栗原 由佳/原 由紀則		<b>ランチョン セミナー 12</b> 座長:内山 卓也 演者:田島 文博 共催:帝人ヘルスケア 株式会社		
第 6 会場 (2F I)		8:20	9:50	10:10	11:40	12:00	13:00	
		<b>シンポジウム 14</b> 機能的神経障害とその電気生理 座長:園生 雅弘/吉村 匡史 演者:吉村 匡史/園生 雅弘/ 村田 佳子/渡辺 俊之		<b>関連学会合同シンポジウム 9</b> リハビリテーション治療における 歩行分析の有用性 (日本リハビリテーション医学会) 座長:長谷 公隆/藤原 俊之 演者:長谷 公隆/伊澤 奈々/ 大畑 光司/門根 秀樹		<b>ランチョン セミナー 13</b> 座長:矢部 博興 演者:木下 利彦 共催:大日本住友製薬 株式会社		
第 7 会場 (2F J)		8:00	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	
		<b>関連学会合同シンポジウム 7</b> 小児脳波・脳磁図研究の最新線 (日本小児神経学会) 座長:夏目 淳/小林 勝弘 演者:柴田 敬/岡西 徹/ 城所 博之/柳生 一自		<b>関連学会合同シンポジウム 10</b> 生体親和性材料の最新知見 (日本整形外科学会) 座長:松本 守雄/山田 宏 演者:船山 徹/早乙女進一/ 海渡 貴司/藤林 俊介		<b>ランチョン セミナー 14</b> 座長:石井 賢 演者:山本 慎司 共催:メドトロニック ソファモダネック株式会社		
第 8 会場 (2F K)		8:20	9:50	10:10	11:40	12:00	13:00	
		<b>関連学会合同シンポジウム 8</b> 精神・神経分野におけるtDCS研究 ~機序解明から臨床利用まで~ (日本薬物脳波学会) 座長:尾内 康臣/西田圭一郎 演者:尾内 康臣/宮岸 良彰/ 高橋 隼/西田圭一郎/山田 悠至		<b>関連学会合同シンポジウム 11</b> PSGから見る神経および筋疾患 (日本臨床睡眠医学会) 座長:立花 直子/堀 有行 演者:村木 久恵/宮本 雅之/ 小栗 卓也/山内 基雄		<b>ランチョン セミナー 15</b> 座長:園生 雅弘 演者:関口 兼司 共催:CSLベーリング 株式会社		
ハンズオン会場① (5F 509)		ISIN Educational Seminar						13:00
ハンズオン会場② (5F 510)			9:00	<b>ハンズオンセミナー 6 (SCSコース)</b> 頑痛に対する脊髄刺激 (SCS) 装置の 使用方法に関するレクチャーとハンズオン コーディネーター:市川 忠 ハンズオン講師:市川 忠/大島 秀規/上利 崇 共催:アポットメディカルジャパン合同会社/ 日本メドトロニック株式会社/ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社				
展示会場 (1F・2Fエレベーターホール付近)		8:00						

国立京都国際会館



13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00	
13:15		14:15		14:40		15:40		16:00		18:00		18:30		20:00	
<b>教育講演 11</b> 頭蓋内脳波 state-of-the art 座長:長峯 隆 演者:松本 理器				<b>教育講演 12</b> 圧迫性脊髄症・ 神経根症の機能診断 座長:山田 宏 演者:谷 俊一		<b>50回大会記念シンポジウム</b> iPS細胞の臨床応用－現状と未来－ 座長:人見 浩史/木村 淳 演者:六車 恵子/高橋 淳/ 西田 幸二/澤 芳樹				<b>第50回記念大会 セレモニー</b>					
13:15		14:15		14:30		15:30		15:45		16:45		17:00		18:00	
<b>Basic Lecture 9</b> デジタル 成人、高齢者の 脳波の判読 正常覚醒脳波 座長: 賦活の意義 木下真幸子 座長: 演者: 寺田 清人 寺田 清人 木下真幸子		<b>Basic Lecture 10</b> 小児の 正常型と 脳波から アーチファクト: わかること 誤判読しない (正常脳波) ためのTIPS 座長: 座長: 重藤 寛史 夏目 淳 演者: 重藤 寛史		<b>Basic Lecture 11</b> 睡眠脳波の きれいな 判読 脳波を 座長: 記録する 石郷 景子 座長: 演者: 宇佐美清英 宇佐美清英 石郷 景子		<b>Basic Lecture 12</b> 意識障害の 意識障害の 脳波: 脳波 代謝性・ 座長: 中毒性脳症 座長: 座長: 下竹 昭寛 久保田有一 演者: 演者: 久保田有一 下竹 昭寛									
13:15		14:15		14:30		15:30		15:45		16:45		17:00		18:00	
<b>Advanced Lecture 10</b> 超適応的 ミオクローヌス Wada testによる てんかん オーダーメイド的 座長: 局所機能評価 座長: 座長: 大沢伸一郎 演者: 人見 健文 大沢伸一郎 人見 健文		<b>Advanced Lecture 11</b> 脳波を30分で 薬物と脳波 好きになって てんかん 座長: もらうには 座長: 池田俊一郎 池田俊一郎 演者: 池田俊一郎 柿坂 庸介		<b>Advanced Lecture 12</b> 正常脳波の判読 正常脳波の 成人編 判読 一いつしよに 小児編 脳波を読むつう 座長: 座長: 神吉 理枝 神吉 理枝 演者: 橋本 修治 井上 岳司		<b>Advanced Lecture 14</b> 認知症の脳波 脳炎の脳波: 座長: 座長: どのよう 三枝 隆博 利用するべきか? 演者: 赤松 直樹 赤松 直樹 赤松 直樹 三枝 隆									
13:15		15:30		15:45		16:45		17:00		18:00					
<b>関連学会合同シンポジウム 12</b> 片頭痛の病態生理研究の最新展開 (日本頭痛学会) 座長:目崎 高広/竹島多賀夫 演者:平田 幸一/古和 久典/鈴木 圭輔/ 宇佐美清英/團野 大介				<b>Advanced Lecture 13</b> 経頭蓋 神経変性 磁気刺激の 疾患と 基本 TMS 座長: 座長: 代田悠一郎 花島 律子 演者: 花島 律子 花島 律子 代田悠一		<b>イブニング セミナー</b> 座長:下野九理子 演者:永瀬 裕朗 共催:武田薬品工業株式会社									
13:15		14:45		15:00		16:30		16:45		18:15					
<b>関連学会合同シンポジウム 13</b> 重症筋無力症診療ガイドラインupdate (日本神経学会) 座長:今井 富裕/園生 雅弘 演者:今井 富裕/鈴木 重明/ 村井 弘之/奥村明之進		<b>関連学会合同シンポジウム 16</b> 神経痛性筋萎縮症 (NA) : 新しい概念を巡って (日本末梢神経学会) 座長:園生 雅弘/加藤 博之 演者:園生 雅弘/山本 真一/ 加藤 博之/関口 兼司/宮本 勝一		<b>関連学会合同シンポジウム 19</b> ALSの新たな展開 (日本神経治療学会・日本神経学会) 座長:桑原 聡/横田 隆徳 演者:澁谷 和幹/東原 真奈/ 能登 祐一/青木 正志											
13:15		14:45		15:00		16:30		16:45		18:05					
<b>関連学会合同シンポジウム 14</b> 整形外科領域における 神経・関節のエコー (日本MIST学会) 座長:星野 雅洋/佐藤 公治 演者:中島 祐子/仲西 康顕/ 宮武 和馬/高田 知史/若崎 博		<b>関連学会合同シンポジウム 17</b> 超適応の臨床生理学 (日本ニューロリハビリテーション学会) 座長:出江 紳一/太田 順 演者:太田 順/温 文/ 前田 貴記/会津 直樹		<b>最優秀演題候補</b> 座長:木下 利彦 演者:十河 正弥/田村健太郎/ 江口 克紀/本多 菜/ 和田 真孝/立野 貴大											
13:15		14:45		15:00		16:30		16:45		18:15					
<b>シンポジウム 16</b> 脳卒中上肢運動麻痺への 様々なアプローチ 座長:菅原 憲一/鈴木 俊明 演者:鈴木 俊明/野島 一平/ 金子 文成/柴田恵理子		<b>シンポジウム 17</b> F波からみた運動療法への展開 座長:鈴木 俊明/浅井 仁 演者:嘉戸 直樹/高崎 浩壽/ 文野 住文/竹中 孝博/東藤真理奈		<b>関連学会合同シンポジウム 20</b> 痛みの客観的な評価と臨床活用への挑戦 (日本運動器疼痛学会) 座長:牛田 享宏/鈴木 俊明 演者:西原 真理/泉 仁/ 田中 創/山本 将揮											
13:15		14:45		15:00		16:30		17:00		18:00					
<b>関連学会合同シンポジウム 15</b> できれば得する、神経筋エコー (神経筋超音波研究会・日本脳神経超音波学会) 座長:高瀬 憲作/能登 祐一 演者:濱口 浩敏/塚本 浩/ 辻 有希子/藤井 康友		<b>関連学会合同シンポジウム 18</b> 神経生理学から紐解く ニューロモデュレーション治療 (日本定位・機能神経外科学会) 座長:杉山 憲嗣/藤井 正美 演者:山田 和慶/大島 秀規/ 落合 卓/細見 晃一/内山 卓也		<b>学術委員会</b>											
13:00		15:00		16:20		18:20									
<b>ISIN Educational Seminar</b>				<b>ハンズオンセミナー8</b> 神経筋超音波セミナー コーディネーター:野寺 裕之 ハンズオン講師:塚本 浩/ 濱口 浩敏/高松 直子 共催:GEヘルスケアジャパン株式会社											
13:20		15:20		16:20		18:20									
<b>ハンズオンセミナー7</b> 頸椎人工椎間板 ハンズオン ハンズオン講師:高見 俊宏 実施:下川 宣幸 共催:メドトロニックソファモアダネック株式会社		<b>ハンズオンセミナー 9</b> (DBSコース) 不随意運動症に対する脳深部刺激(DBS)装置の 使用方法に関するレクチャーとハンズオン コーディネーター:深谷 親 ハンズオン講師:下 泰司/旭 雄士/宮城 靖 共催:アポットメディカルジャパン合同会社/ 日本メドトロニック株式会社/ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社													
				17:00											

## 第50回日本臨床神経生理学会学術大会日程表

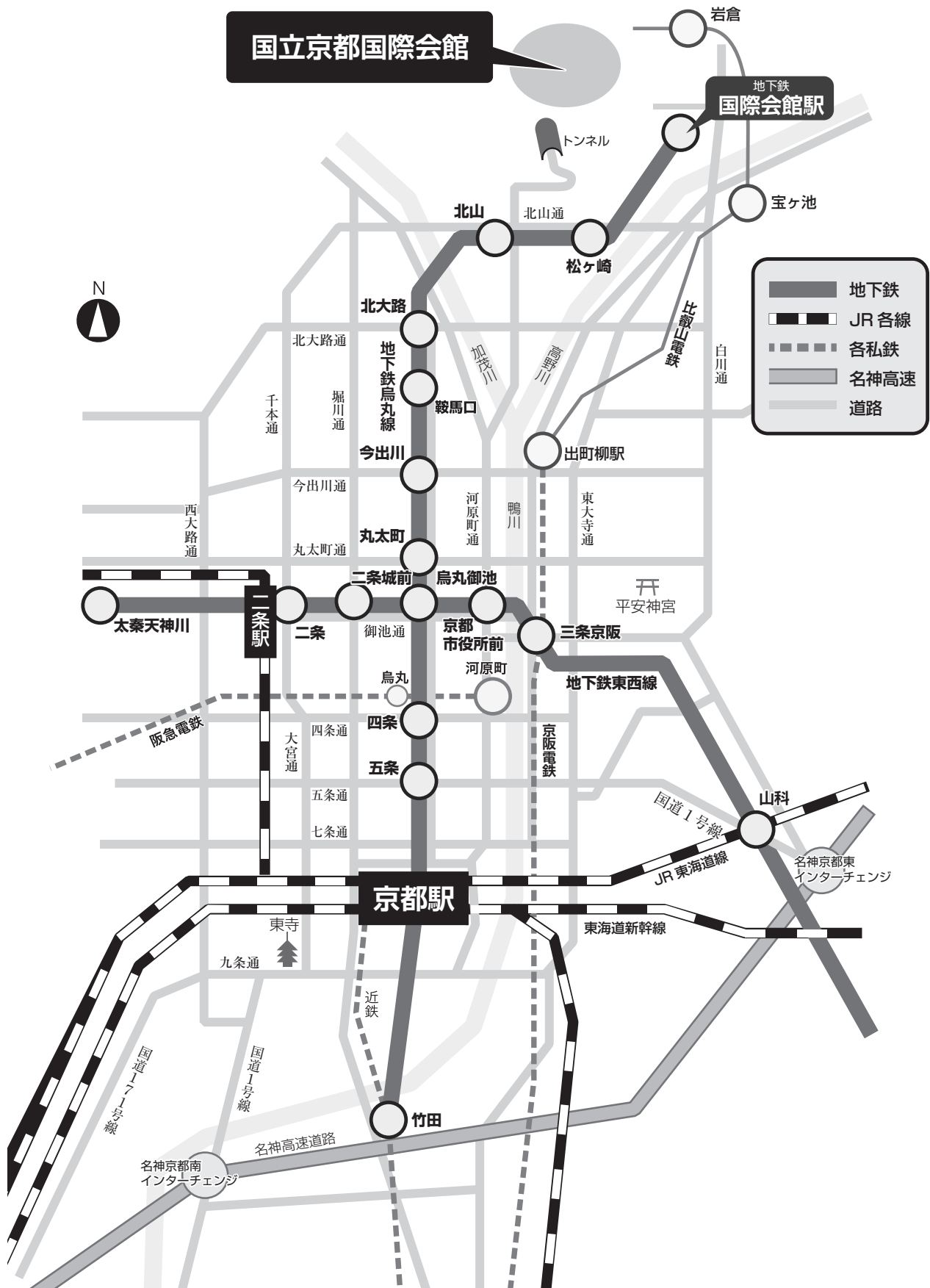
第3日 11月28日(土)

会場名	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00			
第1会場 (2F A)			8:30 8:35	9:05	9:55	10:40	10:55	11:45	12:15	12:25
			開講式 オリエンテーション	技術講習会1 知っておこう! MEの知識 司会:板倉 毅 演者:内藤 寛	技術講習会2 極めよう!脳波検査 (基礎から判読まで) 司会:酒田あゆみ 演者:杉山 邦男	技術講習会3 症例から学ぶ術中 モニタリング 司会:高谷 恒範 演者:佐々木一朗	技術講習会4 神経伝導検査 における基本の 理解と実践 司会:高橋 修 演者:田代 祥一	技術講習会5 体性感覚誘発 電位検査の基本 司会:谷口慎一郎 演者:園生 雅弘	次期講習会開催案内	
第2会場 (2F B-1)		7:30 8:00		8:30	9:30	9:45	10:45	11:00	12:00	12:15
		第51回 大会 プログラム 委員会	教育講演15 脊髄誘発電位と共に 一基礎から臨床へー 座長:岩崎 博 演者:里見 和彦	教育講演16 CSA、NA、 胸郭出口症候群 座長:齋藤 貴徳 演者:園生 雅弘	教育講演17 脊髄計の開発 ～技術的側面から 座長:川端 茂徳 演者:足立 善昭	ランチョン セミナー16 座長:小谷 善久 演者:南 敏明 共催:第一三共株式会社				
第3会場 (2F B-2)			8:30	9:30	9:45	10:45	11:00	12:00	12:15	
			Basic Lecture 13 体性感覚誘発 電位(SEP)の 基礎:パターン認 識しよう 座長:尾崎 勇 演者:尾崎 勇 大石知瑞子	Basic Lecture 14 神経工コー 基礎 超音波検査の 臨床応用 座長:山崎 博輝 演者:塚本 浩 山崎 博輝	Basic Lecture 15 表面筋電図 座長:日崎 高広 演者:金子 文成 金子 文成 日崎 高広	Basic Lecture 16 シストニアの ボツリヌス 治療 座長:金子 文成 演者:日崎 高広	ランチョン セミナー17 座長:原田 智久 演者:伊藤 全哉 共催:ジノマーバイオメット 合同会社			
第4会場 (1F C-1)			8:30	9:30	9:45	10:45	11:00	12:00	12:15	
			Advanced Lecture 15 人工知能の 臨床神経生理学 への応用:針筋 電図放電の判別 座長:有村 公良 演者:野寺 裕之	Advanced Lecture 16 保険収載に みあった SFEMG 検査ガイド 座長:野寺 裕之 演者:有村 公良	Advanced Lecture 17 振戦・ シストニアの 機能外科 座長:有村 公良 演者:橋本 隆男 橋本 隆男 有村 公良	Advanced Lecture 18 myotonia, 周期性 四肢麻痺 座長:橋本 隆男 演者:有村 公良	Advanced Lecture 19 脊髄由来の 神経障害性 疼痛を考える 座長:大島 秀規 演者:牛田 亨宏 牛田 亨宏	Advanced Lecture 20 疼痛に対する 脊髄刺激法の 現状 座長:牛田 亨宏 演者:大島 秀規	ランチョン セミナー18 座長:吉村 匡史 演者:工藤 喬 共催:ファイザー株式会社/ 大日本住友製薬株式会社	
第5会場 (1F C-2)			8:30	10:00	10:20	11:50	12:15			
			関連学会合同シンポジウム21 精神疾患に対する手法・治療のあれこれ (日本薬物脳波学会) 座長:木下 利彦/吉村 匡史 演者:池田俊一郎/獄北 佳輝/ 安田 和幸/高橋 隼/ 齊藤 幸子	シンポジウム19 TMSを用いた神経生理学的研究と 精神科領域への臨床応用 座長:鬼頭 伸輔/野田 賀大 演者:高橋 隼/松田 勇紀/ 北城 圭一/野田 賀大	ランチョン セミナー19 座長:木下 利彦 演者:平田 幸一 共催:MSD株式会社					
第6会場 (2F I)			8:30	10:00	10:20	11:50	12:15			
			ワークショップ6 経頭蓋電磁気刺激の 現状と課題 座長:後藤 純信/緒方 勝也 演者:桐本 光/中園 寿人/ 寺尾 安生	ワークショップ7 磁気刺激でのピットホール 座長:宇川 義一/榎本 雪 演者:松本 英之/代田悠一郎/ 清水 崇宏	ランチョン セミナー20 座長:畑中 裕己 演者:久保田智哉 /増田 眞之 共催:アロクソフアーマー合同社					
第7会場 (2F J)			8:30	10:00	10:20	11:50				
			シンポジウム18 片麻痺の歩行障害の 運動学的理解と歩行訓練 座長:出江 紳一/加賀谷 斉 演者:加賀谷 斉/関口 雄介/ 脇田 正徳/大脇 大	関連学会合同シンポジウム22 てんかん外科と神経生理学の融合 (日本てんかん外科学会) 座長:貴島 晴彦/三國 信啓 演者:鎌田 恭輔/岩崎 真樹/ 國井 尚人/前原 健寿						
展示会場 (1F・2Fエレベーターホール付近)		8:00								

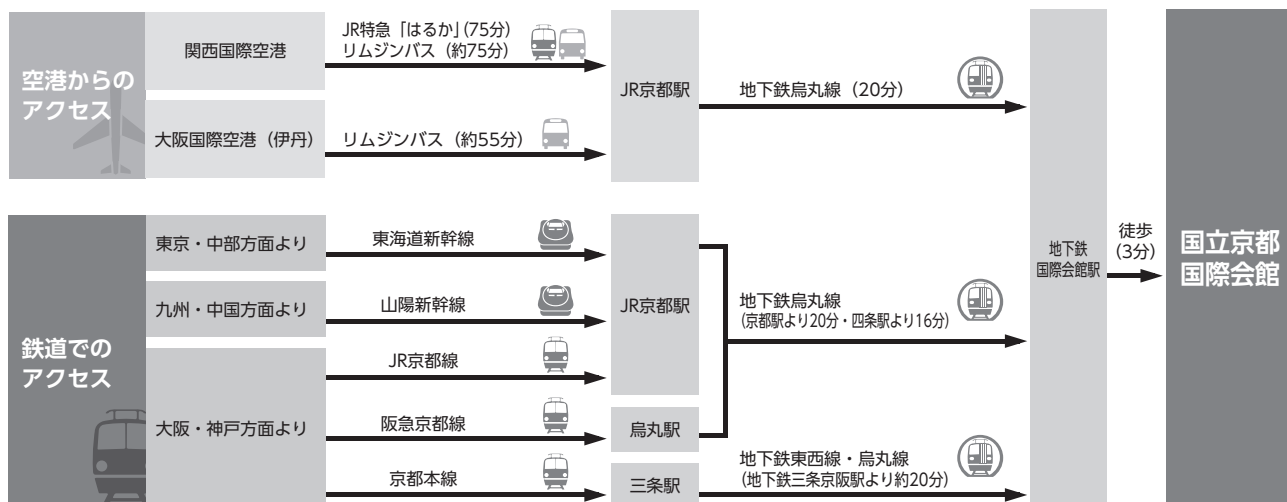
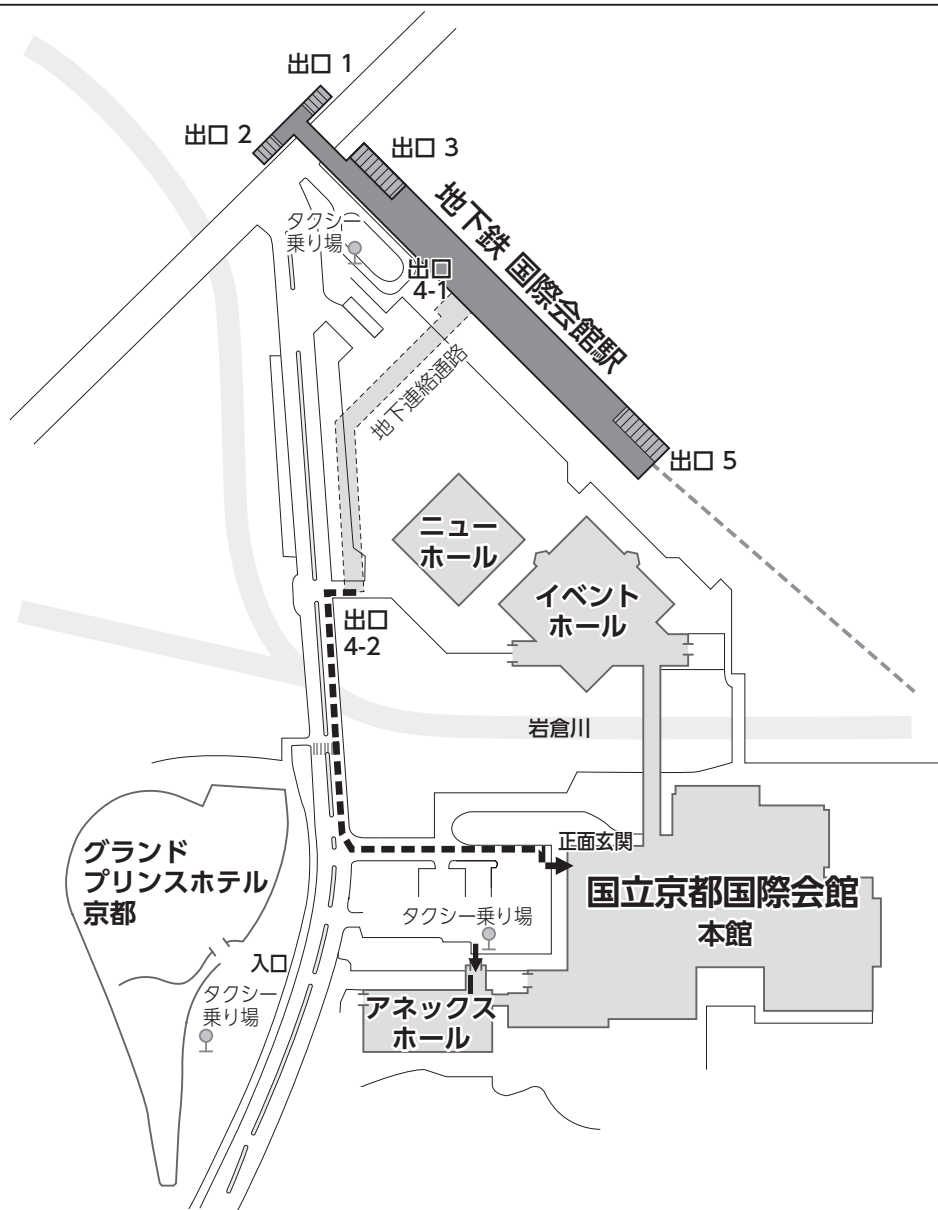
国立京都国際会館



# 会場へのアクセス

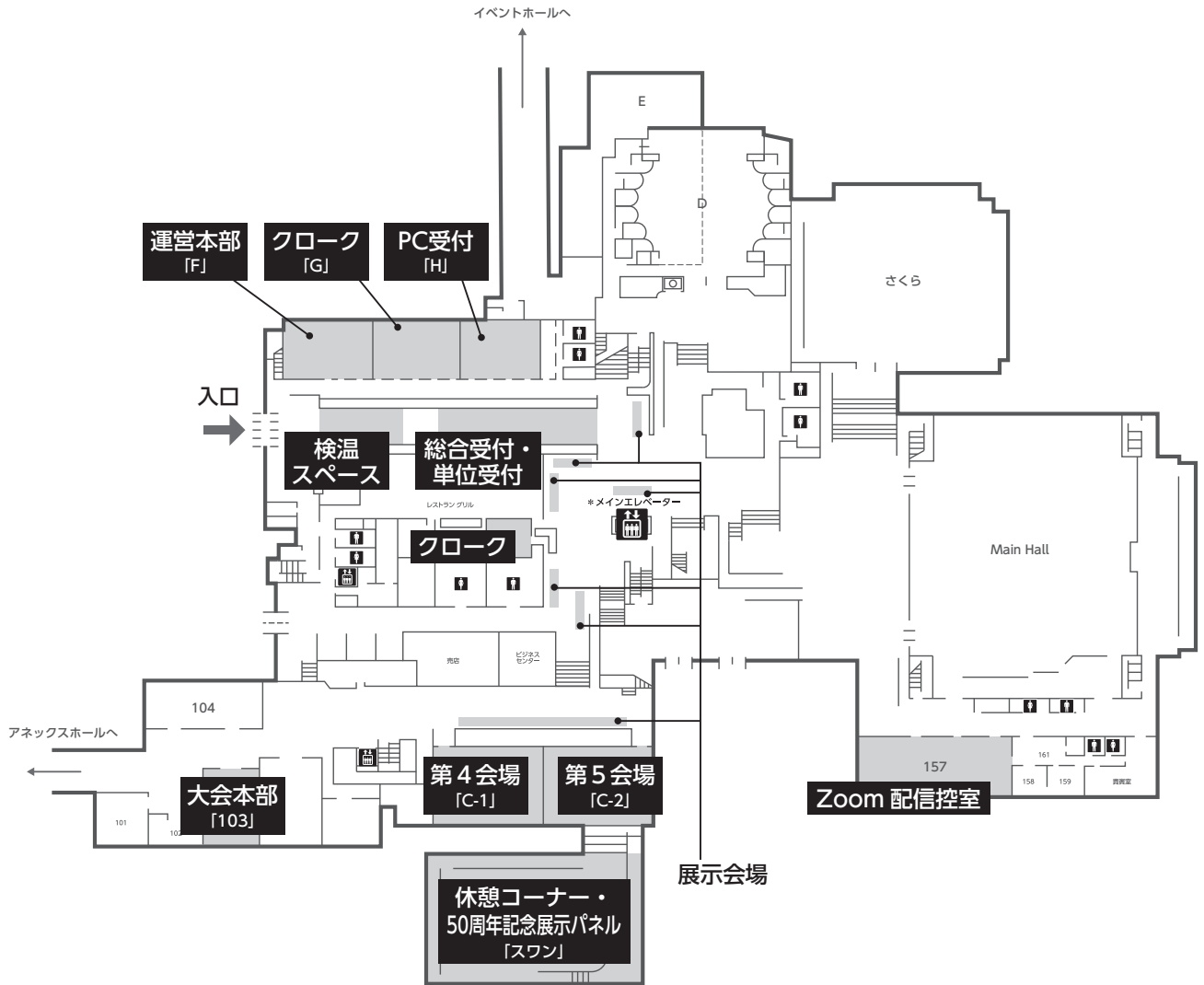


## 会場へのアクセス



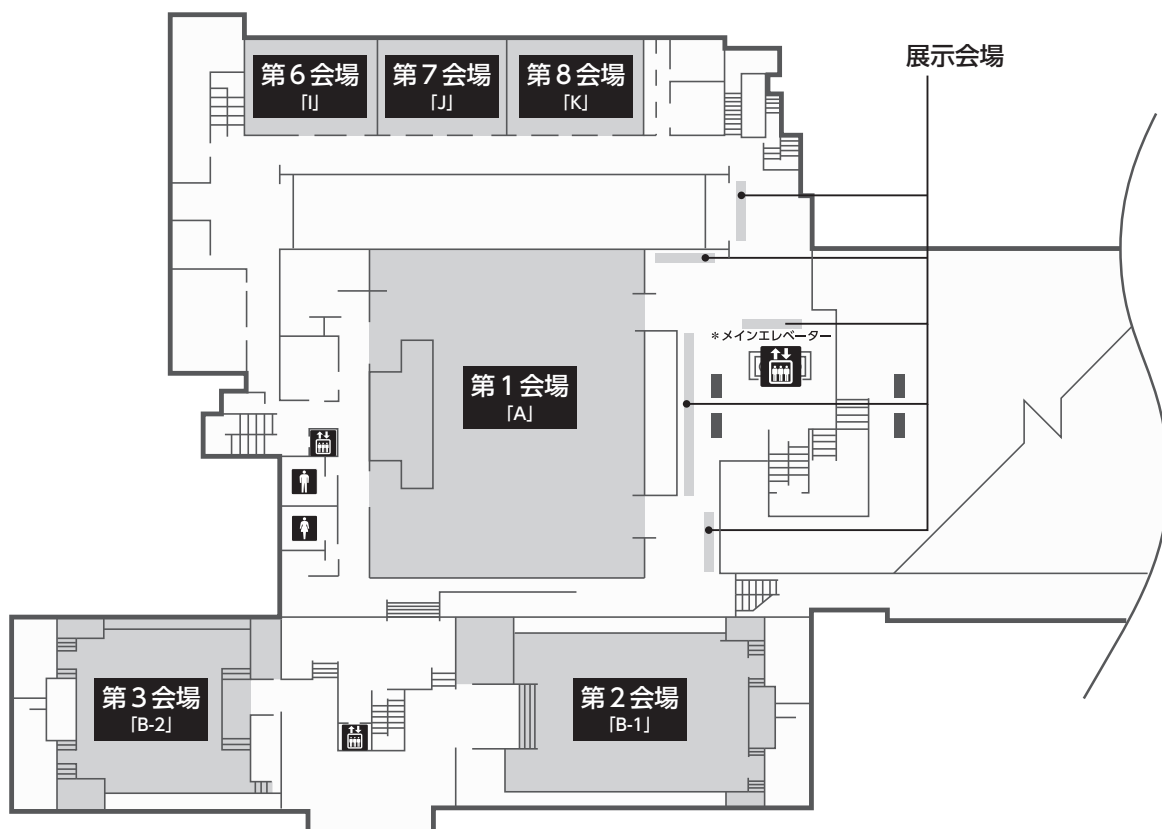
# 会場案内図

## 本館 1F

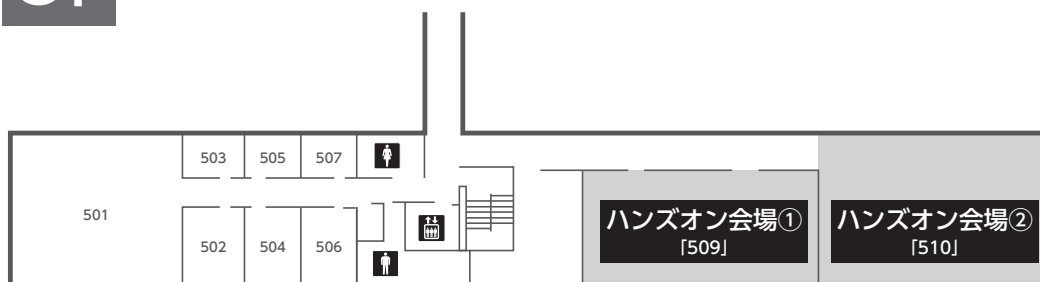


# 会場案内図

## 本館 2F



## 5F



# 参加者へのお知らせ

本学術大会は、ハイブリッド（現地+Web）での開催が決定いたしました。

なお、**現地での参加登録はできませんので、必ず下記より参加登録をお済ませの上、現地またはWebにてご参加ください。**

## 1. 参加申込・参加費

<学術大会> 10月15日（木）～12月10日（木）23：59まで

区分	オンライン登録
一般参加者	20,000円
メディカルスタッフ	10,000円
学生	5,000円

<技術講習会> 10月15日（木）～12月10日（木）23：59まで

区分	オンライン登録
一般参加者	14,000円
学生	5,000円

※以下、学術大会ホームページの参加登録ページより参加登録をお願いします。

<http://www2.issjp.com/50jscn/participants.html>

※技術講習会に参加予定の方は、学術大会ホームページ内「[技術講習会](#)」ページも必ずご確認の上、参加登録をお願いいたします。

※メディカルスタッフは、医師以外の臨床検査技師、臨床工学士、看護師などのコメディカルの方が含まれます。医師は一般参加者に含まれます。

※現地参加かWeb参加のどちらかを選択してください。Web参加から現地参加への変更は11月20日（金）まで可能です。現地参加の方はwebも視聴できます。

※いかなる理由があっても参加登録費の払い戻しは出来ません。

※非会員の方も金額は同じです。

※学生・大学院生の方は決済完了後に学生証の画像データをこちらのメールアドレス（50jscn-reg@issjp.com）にお送りください。

※技術講習会の参加費にはテキスト（PDFデータ）代を含みます。

※メディカルスタッフで学術大会の聴講を希望する場合は、技術講習会の参加費支払いのみで聴講することができます。医師を含む一般参加者、学術大会に演題が採用されている主演者、学術大会参加の認定点数が必要な方は、学術大会の参加費支払いが必要です。

## 2. 参加証（ネームカード）

### 【現地参加の方】

事前にPCからオンラインにて参加登録を行っていただき、当日受付にて、参加登録受付完了メールをプリントアウトし、受付にご提示ください。その場で名札をお渡しいたします。

名札には、ご自身で氏名・所属をご記入のうえ、学会場では、必ずご着用ください。

### 【Web参加の方】

参加証の発行…Web視聴画面のMyPageよりダウンロードいただけます。

領収書の発行…参加登録画面よりダウンロードいただけます。



### 3. 総合受付（参加受付）

学術大会・技術講習会共通

場所：国立京都国際会館 1階 メインエントランス

日時：11月26日（木）7:30～19:00

11月27日（金）7:30～18:00

11月28日（土）8:30～16:00

### 4. プログラム抄録集

学会誌の電子化に伴い、学会誌での「プログラム・抄録集」号の配布はありません。会員一斉メールで案内致しましたJ-stageからダウンロードいただくか、学術大会ホームページからダウンロードしてください。紙媒体のプログラムは会場にご用意がありますので、お一人様一部ずつでお取りください。

### 5. クローク

国立京都国際会館 1F Room G、常設クローク

時間：11月26日（木）7:30～21:00

11月27日（金）7:30～20:30

11月28日（土）7:30～18:00

### 6. 第50回記念大会セレモニー

必ずネームカードをご着用ください。

会費：無料（お弁当をご用意しております）

会場：国立京都国際会館 2F Room A（第1会場）

日時：11月27日（金）18:30～20:00

### 7. 第57回日本臨床神経生理学会技術講習会

会場：国立京都国際会館 2F Room A（第1会場）

日時：11月28日（土）8:30～12:25、13:25～17:00

### 8. 企業展示

場所：国立京都国際会館 1F・2Fロビー

時間：11月26日（木）8:00～17:00

11月27日（金）8:00～17:00

11月28日（土）8:00～16:00

### 9. 書籍展示

場所：国立京都国際会館 2F 第1会場（Room A）前

時間：11月26日（木）8:00～17:00

11月27日（金）8:00～17:00

11月28日（土）8:00～16:00

### 10. ドリンクコーナー

会期中、下記会場にて無料のドリンクコーナーを設置いたします。なお、数量に限りがございますので、予めご了承ください。

場所：国立京都国際会館 1F スワン

## 11. 駐車場

周辺の混雑緩和と環境への配慮のため、なるべく公共の交通機関でお越しください。

## 12. お食事

会期中3日間開催のランチョンセミナーにて昼食をご用意します。いずれも数に限りがありますことをご了承ください。

また、27日（金）18：30から開催の「第50回記念大会セレモニー」で、お弁当をご用意しております。

## 13. ご注意

- 1) 会場内でご自身の発表以外の録音・写真撮影・ビデオ撮影はお断りします。
- 2) 会場内では携帯電話などの電源はお切りいただくかマナーモードに切り替えてご使用ください。

## 14. 単位 認定

下記の1, 2, 3, 4の認定単位につきましては、開催当日に手続きが必要となります。後日の発行は致しかねますので、予めご了承ください。

1. 日本臨床神経生理学会：専用受付にて認定更新単位登録票に記入し、ご提出ください。
2. 日本神経学会：専用受付にて認定更新単位登録票に記入し、ご提出ください。
3. 日本精神神経学会：総合受付にて日本精神神経学会会員カード持参の上、お手続きください。
  - ①アドバンスレクチャー5
    - 11月26日（木）14:10～15:10（第4会場）
    - AL5-1「精神疾患に対するrTMS治療のエビデンス」
    - AL5-2「うつ病に対するrTMS療法の保険収載後の現況」
  - ②島菌レクチャー
    - 11月26日（木）14:50～15:50（第1会場）
    - 「統合失調症バイオマーカーとしてのミスマッチ陰性電位（MMN）」
  - ③教育講演7
    - 11月26日（木）16:30～17:30（第2会場）
    - EL7「精神科領域における電気生理学的知見」
  - ④アドバンスレクチャー18
    - 11月28日（土）13:30～14:30（第4会場）
    - AL18-1「自閉スペクトラム症の臨床神経生理」
    - AL18-2「ADHDの脳機能障害の特徴」
4. 日本整形外科学会：教育研修単位
  - ①教育講演2
    - 11月26日（木）9:25～10:25（第2会場）
    - （必須分野No.7／認定番号：20-1423-001）：1単位（1,000円）
    - EL2「日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会としての活動と今後の展望－この10年を振り返って－」
  - ②ランチョンセミナー7：「神経磁界計測による神経活動の可視化」
    - 11月26日（木）11:50～12:50（第7会場）
    - （必須分野No.7・8／認定番号：20-1423-002）：1単位（1,000円）
    - LS7「脊磁図・末梢神経磁図による新しい神経機能評価」
  - ③教育講演4
    - 11月26日（木）13:00～14:00（第5会場）
    - （必須分野No.7／認定番号：20-1423-003）：1単位（1,000円）
    - EL4「術中脊髄機能モニタリング－温故知新－」

## ④教育講演9

11月27日（金）9:20～10:20（第1会場）

（必須分野No.7／認定番号：20-1423-004）：1単位（1,000円）

EL9「脊髄誘発電位 研究の始まりから脊髄機能診断まで」

## ⑤教育講演12

11月27日（金）14:40～15:40（第1会場）

（必須分野No.7／認定番号：20-1423-005）：1単位（1,000円）

EL12「圧迫性脊髄症・神経根症の機能診断」

## ⑥教育講演15

11月28日（土）8:30～9:30（第2会場）

（必須分野No.7／認定番号：20-1423-006）：1単位（1,000円）

EL15「脊髄誘発電位と共に－基礎から臨床へ－」

日整会IC会員カードで登録をいたしますので、必ずご持参ください。

## 【申込方法】

教育研修講演受付にて「日整会認定教育研修講演受講申込書」に必要事項をご記入の上、受講料（1セッション：1,000円）を添えてお申し込みください。

※受講証明が必要でない方は無料で受講できますが、受講料をお支払いの方の入場を優先します。

## 【受講証明】

講演開始10分前から開始10分後までに、IC会員カードを講演会場入口のカード読取機にかざして出席登録を行ってください。

10分を過ぎた場合は、入場手続きが完了していない場合、途中退場された場合には、単位取得出来ませんのでご注意ください。

学術大会終了から約2週間程度で単位が反映されます。日整会ホームページの会員専用ページの「専門医制度取得単位照会の単位振替システム」にて単位取得状況をご確認ください。詳細は当日、単位振替マニュアルをお渡し致しますのでご確認をお願い致します。

5. 日本てんかん学会：認定更新申請時に、本学術大会参加証を添付してご申請ください。

6. 日本リハビリテーション医学会：日本リハビリテーション医学会専門医（日本専門医機構リハビリテーション科専門医）、認定臨床医生涯教育単位

## 【申込方法】

教育研修講演受付にて「日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修受講申込書」に必要事項をご記入の上、受講料（1セッション：1,000円）を添えてお申し込みください。

①学術大会参加：10単位（1単位）

## ②教育講演12

11月27日（金）14:40～15:40（第1会場）

EL12「圧迫性脊髄症・神経根症の機能診断」

10単位（1単位）1,000円

## ③教育講演18

11月28日（土）13:30～14:30（第2会場）

EL18「Bell麻痺の病態と治療」

10単位（1単位）1,000円

## ④ランチョンセミナー12「痙縮治療」

11月27日（金）12:00～13:00（第5会場）

LS12「脳血管障害における四肢変形に対する痙縮療法」

10単位（1単位）1,000円

最大で合計40単位（4単位）の取得が可能です。

①学術大会参加で単位を申請される場合は、ネームカード（参加証）を、②③④の受講で単位を申請される場合は、生涯教育研修会参加証を大切に保管し、年度末に日本リハビリテーション医学会事務局まで送付してください。

7. 日本理学療法士協会：生涯学習ポイント（日本理学療法士協会 専門理学療法士・認定物理学療法士資格取得および更新に係る履修ポイント）

①学術大会参加：10点

②シンポジスト講演講師等での発表（筆頭演者）：10点

③一般演題発表（筆頭演者）：5点

①の参加でポイントを申請される場合は、ネームカード（参加証）のコピーを、さらに②③でポイントを申請される場合には、演題抄録のコピーを「日本理学療法士協会 生涯学習課 履修情報登録依頼係」へ送付してください。詳細な手続きおよび添付書類は、日本理学療法士協会の「履修ポイント基準表」をご参照ください。

<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/point/>

8. 日本作業療法士協会：生涯教育制度基礎ポイント（作業療法関連Special Interest Group（SIG）取得

①学術大会参加：1日1ポイント、2日以上2ポイント

②一般演題発表（筆頭演者）：1点

①の参加でポイントを申請される場合は、ネームカード（参加証）のコピーを、さらに②でポイントを申請される場合は、演題抄録のコピーを所属の都道府県作業療法士もしくは日本作業療法士協会の事務局へ送付してください。

## 15. 託児所

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、本学術大会での託児所の設置を見送ることに致しました。

## 16. 宿泊等のご案内

学術大会のホームページをご参照ください。

<http://www2.issjp.com/50jscn/>

## 17. 連絡先

第50回日本臨床神経生理学会学術大会 運営事務局

株式会社アイ・エス・エス内

〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル8階

TEL：03-6369-9984 FAX：03-3453-1180

E-mail：50jscn@issjp.com

第50回日本臨床神経生理学会学術大会 大会本部

国立京都国際会館 1F「103」

会期中連絡先（11月26日（木）～28日（土））

第50回日本臨床神経生理学会学術大会 運営本部

国立京都国際会館 2F Room F

TEL（直通）075-705-2001、075-705-2004

## 座長・発表者へのお知らせ

### 【特別セッション】

会長講演、特別講演、時実レクチャー、島菌レクチャー、奨励賞受賞記念講演、50回大会記念シンポジウム、教育講演、ベーシックレクチャー、アドバンスレクチャー、特別シンポジウム、シンポジウム、関連学会合同シンポジウム、サテライトシンポジウム、ワークショップ、日本臨床神経生理学会学術大会50回記念講演会・座談会、主催セミナー、ハンズオンセミナー、最優秀演題候補、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、Iowa Reunion Symposium、ISIN Educational Seminar

※主催セミナー、ハンズオンセミナー、サテライトシンポジウムについてはオンデマンド配信は行いません。

### 座長・発表者の方へ

- 1) 各会場には、速やかな進行を図るため、「Faculty」を配置致します。
- 2) Facultyは、以下業務を担当致します。

#### Facultyの役割

- ◆Zoom本番用URLに入室し、次座長、次演者の現地参加及びZoom入室の確認を行う。
- ◆座長が欠席の場合にはFacultyが座長の代役をする。
- ◆演者欠席の場合は座長（現地、リモート）へお伝えする。
- ◆進行（遅れ）の調整（座長への連絡）  
→5分程度の遅れが生じた場合、進行の遅れをセッション中に座長への連絡を行う。
- ◆質疑応答は、Zoomに入室している、座長もしくは演者と、現地に参加している座長・演者と現地参加者のみが可能です。
- ◆座長がリモートで、現地参加者より質疑があった場合は、Facultyが座長へ伝える。

- 3) 座長・発表者の方は、「Faculty」の指示に従って、セッションの進行をお願い致します。

### 開催期間

【現地開催】 オンデマンド配信 2020年11月26日（木）～28日（土）

※2020年12月1日（火）～10日（木）もオンデマンド配信されます。

### 特別セッション座長の方へ

#### 【現地参加の場合】

1. 各発表は、時間厳守でお願い致します。
2. 座長は、開始15分前までに各会場内最前列の次座長席にご着席ください。

#### 【リモート参加の場合】

ご担当のセッション時間には会場とWeb会議システムで接続を致します。

ご自身のPCから、事前にお送りしたZoom練習用URLに、セッション開始30分前までに入室いただき、セッション開始5分前までに本番用URLに入り直して待機してください。

## 特別セッション発表者の方へ

### ■発表方法

#### 【現地参加の場合】

事前提出の発表データか、新たに発表データを差し替えるかを選択することが可能です。

#### 1. 発表データについて

- 1) 口演発表はすべてPCプレゼンテーション（1画映写）です。
- 2) 会場にはOS:Windows10のPCを用意します。
- 3) 発表データはWindowsで読み取り可能なUSBメモリーに保存してご持参ください。保存いただく際には、ファイル名を「演題番号—発表者名」としてください。  
例1) S1-1-氏名、例2) LC1-氏名  
※コピーミスを防ぐために、メディアに保存した後、作成したPC以外のPCの環境でも正常に動作することをご確認ください。
- 4) アプリケーションはWindows版PowerPoint2010・2013・2016で作成してください。  
※Macintosh版PowerPointで作成された発表データは必ずWindowsPCで動作確認をしたデータをご持参ください。または、ご自身のノートパソコンを必ずご持参ください。
- 5) データを提出される場合、画面レイアウトのバランス異常や文字化けを防ぐため、フォントはOSに標準で装備されているもの：「MS・MSPゴシック」「MS・MSP明朝」「Times New Roman」「Century」「Century Gothic」「Arial Black」をご利用ください。
- 6) 画面の解像度はXGA（1024×768ピクセル）です。
- 7) 発表データが動画などの外部データにリンクされている場合は、ご自身のノートパソコンをご持参ください。PC本体をお持込みの場合でも、バックアップとしてUSBもしくはCD-Rをお持ちください。
- 8) ウイルスチェックを事前に行ってください。
- 9) 発表データは、会場内のパソコンに一旦コピーさせていただきますが、学会終了後に事務局にて責任をもって消去いたします。

#### 【ノートパソコン持参の場合】

- 1) お持参いただきますノートパソコンはD-sub 15pinのモニター出力端子が必要となります。この端子が無いパソコンをお持参いただく場合は、別途変換コネクタを必ずご用意ください。
- 2) 音声ご利用の場合はPC受付にてあらかじめお申し出ください。
- 3) スクリーンセーバーならびに省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。Macintoshをお持込みいただく場合はホットコーナー設定もあらかじめ解除してください。
- 4) ACアダプターを必ずご持参ください。
- 5) 会場にて用意したプロジェクターと接続ができない場合に備え、バックアップ用のデータをご持参されることをお勧めいたします。

#### 3. 発表データ受付および発表手順について

- 1) 発表1時間前までに余裕をもってPC受付で受付を行い、動作確認を行ってください。

[国立京都国際会館]

PC受付：1F Room H

ノートパソコン持参の場合もPCセンターで試写の上、ご自身で発表会場前方のPCオペレーター卓へお持ちください。

- 2) 発表者は発表の15分前までに発表会場へご来場の上、前演者が登壇されたら次演者席にご着席ください。
- 3) 発表者には演題にセットされているモニターを見ながら、キーボード・マウスを各自で操作

して進めてください。

- 4) 持込みのノートパソコンは、発表が終了されたら、ご自身でPCオペレーター卓からお引き取りください。

#### 【リモート参加の場合】

- ・ご担当のセッション時間には会場とWeb会議システムで接続を致します。  
ご自身のPCから、事前にお送りしたZoom練習用URLに、セッション開始30分前までに入室いただき、セッション開始5分前までに本番用URLに入り直して待機してください。
- ・事前提出した発表データが会場で映写されます。なお、Web会議システムで画面共有しライブ口演を行うことも可能ですが、不都合があれば事前提出した発表データが映写されますのでご了承ください。
- ・Web会議システムで司会と発表者の間で質疑応答を行います。セッション開始30分前までにご自身のPCから事前にお送りしたWeb会議システムに接続して対応ください。

#### ■発表に関してのご注意

##### 1. 個人情報の取扱い留意

個人情報の保護にご留意ください。

年月日記載を避け、初診をX年、固有名詞の代わりにA病院などとし、特定の個人が特定されない配慮をお願い致します。

##### 2. 利益相反（COI）の開示について

産学連携による臨床研究の適切な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性および透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI）」の開示を求めることとしました。以下をご参照ください。

<http://jscn.umin.ac.jp/about/saisoku.html>

**【一般演題】**

## 開催期間

【現地開催】 オンデマンド配信 2020年11月26日（木）～28日（土）

※2020年12月1日（火）～10日（木）もオンデマンドにて配信されます。

発表者の方へ

## ◇発表について

- ・現地ならびにリモートでの発表はありません。
- ・事前にご登録いただきました動画データの配信期間は、学術大会開催中の全ての期間及び会期終了後の12月1日（火）～10日（木）までオンデマンドにて配信します。

## ■発表に関してのご注意

## 1. 個人情報の取扱い留意

個人情報の保護にご留意ください。

年月日記載を避け、初診をX年、固有名詞の代わりにA病院などとし、特定の個人が特定されない配慮をお願い致します。

## 2. 利益相反（COI）の開示について

産学連携による臨床研究の適切な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性および透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI）」の開示を求めることとしました。以下をご参照ください。

<http://jscn.umin.ac.jp/about/saisoku.html>



# 日本臨床神経生理学会 理事会・社員総会・各種委員会

---

## 理事会

11月25日（水）13:00～15:30

国立京都国際会館2階・Room K（第8会場）

## 代議員会（社員総会）

11月25日（水）17:00～18:00

国立京都国際会館2階・Room A（第1会場）

---

## 第51回学術大会プログラム委員会

11月28日（土）7:30～8:00

国立京都国際会館2階・Room B1（第2会場）

## 学術委員会

11月27日（金）17:00～18:00

国立京都国際会館2階・Room K（第8会場）



## プログラムI

---

会長講演	28
特別講演	28
時実レクチャー	28
島菌レクチャー	28
奨励賞受賞記念講演	28
50回大会記念シンポジウム	29
教育講演	29
ベーシックレクチャー	34
アドバンスレクチャー	43
特別シンポジウム	53
シンポジウム	53
関連学会合同シンポジウム	64
サテライトシンポジウム	76
ワークショップ	77
日本臨床神経生理学会学術大会50回記念講演会、座談会	80
主催セミナー	81
ハンズオンセミナー	82
最優秀演題候補	85
ランチオンセミナー	85
イブニングセミナー	89
Iowa Reunion Symposium	90
ISIN Educational Seminar	90



## 第50回日本臨床神経生理学会学術大会

## 会長講演

11月26日 (木) 8:30～8:50 (第1会場)

座長：中里 信和 (東北大学てんかん学分野)

整形外科における電気生理学の歴史と今後の展開

齋藤 貴徳 (関西医科大学整形外科学講座)

## 特別講演

11月26日 (木) 9:00～10:00 (第1会場)

座長：谷口愼一郎 (関西医科大学整形外科)

1. 神経伝導検査の波形分析

木村 淳 (アイオワ大学医学部神経科臨床神経生理部門)

11月26日 (木) 10:40～11:40 (第1会場)

座長：池田 昭夫 (京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

2. ICUにおける重症患者に対してのBedside EEG Monitoring : Critical Care EEG (ccEEG)

山田 徹 (アイオワ大学脳神経内科)

## 時実レクチャー

11月26日 (木) 13:40～14:40 (第1会場)

座長：正門 由久 (東海大学医学部リハビリテーション科)

神経筋電気診断学と共に

園生 雅弘 (帝京大学医学部神経内科)

## 島菌レクチャー

11月26日 (木) 14:50～15:50 (第1会場)

座長：木下 利彦 (関西医科大学精神神経科学教室)

統合失調症バイオマーカーとしてのミスマッチ陰性電位 (MMN)

矢部 博興 (福島県立医科大学医学部神経精神医学講座)

## 奨励賞受賞記念講演

11月26日 (木) 10:05～10:35 (第1会場)

座長：野寺 裕之 (金沢医科大学神経内科学)

1. 神経筋疾患の診断・評価における神経筋超音波検査の可能性の開拓

能登 祐一 (京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学)

11月26日（木）13:00～13:30（第1会場）

座長：中里 信和（東北大学てんかん学分野）

2. 脳波エントロピー解析によるてんかん焦点可視化技術の開発

佐藤 洋輔（昭和大学医学部脳神経外科学講座）

## 50回大会記念シンポジウム iPS細胞の臨床応用-現状と未来-

11月27日（金）16:00～18:00（第1会場）

座長：人見 浩史（関西医科大学iPS・幹細胞再生医学講座）

木村 淳（アイオワ大学神経科臨床神経生理部門）

iPS細胞は再生医療の実現に重要な役割を担う細胞であり、既に臨床応用が開始されている。50回大会となる記念シンポジウムでは、iPS細胞を用いた基礎研究と臨床応用について、第一線で活躍する先生が現状と未来を講演する。

1. iPS細胞を用いた基礎研究

六車 恵子（関西医科大学医学部）

2. iPS細胞の臨床応用-現状と未来-

高橋 淳（京都大学iPS細胞研究所）

3. 眼科における臨床応用

西田 幸二（大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学講座（眼科学）／  
大阪大学先導的学際研究機構生命医科学融合フロンティア研究部門）

4. iPS細胞由来心筋細胞シートの開発

澤 芳樹（大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科）

## EL1 教育講演1

11月26日（木）8:10～9:10（第2会場）

座長：薬師寺祐介（関西医科大学脳神経内科）

ギラン・バレー症候群のガイドラインについて

国分 則人（獨協医科大学脳神経内科）

2019年Nature Reviews Neurology誌にconsensus statementとしてギラン・バレー症候群のガイドラインが掲載された（Leonhard et al. Nat Rev Neurol, 2019）。本講演ではこのガイドラインを概説する。

## EL2 教育講演2

11月26日(木) 9:25～10:25 (第2会場)

座長：町田 正文 (埼玉県立小児医療センター整形外科)

日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会としての活動と今後の展望－この10年を振り返って－

松山 幸弘 (浜松医科大学整形外科)

術中脊髄モニタリングの精度は90%以上と高く、有用であることが示されている。しかし実際のハイリスク脊椎手術においては、疾患ごとに神経障害リスクが異なっている。術中脊髄モニタリングによって何が救えたのか、また今後の向かうべき方向性について講演する。

## EL3 教育講演3

11月26日(木) 10:40～11:40 (第2会場)

座長：梶 龍兒 (国立病院機構宇多野病院)

神経伝導ブロックの新しい考え方

桑原 聡 (千葉大学医学部脳神経内科)

神経伝導ブロックは脱髄またはNaチャンネル不活化により神経伝導の安全因子が低下することにより生じる。本講演では安全因子について解説し、二重刺激や随意収縮により人為的に安全因子を低下させてその値の推定する手法について述べる。

## EL4 教育講演4

11月26日(木) 13:00～14:00 (第5会場)

座長：四宮 謙一 (東京医科歯科大学整形外科)

術中脊髄機能モニタリング－温故知新－

玉置 哲也 (社会福祉法人愛徳園／和歌山県立医科大学)

## EL5 教育講演5

11月26日(木) 14:10～15:10 (第5会場)

座長：藤井 正美 (山口県立総合医療センター脳神経外科)

てんかん治療におけるニューロモデュレーションの現状と今後

川合 謙介 (自治医科大学医学部脳神経外科)

本教育講演では、てんかん治療におけるニューロモデュレーションとして体内植込型電気刺激療法に注目し、迷走神経刺激療法VNS、脳深部刺激療法DBS、発作反応型脳刺激療法RNSについて、国内外の現状と将来展望について解説する。

## EL6 教育講演6

11月26日(木) 15:20～16:20 (第5会場)

座長：幸原 伸夫 (神戸市立医療センター中央市民病院)

MMTとmuscle ID

園生 雅弘 (帝京大学医学部神経内科)

徒手筋力テスト (MMT) はpitfallも多く高度の習熟を要するが、正確な筋力低下分布の検討のみから種々神経疾患の診断を8割方下せる。その原理とコツを解説する。針筋電図のための筋の同定も合わせて覚えるとよい。

## EL7 教育講演7

11月26日(木) 16:30～17:30 (第2会場)

座長：石井 良平 (大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科作業療法学専攻)

精神科領域における電気生理学的知見

吉村 匡史 (関西医科大学医学部精神神経科学教室)

脳機能を評価する神経生理学的検査である脳波に関して、精神疾患との関連を中心に説明する。脳波は侵襲が少なく低コストで、時間解像能が高いという強みを持つことから、精神疾患の診断、病態解明において更なる発展、応用の可能性があると考えられる。

## EL8 教育講演8

11月27日(金) 8:00～9:00 (第1会場)

座長：後藤 純信 (国際医療福祉大学医学部生理学講座)

デジタル脳波判読術

飛松 省三 (福岡国際医療福祉大学医療学部視能訓練学科)

デジタル脳波判読におけるピットフォールとコツを中心に講演する。リモニタージュ機能やリフィルタリング機能の活用により、てんかん、意識障害、変性疾患の脳機能の変容を容易に知ることができることを強調したい。

## EL9 教育講演9

11月27日(金) 9:20～10:20 (第1会場)

座長：小川 潤 (静岡赤十字病院)

脊髄誘発電位 研究の始まりから脊髄機能診断まで

四宮 謙一 (東京医科歯科大学整形外科)

今回は、脊髄誘発電位基礎研究の始まりから臨床までを振り返り、以下の項目につき講演する。1.研究開始のきっかけ、2.臨床につながる実験計画、3.基礎研究から得られた結果の臨床応用、4.次世代への研究の引継ぎ。

## EL10 教育講演10

11月27日(金) 10:40～11:40 (第1会場)

座長：辻 貞俊 (国際医療福祉大学)

分かりやすい閾値追跡法の臨床応用

梶 龍兒 (国立病院機構宇多野病院)

## EL11 教育講演11

11月27日(金) 13:15～14:15 (第1会場)

座長：長峯 隆 (札幌医科大学医学部神経科学講座)

頭蓋内脳波 state-of-the art

松本 理器 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野)

頭蓋内電極を用いた術前評価は、特にMRI陰性の難治焦点てんかんの診断と外科治療にはかかせない。同時に、蓄積された頭蓋内脳波データは病態と機能の両面から臨床脳科学への還元が望まれる。頭蓋内脳波計測の解析・知見のstate-of-the artを概説する。

## EL12 教育講演12

11月27日(金) 14:40～15:40 (第1会場)

座長：山田 宏 (和歌山県立医科大学整形外科学講座)

圧迫性脊髄症・神経根症の機能診断

谷 俊一 (くぼかわ病院整形外科)

脊髄症では痙性麻痺に特徴的な機能障害、その簡便な定量的評価法、伝導ブロックの電気診断について述べ、神経根症では部位診断において上肢ではミオトームの信頼性が高いこと、M波による運動麻痺の予後診断法について述べる。

## EL13 教育講演13

11月27日(金) 8:00～9:00 (第2会場)

座長：谷 俊一 (くぼかわ病院整形外科)

運動誘発電位検査を用いた脊椎脊髄疾患の評価

中西 一義 (日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野)

脊椎脊髄疾患を正確に診断し、障害の程度を把握することは、適切な治療を行う上で重要である。これまで我々が行ってきた運動誘発電位検査を紹介し、スクリーニングとしての有用性と限界について考察する。



## EL14 教育講演14

11月27日 (金) 9:00～10:00 (第2会場)

座長：荒木 敦 (中野こども病院)

脳波記録と判定上に於けるアーチファクトの鑑別

山田 徹 (アイオワ大学脳神経内科)

急性期、特にICUでの意識障害のある患者にccEEGの利用により高い頻度(20-40%)でてんかん発作が起こっている事が判明した。記録されたてんかん発作のうち大部分(>50%)が臨床的には無症状か、てんかん発作とは決められない非典型的な症状であったり、僅かな症状である為 ccEEGを施行しなければてんかん発作を見逃すことになる。

## EL15 教育講演15

11月28日 (土) 8:30～9:30 (第2会場)

座長：岩崎 博 (和歌山県立医科大学整形外科学講座)

脊髄誘発電位と共に - 基礎から臨床へ -

里見 和彦 (紘友会三鷹病院整形外科)

脊髄誘発電位は我が国で基礎的ならびに臨床的研究が始まった。同電位には刺激部位、記録部位を変えることで種々の電位が得られている。我々グループは、基礎的研究として各電位の起源について研究し、臨床応用も行ってきた。講演では、今までの知見と現在も行なっている研究について解説する。

## EL16 教育講演16

11月28日 (土) 9:45～10:45 (第2会場)

座長：齋藤 貴徳 (関西医科大学整形外科学講座)

CSA、NA、胸郭出口症候群

園生 雅弘 (帝京大学医学部神経内科)

頸椎性筋萎縮症、神経痛性筋萎縮症、胸郭出口症候群は、いずれも整形外科と脳神経内科の境界疾患である。臨床症候と電気生理が鑑別のキーとなり、確実な診断を下す責務は電気診断医にある。そのノウハウを解説する。

## EL17 教育講演17

11月28日 (土) 11:00～12:00 (第2会場)

座長：川端 茂徳 (東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座)

脊磁計の開発～技術的側面から

足立 善昭 (金沢工業大学先端電子技術応用研究所)

多チャンネルの高感度磁気センサで、神経の電気生理的な情報を非侵襲的に得られる脊磁計は、電位計測では難しかった高精度な脊髄の障害部位診断が可能になると期待されている。本講演では脊磁計を支える技術面を概説する。

## EL18 教育講演18

11月28日(土) 13:30～14:30 (第2会場)

座長：長谷 公隆 (関西医科大学リハビリテーション医学講座)

Bell麻痺の病態と治療

栢森 良二 (帝京平成大学健康メディカル学部理学療法学科)

Bell麻痺の病態は、HS1型再活性化による顔面神経炎である。側頭骨内の神経管で浮腫が生じるために、顔面神経幹は絞扼障害に陥り、この軽重によって、麻痺の重症度は決定される。二次性HFSに対してBTXが有効である。

## EL19 教育講演19

11月28日(土) 14:45～15:45 (第2会場)

座長：松本 理器 (神戸大学脳神経内科)

脳磁図計測の基本

長峯 隆 (札幌医科大学医学部神経科学講座)

脳磁図計測の準備にあたり、基礎的知識をもとにした適切な課題の設定、ノイズ源の回避の他に、計測環境における事前調査が重要である。電流源推定を容易にするには、活動が時空間的に分離するように課題を設定する。

## EL20 教育講演20

11月28日(土) 16:00～17:00 (第2会場)

座長：花島 律子 (鳥取大学医学部脳神経内科学)

神経伝導検査による糖尿病神経障害の重症度分類(馬場分類)の病態生理学的背景と臨床的意義

馬場 正之 (青森県立中央病院脳神経センター脳神経内科)

演者は糖尿病性神経障害の客観的重症度把握を目的に神経伝導検査による分類(馬場分類)を作成し、足潰瘍発生をみる前向き研究でその有効性を確認した。本講演では馬場分類の生理学的背景と臨床応用について述べる。

## BL1 ベーシックレクチャー1

11月26日(木) 8:10～8:40 (第3会場)

座長：高橋 修 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

BL1-1 筋電計、脳波計の基礎

内藤 寛 (日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科)

神経生理検査の専門職が、脳波や筋電図などを正しく記録、評価、診断する際に、この分野のプロとして要求される機器の基礎知識について概説する。また、検査に臨む際のME技術と安全対策のTipsをお伝えする。

11月26日 (木) 8:40～9:10 (第3会場)

座長：内藤 寛 (日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科)

BL1-2 フィルタ、サンプリング周波数とナイキスト周波数

高橋 修 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

信頼性の高いデータを得るには神経生理学のみならず、電気工学的な知識や技術も必要とされる。ノイズのない診断に耐えうる波形を導出するには、交流障害の除去、検査機器の構造では増幅器やフィルタ、周波数特性、A/D変換時のサンプリング周波数など様々な知識を身につけておかなければならない。

## BL2 ベーシックレクチャー2

11月26日 (木) 9:25～9:55 (第3会場)

座長：津田 笑子 (札幌しらかば台病院脳神経内科)

BL2-1 NCSの基礎：綺麗な波形をとるためのルーチン検査における注意点

神林 隆道 (帝京大学医学部脳神経内科)

本講演では、神経伝導検査において、説得力のある正確で綺麗な波形を記録するために必要な検査前段階の準備および検査を施行する際の注意点について実際の波形を提示しながら解説し、明日からの検査に役立つことを目的とする。

11月26日 (木) 9:55～10:25 (第3会場)

座長：神林 隆道 (帝京大学医学部脳神経内科)

BL2-2 CMAP、SNAPの成り立ち、波形の判定

津田 笑子 (札幌しらかば台病院脳神経内科)

神経伝導検査 (NCS) では単に伝導速度が正常か異常かを判定するだけでなく、その波形の意味を解釈することが重要である。NCS波形を総合的に判定するために必要な電気生理学的知識を解説する。

## BL3 ベーシックレクチャー3

11月26日 (木) 10:40～11:10 (第3会場)

座長：畑中 裕己 (帝京大学脳神経内科・神経筋電気診断センター)

BL3-1 NCSの基礎：軸索障害と脱髄

三澤 園子 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

多発ニューロパチーの診断では神経伝導検査により病態と病変分布の評価を行う。病態は軸索変性と脱髄の2つに大別される。軸索変性と脱髄、その分布をどのように検査で評価するか、わかりやすく実践的に解説する。

11月26日 (木) 11:10～11:40 (第3会場)

座長：三澤 園子 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

BL3-2 NCS始めて半年、5回に1回ふとよぎる普通の疑問に答えます

畑中 裕己 (帝京大学脳神経内科・神経筋電気診断センター)

ビギナー向けです。私がいろいろな先輩に聞いてなるほどなと思ったお話、ときどき気になるが人に聞くほどでもない知識、近位刺激と遠位刺激の話、刺激の強度の話、刺激電極の向きの話などをさせていただきます。

## BL4 ベーシックレクチャー4

11月26日(木) 13:00～13:30 (第3会場)

座長：後藤 純信 (国際医療福祉大学医学部生理学講座)

BL4-1 RNSの基礎と応用

畑中 裕己 (帝京大学医学部脳神経内科)

ビギナー向けです。RNSの美しい漸減現象の導出は、固定と刺激位置、刺激強度によって決まります。正常と異常波形の見極めについて、各筋で解説させていただきます。

11月26日(木) 13:30～14:00 (第3会場)

座長：畑中 裕己 (帝京大学医学部脳神経内科)

BL4-2 視覚誘発電位 (VEP)

後藤 純信 (国際医療福祉大学医学部生理学講座)

ヒトの視覚情報処理の生理学的特性とVEPの基本的な刺激方法や記録方法、VEPを用いた視覚伝導路の電気生理学的診断アルゴリズムについて、記録上の注意点とともに概説する。

## BL5 ベーシックレクチャー5

11月26日(木) 14:10～14:40 (第3会場)

座長：宮地 洋輔 (横浜市立大学医学部脳神経内科・脳卒中科／帝京大学医学部脳神経内科・神経筋電気診断センター)

BL5-1 頸椎部圧迫性脊髄症の電気生理

今城 靖明 (山口大学大学院医学系研究科整形外科)

CCMに対する電気生理学の醍醐味は神経所見と電気生理所見の一致にあると考えている。A.術前(中枢運動伝導時間)とB.術中電気生理検査(脊髄誘発電位と体性感覚誘発電位)で分かることについて講演する。

11月26日(木) 14:40～15:10 (第3会場)

座長：今城 靖明 (山口大学大学院医学系研究科整形外科)

BL5-2 手根管症候群の電気診断

宮地 洋輔 (横浜市立大学医学部脳神経内科・脳卒中科／帝京大学医学部脳神経内科・神経筋電気診断センター)

手根管症候群(CTS)の診断上、通常のNCSの感度は60%程度で、特異的検査の追加が必要である。またCTSのNCSには偽陽性が少なくないことも重要である。本講演では各検査の実施方法や注意点を中心に診断のためのポイントを概説する。

## BL6 ベーシックレクチャー6

11月26日 (木) 15:20～15:50 (第3会場)

座長：安藤 宗治 (関西医科大学整形外科)

BL6-1 運動系の術中脊髄モニタリング

吉田 剛 (浜松医科大学整形外科)

本講演では運動系の術中脊髄モニタリングとして主に経頭蓋刺激・末梢筋誘発電位について、その適応や方法、モニタリング波形やアラームポイントの理解、疾患毎の対応、本モニタリングの有害事象について解説する。

11月26日 (木) 15:50～16:20 (第3会場)

座長：吉田 剛 (浜松医科大学整形外科)

BL6-2 脊椎脊髄手術における感覚系の術中神経生理モニタリング

安藤 宗治 (関西医科大学整形外科)

術中神経生理モニタリングにおいて感覚系のみ障害が生じるとBr (E) -MsEPでは評価できない事があり得るため、SEPやSp (E) -SCEPなどを用いて感覚系をモニタリングする必要がある。

## BL7 ベーシックレクチャー7

11月27日 (金) 10:10～10:40 (第2会場)

座長：叶内 匡 (東京医科歯科大学医学部附属病院検査部)

BL7 安静時自発放電

幸原 伸夫 (神戸市立医療センター中央市民病院)

安静時自発放電、ことにfibrillation potential, positive sharp wave, fasciculation potentialは神経筋疾患における診断にとって最も重要な電位であり、これらを正確に判別できることは筋電図の基本である。このためには波形に加えリズムが大切である。

## BL8 ベーシックレクチャー8

11月27日 (金) 10:40～11:10 (第2会場)

座長：幸原 伸夫 (神戸市立医療センター中央市民病院)

BL8-1 針筋電図：随意収縮時活動 - 動員に関して -

関口 兼司 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科)

随意収縮時針筋電図は、主観的になりやすいため敬遠されがちである。運動単位電位の波形そのものにとらわれず、動員のされ方から運動単位の多寡を評価するツールとして運用することで、臨床に役立てることができる。

11月27日（金） 11:10～11:40（第2会場）

座長：関口 兼司（神戸大学大学院医学研究科脳神経内科）

BL8-2 筋萎縮性側索硬化症における神経生理学的検査の役割

叶内 匡（東京医科歯科大学医学部附属病院検査部）

筋萎縮性側索硬化症の生化学的な診断マーカーは未だなく、診断における神経生理学的検査の果たす役割は大きい。本レクチャーでは各検査の診断、鑑別診断における位置づけや要点を中心にお話する。

## BL9 ベーシックレクチャー9

11月27日（金） 13:15～13:45（第2会場）

座長：木下真幸子（国立病院機構宇多野病院脳神経内科）

BL9-1 デジタル脳波の判読

寺田 清人（てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック／NHO静岡てんかん・神経医療センター）

脳波の波形をどのように表示するかは脳波判読の精度に重大な影響をもたらす。本レクチャーでは、デジタル脳波計を用いて脳波を判読する際、どの様に考えてどの様に設定を変更するのかを、実際に脳波計を操作しながら解説する。

11月27日（金） 13:45～14:15（第2会場）

座長：寺田 清人（てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック／NHO静岡てんかん・神経医療センター）

BL9-2 成人・高齢者の正常覚醒脳波：賦活の意義

木下真幸子（国立病院機構宇多野病院脳神経内科）

開閉眼賦活は正常脳波の構成要素（後頭部優位律動・速波）を評価する標準的な方法である。光刺激・過呼吸賦活でてんかん性活動が出現した場合には、賦活を中止し（記録は止めない）、ビデオ記録を残し、症状を確認する。

## BL10 ベーシックレクチャー10

11月27日（金） 14:30～15:00（第2会場）

座長：重藤 寛史（九州大学医学部保健学科／九州大学病院脳神経内科）

BL10-1 小児の脳波からわかること（正常脳波）

夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

小児の脳波所見は年齢、脳成熟とともにダイナミックに変化する。そのため小児の脳波を判読するには、年齢に対応した脳波の特徴を把握しておく必要がある。本講演では小児の正常脳波所見の評価において重要なポイントを解説する。

11月27日（金） 15:00～15:30（第2会場）

座長：夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

BL10-2 正常亜型とアーチファクト：誤判読しないためのTIPS

重藤 寛史（九州大学医学部保健学科／九州大学病院脳神経内科）

正常亜型やアーチファクトをてんかん性活動と誤判断しないためには、正常亜型の知識が必要であり、アーチファクトに対するコツと知識が必要である。このレクチャーではそれらをお示しする。

## BL11 ベーシックレクチャー11

11月27日（金） 15:45～16:15（第2会場）

座長：石郷 景子（大垣市民病院医療技術部診療検査科生理機能検査室）

BL11-1 睡眠脳波の判読

宇佐美清英（京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座）

睡眠脳波は、てんかん性放電や機能障害を示唆する徐波の検出感度が高くなるため、判読に習熟する意義が大きい。睡眠段階変化に伴い出現する、要注意の正常波形、正常亜型も含めて、有用な基礎的内容・tipsを概説する。

11月27日（金） 16:15～16:45（第2会場）

座長：宇佐美清英（京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座）

BL11-2 きれいな脳波を記録するTIPS

石郷 景子（大垣市民病院医療技術部診療検査科生理機能検査室）

きれいな脳波記録をするには、正しい脳波電極の位置、電極の接触抵抗をおとす。筋電図、眼球運動、発汗、心電図、脈波、交流などのアーチファクトのない脳波を記録する。突発波を記録するためには正しい賦活を行うことが挙げられる。

## BL12 ベーシックレクチャー12

11月27日（金） 17:00～17:30（第2会場）

座長：久保田有一（東京女子医科大学東医療センター脳神経外科）

BL12-1 意識障害の脳波：代謝性・中毒性脳症

下竹 昭寛（京都大学医学部脳神経内科）

代謝性・中毒性脳症において、脳波は、非侵襲的に早期に病態把握ができ、臨床経過・病勢の客観的な評価に有用である。原因検索に必ずしも特異的な検査ではないが特徴的な脳波所見を示す場合がある。本講演では脳波所見につき概説する。

11月27日 (金) 17:30～18:00 (第2会場)

座長：下竹 昭寛 (京都大学医学部脳神経内科)

BL12-2 意識障害の脳波

久保田有一 (東京女子医科大学東医療センター脳神経外科)

本ベーシックレクチャーでは、さまざまな意識障害の患者の脳波を提示する。近年持続脳波モニタリングの普及にともない、ダイナミックな脳波変化をとらえることができるようになり、ぜひそのエッセンスを学んでもらいたい。

### BL13 ベーシックレクチャー13

11月28日 (土) 8:30～9:00 (第3会場)

座長：尾崎 勇 (青森県立保健大学健康科学部理学療法学科)

BL13-1 体性感覚誘発電位 (SEP) の基礎：パターン認識しよう

大石知瑞子 (杏林大学医学部脳神経内科)

SEPは末梢から脊髄を経て大脳皮質までの感覚経路の評価が可能である。NCSと画像検査では異常がなく、SEPで異常を指摘できる症例があり、SEPは臨床に役立つ検査である。どのように臨床に役立つかのポイントを解説する。

11月28日 (土) 9:00～9:30 (第3会場)

座長：大石知瑞子 (杏林大学医学部脳神経内科)

BL13-2 体性感覚誘発電位

尾崎 勇 (青森県立保健大学健康科学部理学療法学科)

臨床応用として脊髄後角病変、後索病変、脳幹病変、視床病変、低酸素脳症におけるSEP異常所見を解説する。近年抗てんかん薬投与による変化など注目されている、皮質N20-P20電位に重畳する600 Hz高周波信号のup to date な話題にも触れたい。

### BL14 ベーシックレクチャー14

11月28日 (土) 9:45～10:15 (第3会場)

座長：山崎 博輝 (徳島大学病院脳神経内科)

BL14-1 神経エコー基礎

塚本 浩 (東京医科大学茨城医療センター脳神経内科)

神経エコーは簡便に末梢神経形態を非侵襲的評価である。連続評価や短/長軸像の描出も容易にできる利点もある。本レクチャーでは神経エコーの検査法、正常・異常所見、参考正常値、検査の注意点につき概説する。



11月28日(土) 10:15～10:45 (第3会場)

座長：塚本 浩 (東京医科大学茨城医療センター脳神経内科)

BL14-2 神経筋超音波検査の臨床応用

山崎 博輝 (徳島大学病院脳神経内科)

超音波検査を臨床の場で神経筋疾患の診断にどう絡めていくのか？それは実に多岐に渡る。本講演では、超音波検査が診断の「決め手」あるいは「ヒント」になった実例をいくつか提示し、解説する。

## BL15 ベーシックレクチャー15

11月28日(土) 11:00～11:30 (第3会場)

座長：目崎 高広 (榊原白鳳病院脳神経内科)

BL15-1 表面筋電図

金子 文成 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

表面筋電図は、筋肉上の皮膚面に貼付した表面電極で筋収縮に伴う電位差を増幅記録し、筋活動を計測する方法である。運動の解析で多く用いられる振幅値に影響する運動単位活動、その他筋電図が有する情報について解説する。

11月28日(土) 11:30～12:00 (第3会場)

座長：金子 文成 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

BL15-2 ジストニアのボツリヌス治療

目崎 高広 (榊原白鳳病院脳神経内科)

現在、国内でのボツリヌス毒素療法には多大な障碍があり、近未来の継続性が危ぶまれる。本講演では①超音波検査の有用性、②開瞼失行の処遇、③いわゆる「首下がり症候群」の処遇、④側彎の処遇、について論じる。

## BL16 ベーシックレクチャー16

11月28日(土) 13:30～14:00 (第3会場)

座長：白石 秀明 (北海道大学病院小児科てんかんセンター)

BL16-1 焦点てんかんの脳波

上原 平 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

焦点てんかんの発作間欠期てんかん性放電 (IED) の判読について講演する。特に、IEDの基本的な特徴、側頭葉てんかんのIED判読における注意点、IEDの検出率を上げる工夫、正常波形・正常亜型との鑑別について解説する。

11月28日(土) 14:00～14:30 (第3会場)

座長：上原 平 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

BL16-2 全般てんかんの脳波

白石 秀明 (北海道大学病院小児科てんかんセンター)

本講演では、全般てんかんにおける脳波所見、発作症状に関して、脳波、発作症状の動画を呈示し、その特徴と鑑別点を挙げていく。脳波所見、発作症状の理解により適切な診断と治療薬の選択に繋がることを期待したい。

## BL17 ベーシックレクチャー17

11月28日 (土) 14:45～15:15 (第3会場)

座長：神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

BL17-1 小児てんかんの脳波

秋山 倫之 (岡山大学小児神経科)

小児てんかんでは年齢とともに自然寛解しやすい (自己終息性) タイプがある一方、難治な経過を示し、てんかん発作型の種類が多彩なタイプもある。本講演では、これらのてんかん症候群の代表的な脳波を供覧し解説する。

11月28日 (土) 15:15～15:45 (第3会場)

座長：秋山 倫之 (岡山大学小児神経科)

BL17-2 高齢者てんかんの脳波

神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

本発表では高齢者てんかんにおける発作間欠時てんかん性発射の検出率、波形の特徴に関する既報告をレビューする。また、高齢者てんかんの脳波判読において、てんかん性異常との鑑別が問題となる正常亜型についても概説する。

## BL18 ベーシックレクチャー18

11月28日 (土) 16:00～16:30 (第3会場)

座長：酒田あゆみ (九州大学病院検査部)

BL18-1 聴性脳幹反応

湯本 真人 (群馬パース大学附属研究所先端医療科学研究センター／東京大学大学院医学系研究科病態診断医学講座)

聴性脳幹反応は、覚醒度や意識レベルの影響を受けにくく、安定して記録できる誘発電位である。今更聞けない、記録法に関する基本事項を復習し、典型的な症例の供覧を通して、脳幹誘発電位の不思議さ・面白さをお伝えしたい。

11月28日 (土) 16:30～17:00 (第3会場)

座長：湯本 真人 (群馬パース大学附属研究所先端医療科学研究センター／東京大学大学院医学系研究科病態診断医学講座)

BL18-2 脳死判定の脳波検査

酒田あゆみ (九州大学病院検査部)

臨床的に脳死状態と考えられる高度脳機能障害患者の脳波検査において、どのような過程を経て大脳半球の電気的活動が失われていると判断するに至るか、なぜ高度の技術が必要とされるか理解するためのポイントを説明する。

## AL1 アドバンスレクチャー1

11月26日(木) 8:10～8:40 (第4会場)

座長：柳澤 琢史 (大阪大学高等共創研究院/大阪大学大学院医学系研究科  
脳神経外科)

AL1-1 皮質脳波判読の基本 (てんかん性放電を中心に)

小林 勝哉 (京都大学医学部附属病院脳神経内科)

頭蓋内電極で記録される皮質脳波のうち、発作間欠期と発作時のてんかん性放電について症例をまじえて概説する。広帯域皮質脳波や、本邦では未承認のSEEGでのてんかん性放電の判読の基本も一部紹介する。

11月26日(木) 8:40～9:10 (第4会場)

座長：小林 勝哉 (京都大学医学部附属病院脳神経内科)

AL1-2 精神神経疾患の脳波による診断技術の開発

柳澤 琢史 (大阪大学高等共創研究院/大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科)

脳波は多くの医療機関で利用できる安価で非侵襲的な検査であるが、その判読には専門的な知識と経験を要する。本講では、深層学習を用いて精神神経疾患を脳波から自動診断する技術の現状と課題を紹介する。

## AL2 アドバンスレクチャー2

11月26日(木) 9:25～9:55 (第4会場)

座長：大倉 睦美 (朝日大学歯学部総合医科学講座内科学/朝日大学病院睡眠医療センター・脳神経内科)

AL2-1 てんかんと睡眠関連疾患

茶谷 裕 (関西電力医学研究所睡眠医学研究部/松本内科胃腸科/関西電力病院睡眠関連疾患センター)

”睡眠関連てんかん”の特性を、1. 睡眠覚醒リズム、2. 睡眠段階、3. その他による影響 (睡眠時無呼吸症候群など) という視点から解説し、ナルコレプシーなどてんかんと鑑別が必要な疾患についても紹介する。

11月26日(木) 9:55～10:25 (第4会場)

座長：茶谷 裕 (関西電力医学研究所睡眠医学研究部/松本内科胃腸科/関西電力病院睡眠関連疾患センター)

AL2-2 睡眠時周期性四肢運動とウィリス・エクボム病 (レストレスレッグズ症候群)

大倉 睦美 (朝日大学歯学部総合医科学講座内科学/朝日大学病院睡眠医療センター・脳神経内科)

睡眠時周期性四肢運動はPeriodic Limb Movements of Sleep (PLMS) は生理的に出る現象である。この運動現象について解析方法と解釈、ウィリス・エクボム病との関係について概説する。

### AL3 アドバンスレクチャー3

11月26日(木) 10:40～11:10 (第4会場)

座長：立花 直子 (関西電力病院睡眠関連疾患センター/関西電力医学研究所睡眠医学研究部)

AL3-1 睡眠を動かす薬剤

杉田 尚子 (京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学教室))

総合病院で入院患者さんが眠れないと相談を受けるのは精神科医である。精神科医が選ぶ「眠くなる薬」を概説するとともに総合病院における精神科リエゾン・コンサルテーションの活動の現場の実際について紹介したい。

11月26日(木) 11:10～11:40 (第4会場)

座長：杉田 尚子 (京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学教室))

AL3-2 午睡CPAPタイトレーション

立花 直子 (関西電力病院睡眠関連疾患センター/関西電力医学研究所睡眠医学研究部)

閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (obstructive sleep apnea syndrome, OSAS) に対する持続陽圧呼吸療法 (CPAP) の適正圧を決めるための検査兼作業を午睡にて実施する方法を解説する。

### AL4 アドバンスレクチャー4

11月26日(木) 13:00～13:30 (第4会場)

座長：軍司 敦子 (横浜国立大学教育学部/国立精神・神経医療研究センター)

AL4-1 ミスマッチ陰性電位の基礎科学から臨床応用にかけて

志賀 哲也 (福島県立医科大学神経精神医学講座)

これまで明らかになってきた聴覚ミスマッチ陰性電位について、時間統合機能などの基礎研究の紹介から、統合失調症をはじめとする精神科臨床応用について本レクチャーで講演を行う。

11月26日(木) 13:30～14:00 (第4会場)

座長：志賀 哲也 (福島県立医科大学神経精神医学講座)

AL4-2 事象関連電位

軍司 敦子 (横浜国立大学教育学部/国立精神・神経医療研究センター)

視覚情報処理 (N170成分) や注意、記憶処理 (P300成分)、エラー (ERN) 等の事象に関連して惹起される脳電位と、運動 (MRCP) や予期、意欲、注意 (CNV) 等の事象に先行する脳電位について概説する。

## AL5 アドバンスレクチャー5

11月26日(木) 14:10～14:40 (第4会場)

座長：中村 元昭 (昭和大学発達障害医療研究所)

AL5-1 精神疾患に対するrTMS治療のエビデンス

野田 賀大 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

治療抵抗性うつ病に対するrTMS治療のエビデンスは、本邦でも漸く人口に膾炙するようになったが、本アドバンスド・レクチャーでは、うつ病以外の精神疾患も含め、近年実施されてきた様々なrTMS臨床研究に関するシステマティック・レビューおよびメタ解析研究を取り上げ、現在得られている知見をオムニバス形式で紹介する。

11月26日(木) 14:40～15:10 (第4会場)

座長：野田 賀大 (慶應義塾大学病院精神・神経科学教室)

AL5-2 うつ病に対するrTMS療法の保険収載後の現況

中村 元昭 (昭和大学発達障害医療研究所)

本レクチャーでは、うつ病治療としてのrTMS療法の適正使用指針の概要や保険診療における算定要件との乖離点を解説した上で、保険収載後の状況を紹介しつつ、わが国における適切な均てん化に向けた議論を共有したい。

## AL6 アドバンスレクチャー6

11月26日(木) 15:20～15:50 (第4会場)

座長：高松 直子 (徳島大学病院)

AL6-1 脳神経外科医による最先端疼痛治療

齋藤 洋一 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経機能再生学／大阪大学大学院医学系研究科脳神経機外科)

非侵襲な反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) による一次運動野刺激、後根進入帯破壊術 (DREZotomy)、脳磁図によるDecNef (decoded neurofeedback) について解説する。

11月26日(木) 15:50～16:20 (第4会場)

座長：齋藤 洋一 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経機能再生学／大阪大学大学院医学系研究科脳神経機外科)

AL6-2 筋の超音波検査

高松 直子 (徳島大学病院)

筋疾患における評価法や、各疾患の特徴的な所見を提示する。また筋疾患だけでなく、神経疾患における筋障害の特徴や、fasciculationの評価における運動ニューロン疾患の診断の有用性についても述べる。

## AL7 アドバンスレクチャー7

11月27日 (金) 8:00～8:30 (第3会場)

座長：森岡 周（畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター）

AL7-1 経頭蓋直流電気刺激の臨床活用

佐伯 覚（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

tDCSは時間および空間分解能は低いものの、安全性が高く使用も簡便であり、近年臨床研究が欧米で盛んに実施されている。本講演では、tDCSの基本となる刺激方法およびtDCSと他療法を併用した臨床活用例について紹介する。

11月27日 (金) 8:30～9:00 (第3会場)

座長：佐伯 覚（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

AL7-2 身体性システム科学とリハビリテーション

森岡 周（畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター）

身体性は自己身体の所有の意識（身体所有感）と行為者としての意識（行為主体感）に大別される。本講演ではそれらの変容・増幅する手続きについて、心理物理学的手法から解説し、リハビリテーションへの応用を探る。

## AL8 アドバンスレクチャー8

11月27日 (金) 9:20～9:50 (第3会場)

座長：河野 道宏（東京医科大学脳神経外科）

AL8-1 脳腫瘍切除時の機能的な摘出限界線の術中判断

鎌田 恭輔（医療法人恵み野病院脳神経外科／ATR国際電気通信基礎技術研究所）

Key Words: eloquent fiber, electrophysiological monitoring, tractography, validation

11月27日 (金) 9:50～10:20 (第3会場)

座長：鎌田 恭輔（医療法人恵み野病院脳神経外科／ATR国際電気通信基礎技術研究所）

AL8-2 聴神経腫瘍・小脳橋角部腫瘍の術中神経生理モニタリング

河野 道宏（東京医科大学脳神経外科）

聴神経腫瘍・小脳橋角部腫瘍は脳神経外科手術の中でも最難関とされ、術中モニタリングは各脳神経機能の温存に必須であり、最も効果を発揮しやすい疾患群である。モニタリングの実際を紹介する。

## AL9 アドバンスレクチャー9

11月27日 (金) 10:40～11:10 (第3会場)

座長：三國 信啓 (札幌医科大学医学部脳神経外科)

AL9-1 術中VEPモニタリングの臨床的有用性

佐々木達也 (東北医科薬科大学脳神経外科)

新しい光刺激装置を作製し、網膜電図の同時記録を追加し、propofolを用いた全静脈麻酔を用いたところ、VEPの再現性が良好になり安定したモニタリングが可能となった。術中VEPの臨床的有用性について症例を提示して述べる。

11月27日 (金) 11:10～11:40 (第3会場)

座長：佐々木達也 (東北医科薬科大学脳神経外科)

AL9-2 覚醒下手術中の脳機能モニタリング

三國 信啓 (札幌医科大学医学部脳神経外科)

覚醒下手術中の脳機能モニタリングは、予後と機能代償・回復を背景にして、脳腫瘍やてんかん焦点を安全かつ最大限に摘出する為に重要である。運動・言語機能モニタリングについて、誘発電位と随意活動の差異について解説する。

## AL10 アドバンスレクチャー10

11月27日 (金) 13:15～13:45 (第3会場)

座長：人見 健文 (京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学／京都大学大学院医学研究科臨床神経学)

AL10-1 超選択的Wada testによるオーダーメイド的局所脳機能評価

大沢伸一郎 (東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野)

脳血管内治療の技術を応用し、任意の頭蓋内血管にマイクロカテーテルを誘導して行う超選択的Wada testを確立した。言語、記憶力その他の高次機能課題と組み合わせることで、意識障害のない純粋な脳機能局在判定が可能となる。

11月27日 (金) 13:45～14:15 (第3会場)

座長：大沢伸一郎 (東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野)

AL10-2 ミオクロノスてんかん

人見 健文 (京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学／京都大学大学院医学研究科臨床神経学)

ミオクロノスてんかんはミオクロノスとてんかんを呈し、全般性棘徐波複合や体性感覚誘発電位の巨大化を認めることが多い。抗てんかん薬・抗ミオクロノス薬が治療に用いられるが、AMPA型受容体阻害剤の有用性が最近報告された。

## AL11 アドバンスレクチャー11

11月27日 (金) 14:30～15:00 (第3会場)

座長：池田俊一郎 (関西医科大学精神神経科学教室)

AL11-1 脳波を30分で好きになってもらうには

柿坂 庸介 (東北大学病院てんかん科)

目的達成のために、学習者には「脳波と発作はセットで教育し、その後知識を実践させる症例検討会に参加させ、得た知識が役に立つことを実感させる」ことが重要であると考えている。当日はその実際を供覧する。

11月27日 (金) 15:00～15:30 (第3会場)

座長：柿坂 庸介 (東北大学病院てんかん科)

AL11-2 薬物と脳波

池田俊一郎 (関西医科大学精神神経科学教室)

## AL12 アドバンスレクチャー12

11月27日 (金) 15:45～16:15 (第3会場)

座長：神吉 理枝 (西宮協立脳神経外科病院脳神経内科)

AL12-1 正常脳波の判読 成人編 -いっしょに脳波を読もう-

橋本 修治 (天理よろづ相談所病院白川分院内科)

脳波を実際に読んだ経験が少ない人を対象に、実際の脳波を提示しながら読み解いていきます。覚醒時や睡眠時に見られる特徴的な所見を確認していきます。

11月27日 (金) 16:15～16:45 (第3会場)

座長：神吉 理枝 (西宮協立脳神経外科病院脳神経内科)

AL12-2 正常脳波の判読 小児編

井上 岳司 (大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児神経内科)

小児の脳波について、脳波判読の経験者と一緒に脳波を読む機会がなかった人が対象になります。実際の小児のデジタル脳波を提示、概説します。またてんかん性放電 (棘波、鋭波) との比較も行うようにします。



## AL13 アドバンスレクチャー13

11月27日 (金) 15:45～16:15 (第4会場)

座長：代田悠一郎 (東京大学医学部附属病院検査部)

AL13-1 経頭蓋磁気刺激の基本

花島 律子 (鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科分野)

経頭蓋磁気刺激法による運動誘発電位の基本的事項の復習と、研究の場で近年頻用される運動野興奮性変化のパラメーターや、反復経頭蓋磁気刺激法による可塑性誘導について紹介する。

11月27日 (金) 16:15～16:45 (第4会場)

座長：花島 律子 (鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科分野)

AL13-2 神経変性疾患とTMS

代田悠一郎 (東京大学医学部附属病院検査部)

神経変性疾患へのTMSの応用としては、主に1) 神経興奮性検査を通じた病態解明・病勢評価、2) 長期効果誘導を利用した治療、の二つがある。パーキンソン病への応用を中心に、両者について概説する。

## AL14 アドバンスレクチャー14

11月27日 (金) 17:00～17:30 (第3会場)

座長：三枝 隆博 (大津赤十字病院脳神経内科)

AL14-1 認知症の脳波

赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科／国際医療福祉大学成田病院てんかんセンター)

認知症の臨床診断は病歴・診察所見・画像所見等から可能なことが多いが、非典型例では脳波が重要な役割を果たすことがある。認知症研究における脳波の役割についても述べる。

11月27日 (金) 17:30～18:00 (第3会場)

座長：赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科／国際医療福祉大学成田病院てんかんセンター)

AL14-2 脳炎の脳波：いつ、どのように利用すべきか？

三枝 隆博 (大津赤十字病院脳神経内科)

脳炎で見られる脳波所見は脳障害の重症度を反映し、計測時点での病態把握につながるため、臨床経過の客観的評価のため積極的に活用したい。また、近年増加している自己免疫性脳炎での特徴についても概説する。

## AL15 アドバンスレクチャー15

11月28日(土) 8:30～9:00 (第4会場)

座長：有村 公良 (大勝病院脳神経内科)

AL15-1 人工知能の臨床神経生理学への応用：針筋電図放電の判別

野寺 裕之 (金沢医科大学医学部神経内科学)

針筋電図の自動判別を目的として、近年発展が著しい人工知能 (AI) を用いたシステムを構築した。それぞれの針筋電図放電に特徴的な音を用いた AI システムの構築経験は他検査へ応用が可能であると期待される。

11月28日(土) 9:00～9:30 (第4会場)

座長：野寺 裕之 (金沢医科大学医学部神経内科学)

AL15-2 保険収載にみあったSFEMG検査ガイド

有村 公良 (大勝病院脳神経内科)

単線維筋電図 (SFEMG) は神経筋伝達機能検査として、鋭敏であり重症筋無力症などの神経筋接合部疾患に有用な検査法である。本講演では実際の検査方法および注意点を述べると共に、保険診療を行う際についても述べたい。

## AL16 アドバンスレクチャー16

11月28日(土) 9:45～10:15 (第4会場)

座長：有村 公良 (大勝病院脳神経内科)

AL16-1 振戦・ジストニアの機能外科

橋本 隆男 (相澤病院脳神経内科)

振戦やジストニアは異常神経活動の発生源や神経経路を破壊あるいは高頻度電気刺激でブロックすることにより抑制できる。ジストニアは病型、病因により手術効果が異なる。発症機序と手術効果について症例提示しながら解説する。

11月28日(土) 10:15～10:45 (第4会場)

座長：橋本 隆男 (相澤病院脳神経内科)

AL16-2 myotonia、周期性四肢麻痺

有村 公良 (大勝病院脳神経内科)

ミオトニア周期性四肢麻痺は筋膜の興奮性異常によるもので、筋膜の興奮を直接調べる事が出来る筋電図、exercise testは鑑別診断に有効な手段である。その電気生理診断の方法、考え方について述べる。

## AL17 アドバンスレクチャー17

11月28日 (土) 11:00～11:30 (第4会場)

座長：大島 秀規 (日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野)

AL17-1 脊髄由来の神経障害性疼痛の病態を考える

牛田 享宏 (愛知医科大学医学部学際的痛みセンター)

脊髄に起因する痛みには神経障害性の要素を持つものが多い。これらの発症維持には神経系の可塑的变化や感作が関与しており、治療の選択等において神経科学的なメカニズムベースに考えることも必要である。

11月28日 (土) 11:30～12:00 (第4会場)

座長：牛田 享宏 (愛知医科大学医学部学際的痛みセンター)

AL17-2 疼痛に対する脊髄刺激療法の現状

大島 秀規 (日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野)

本講演では、神経障害性疼痛に対する脊髄刺激療法 (SCS) の新規刺激法 (高頻度およびburst 刺激) と従来の低頻度 tonic 刺激との疼痛改善機序の違いを、臨床効果と合わせて概説する。

## AL18 アドバンスレクチャー18

11月28日 (土) 13:30～14:00 (第4会場)

座長：安原 昭博 (安原こどもクリニック/YCCこども教育研究所)

AL18-1 自閉スペクトラム症の臨床神経生理

高橋 秀俊 (高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学)

自閉スペクトラム症 (ASD) の非定型的な感覚情報処理特性は、近年臨床と研究の両方で、その重要性の認識が高まっている。本講演では、ASDの聴覚情報処理を中心に、聴覚性驚愕反応や脳波・脳磁図研究などの臨床神経生理について概説する。

11月28日 (土) 14:00～14:30 (第4会場)

座長：高橋 秀俊 (高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学)

AL18-2 ADHDの脳機能障害の特徴

安原 昭博 (安原こどもクリニック/YCCこども教育研究所)

注意欠如多動症は小児の神経発達症の中心的な病気である。注意集中が持続して払えないことと多動が主な症状であり、その病変は線条体・尾状核といった報酬系から前頭前野に広がると考えられている。注意欠如多動症の脳機能の評価について解説する。

## AL19 アドバンスレクチャー19

11月28日(土) 14:45～15:15 (第4会場)

座長：川上 治 (安城更生病院脳神経内科)

AL19-1 ICU-AW

山本 大輔 (札幌医科大学医学部神経内科)

ICU-AWは重症疾患の罹患後に筋力低下が生じる症候群で、成人ICU入室患者の約半数に発症リスクがある。ICU-AWの発症危険因子、病態、診断、電気生理学的検査所見、予防および治療法について解説する。

11月28日(土) 15:15～15:45 (第4会場)

座長：川上 治 (安城更生病院脳神経内科)

AL19-2 ビデオ脳波モニタリングの実際

白井 直敬 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター)

ビデオ脳波モニタリングの方法、施行にあたっての考え方などにつき、臨床的な点を中心に解説する。特に発作時の適切な介入が発作時、発作後の側方症候を検出する上でとても重要であることを強調したい。

## AL20 アドバンスレクチャー20

11月28日(土) 16:00～16:30 (第4会場)

座長：野寺 裕之 (金沢医科大学医学部神経内科学)

AL20-1 Collision Technique

稲葉 彰 (関東中央病院脳神経内科)

神経伝導検査で上肢では腋窩やErb点を刺激する時に、目的の神経以外の神経にも電気刺激が波及 (Current spread) することがある。Collision techniqueを用いると目的の神経由来のみの電位を取りだして記録することができる。

11月28日(土) 16:30～17:00 (第4会場)

座長：稲葉 彰 (関東中央病院脳神経内科)

AL20-2 腕神経叢：解剖とその障害

野寺 裕之 (金沢医科大学医学部神経内科学)

腕神経叢障害を適切に診断できるように、理解に基づいた解剖の覚え方と特徴的腕神経叢疾患につき概略する。

## 特別シンポジウム 脊髄損傷における最近の進歩

11月26日(木) 13:00～14:30 (第2会場)

座長：松山 幸弘 (浜松医科大学整形外科)

齋藤 貴徳 (関西医科大学整形外科学講座)

脊髄損傷はこれまで麻痺の回復が不可能な病気として諦められてきた。しかし、最近の研究で回復が期待できる治療法が開発されつつある。近年開発された麻痺の回復に有用な治療法を各研究者に報告していただき展望をさぐる。

1. 急性脊髄損傷に対する G-CSF 神経保護療法および Muse 細胞移植：臨床試験  
山崎 正志 (筑波大学医学医療系整形外科)
2. 自己骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による脊髄損傷治療  
山下 敏彦 (札幌医科大学医学部整形外科学講座)
3. われわれが目指す脊髄損傷に対する再生医療とは  
中村 雅也 (慶應義塾大学医学部整形外科)

## SP1 シンポジウム1 神経筋接合部の臨床検査：感度と特異度

11月26日(木) 8:10～9:40 (第6会場)

座長：今井 富裕 (札幌医科大学保健医療学部)

病原性自己抗体の測定、単線維筋電図、反復刺激試験、眼瞼易疲労性試験やアイスパック試験など神経筋接合疾患で施行される臨床検査を取り上げ、それぞれの特徴や感度／特異度、陽性／陰性尤度比を解説する。

- SP1-1 神経筋接合部疾患における自己抗体測定  
中根 俊成 (熊本大学病院分子神経治療学寄附講座)
- SP1-2 同芯針電極を用いた jitter 測定のピットフォール  
中村 友紀 (鹿児島大学脳神経内科)
- SP1-3 神経筋接合部の臨床検査：感度と特異度 反復神経刺激法  
畑中 裕己 (帝京大学脳神経内科・神経筋電気診断センター)
- SP1-4 神経筋接合部検査の感度と特異度 - 生理学的検査および薬理的検査  
山本 大輔 (札幌医科大学医学部神経内科)

## SP2 シンポジウム2 発達障害の事象関連脳活動：事象関連電位を中心に

11月26日(木) 8:10～9:40 (第7会場)

座長：稲垣 真澄 (鳥取県立鳥取療育園)

板垣俊太郎 (福島県立医科大学神経精神医学講座)

ミスマッチ陰性電位やP300などの脳波成分の解析や脳磁図による脳活動の評価を用いることで、注意欠如多動症、自閉スペクトラム症、発達性読字障害などの発達障害分野における事象関連脳活動研究の最新知見を討論する。

- SP2-1 事象関連電位を用いた ADHD 治療薬への反応予測の可能性  
太田 豊作 (奈良県立医科大学精神医学講座)
- SP2-2 発達障害の認知機能解析：限局性学習症を中心に  
加賀 佳美 (山梨大学医学部小児科/国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的発達障害研究部)
- SP2-3 自閉症スペクトラム傾向者の感覚処理と MMN  
池田 一成 (東京学芸大学教育学部)
- SP2-4 成人期発達障害の Mismatch Negativity と脳画像解析  
板垣俊太郎 (福島県立医科大学医学部神経精神医学講座)

## SP3 シンポジウム3 神経生理検査における医師と検査技師の連携 (技師はどこまですべきか)

11月26日(木) 10:00～11:30 (第5会場)

座長：幸原 伸夫 (神戸市立医療センター中央市民病院)

高橋 修 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室/済生会東神奈川リハビリテーション病院)

神経生理検査における精度や信頼性は、検査技師の知識と技術に大きく依存する。依頼された検査によって「何がわかるのか?」、依頼の目的「何を知りたいのか?」どのような情報を望んでいるのか?」を医師との連携の上、十分理解して検査を実施することが大切であることなどの議論を行う。

- SP3-1 神経生理検査における医師と検査技師の連携 (技師はどこまですべきか)  
高橋 修 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室/済生会東神奈川リハビリテーション病院)
- SP3-2 当院神経生理検査における現状  
松下 隆史 (地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部)
- SP3-3 脳波検査 (睡眠検査も含む) における医師と検査技師の連携 (技師はどこまですべきか)  
石郷 景子 (大垣市民病院医療技術部診療検査科生理機能検査室)
- SP3-4 筋電図検査における検査技師の役割は何か (医師の立場から)  
大崎 裕亮 (徳島大学病院脳神経内科)
- SP3-5 医師と技師の役割分担; 一般病院に働く脳神経内科医の立場から  
幸原 伸夫 (神戸市立医療センター中央市民病院)

## SP4 シンポジウム4 自閉症脳の不思議を紐解く

11月26日(木) 10:00～11:30 (第6会場)

座長：相原 正男 (山梨大学医学部健康生活支援看護学講座)

稲垣 真澄 (鳥取県立鳥取療育園)

自閉症は心理学的に心の理論・共同注視・実行機能・中枢性統合などの異常として研究されてきた。今回、自閉症の脳内情報処理機能を数値化できる指標として提示することで自閉症のバイオマーカーとなることが期待される研究成果を三つの視点から発表いただきます。

- SP4-1 自閉スペクトラム症はコネクタパチーである：視覚認知の側面から  
山崎 貴男 (九州大学臨床神経生理／三野原病院脳神経内科／熊谷健康政策研究所)
- SP4-2 自閉症スペクトラム障害児におけるノイズ音知覚の脳律動解析  
軍司 敦子 (横浜国立大学教育学部／国立精神・神経医療研究センター)
- SP4-3 脳波所見から考える自閉スペクトラム症の行動異常  
金村 英秋 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科／山梨大学医学部小児科)

## SP5 シンポジウム5 臨床脳波の現状と未来：clinical toolかresearch topicか？

11月26日(木) 13:00～14:30 (第6会場)

座長：池田 昭夫 (京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

小林 勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)

臨床脳波はデジタル脳波時代となり、clinical toolの部分と、research topicとして解決すべき問題が混在する。各臨床分野で両者を提示議論し今後の本分野の発展の一助となる展望を共有する。

- SP5-1 小児の脳機能評価における research および clinical tool としての脳波  
夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座)
- SP5-2 脳神経外科領域における clinical tool および research topic としての頭皮、皮質脳波の現状  
前原 健寿 (東京医科歯科大学脳神経外科)
- SP5-3 脳神経内科領域における clinical tools および research topics としての脳波・長時間ビデオ脳波モニタリング  
重藤 寛史 (九州大学医学部保健学科／九州大学病院脳神経内科)
- SP5-4 精神科領域における research topic および clinical tool としての脳波  
刑部 有祐 (福島県立医科大学神経精神医学講座)

## SP6 シンポジウム6 疾患別の術中脊髄モニタリング

11月26日(木) 13:00～14:30 (第7会場)

座長：今釜 史郎 (名古屋大学整形外科)

谷口慎一郎 (関西医科大学整形外科)

脊椎脊髄手術において術中脊髄モニタリングは、医療安全や良好な手術成績向上につながる。6つの疾患別術中脊髄モニタリングの講演と、各疾患における有用性や術中脊髄モニタリング所見に応じた対応など、臨床に即した討論を予定している。

- SP6-1 頸椎後方除圧手術における脊髄モニタリング  
船場 真裕 (山口大学整形外科)
- SP6-2 術中経頭蓋電気刺激筋誘発電位からみる頸椎前方固定術と後方固定術の神経合併症リスクの比較—日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究—  
和田簡一郎 (弘前大学大学院医学研究科整形外科)
- SP6-3 胸椎後縦靭帯骨化症後方除圧固定術における術中脊髄モニタリング変化の検討  
安藤 圭 (名古屋大学医学部整形外科)
- SP6-4 脊髄腫瘍に対する術中脊髄モニタリングの工夫: 日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設共同研究  
藤原 靖 (日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ／  
広島市立安佐市民病院整形外科)
- SP6-5 小児側弯症矯正手術における術中脊髄モニタリング  
山田 圭 (久留米大学医学部整形外科教室／日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会)
- SP6-6 成人脊柱変形矯正手術に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性—日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究—  
後迫 宏紀 (浜松医科大学整形外科)

## SP7 シンポジウム7 ミスマッチ陰性電位の精神科臨床応用

11月26日(木) 14:40～16:10 (第6会場)

座長：志賀 哲也 (福島県立医科大学神経精神医学講座)

住吉 太幹 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部)

ミスマッチ陰性電位の精神科臨床への応用については、本分野研究における近年最大の関心事である。今回は統合失調症、双極性障害など国内の精神科領域における研究者から、その臨床応用についての発表と討論を行う。

- SP7-1 統合失調症のMMN  
荒木 剛 (東京大学医学部附属病院精神神経科)
- SP7-2 ミスマッチ陰性電位における聴覚刺激の種類と精神疾患との関連  
星野 大 (福島県立医科大学医学部神経精神医学講座)



- SP7-3 精神病性障害におけるバイオマーカーとしてのミスマッチ陰性電位の役割  
樋口 悠子（富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座／富山大学アイドリング脳科学研究センター／  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部）
- SP7-4 双極性障害のミスマッチ課題時における神経同期活動  
鬼塚 俊明（九州大学大学院医学研究院精神病態医学）

## SP8 シンポジウム8 こんなに使えるF波：リハビリテーション医学の視点、神経内科学の視点

11月26日（木）14:40～16:10（第7会場）

座長：小森 哲夫（国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター）  
原 元彦（帝京大学溝口病院リハビリテーション科）

F波をきちんと臨床で用いるにはF波の成り立ちを理解する必要がある。その上で、リハビリテーション医学と神経内科学の視点でF波の有用性、新しい使い方、将来性などを語り、F波への理解を促進するとともにF波研究を後押しする。

- SP8-1 F波のリハビリテーション医療への応用  
松元 秀次（了徳寺大学健康科学部医学教育センター）
- SP8-2 リハビリテーション科領域における反復F波  
蜂須賀明子（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）
- SP8-3 脱髄性ニューロパチーのF波  
国分 則人（獨協医科大学脳神経内科）
- SP8-4 F波と運動単位の解析でわかる神経筋疾患の病態  
阿部 達哉（国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター）

## SP9 シンポジウム9 てんかん発作時脳波を極める

11月26日（木）16:30～18:00（第3会場）

座長：中里 信和（東北大学てんかん学分野）  
重藤 寛史（九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野）

外来の脳波検査で発作に遭遇する機会は少ない。発作に遭遇したとしても、発作時脳波は一筋縄にはいかない。発作時脳波を見たことがない人から、発作時脳波ばかりみている人まで満足できるシンポジウム。

- SP9-1 全般発作の脳波を極める  
寺田 清人（てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック／NHO静岡てんかん・神経医療センター）
- SP9-2 焦点発作の頭皮脳波  
神 一敬（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）
- SP9-3 頭蓋内記録における発作時脳波  
臼井 直敬（NHO静岡てんかん・神経医療センター）
- SP9-4 頭蓋内脳波（高周波・低周波成分）  
秋山 倫之（岡山大学小児神経科）

## SP10 シンポジウム10 臨床生理検査を用いた頭痛患者の検討

11月26日(木) 16:30～17:30 (第4会場)

座長：立花 久大 (西宮協立脳神経外科病院脳神経内科)

辰元 宗人 (獨協医科大学病院医療安全推進センター)

頭痛患者は光過敏などの随伴症状を伴うことや、脳幹の活性化が知られている。Near-Infrared Spectroscopy、瞬目反射、ABRなどの電気生理検査を用いて、その病態に迫る。

SP10-1 頭痛患者の光過敏

辰元 宗人 (獨協医科大学病院医療安全推進センター)

SP10-2 NIRSを用いた片頭痛患者の脳血流評価

渡邊 由佳 (獨協医科大学日光医療センター脳神経内科／獨協医科大学脳神経内科)

SP10-3 片頭痛患者における脳幹反射

神吉 理枝 (西宮協立脳神経外科病院脳神経内科／関西医科大学附属病院痛みセンター)

## SP11 シンポジウム11 新しい脊髄・神経機能診断

11月26日(木) 16:30～18:00 (第6会場)

座長：安藤 宗治 (関西医科大学整形外科)

川端 茂徳 (東京医科歯科大学先端技術医療応用学)

神経磁界計測による脊髄・末梢神経の新しい機能診断法は、近年急速に進歩し、臨床応用間近になってきた。本セッションでは、神経磁界計測の最前線を各演者に報告いただき、将来性と課題について討論したい。

SP11-1 神経磁場計測システムの開発

足立 善昭 (金沢工業大学先端電子技術応用研究所)

SP11-2 神経磁界計測装置を用いた健常者の上位頸髄の非侵襲的機能評価

朴 正旭 (関西医科大学整形外科学)

SP11-3 脊磁図(神経磁界計測)を用いた胸腰椎の神経電気活動の非侵襲的機能評価

橋本 淳 (東京医科歯科大学大学院整形外科)

SP11-4 上肢末梢神経磁界計測による神経活動電流の可視化

佐々木 亨 (同愛記念病院整形外科)

SP11-5 神経磁界計測装置による健常者臀部での坐骨神経活動の非侵襲的機能評価

朴 正旭 (関西医科大学整形外科学)

## SP12 シンポジウム12 レム睡眠行動障害研究の進歩

11月26日(木) 16:30～18:00 (第8会場)

座長：宮本 智之 (獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科)

野村 哲志 (のむらニューロスリープクリニック)

目的：レム睡眠行動障害 (RBD) は睡眠時随伴症で、レビー小体型認知症、パーキンソン病あるいは多系統萎縮症に進展する。今回、精神科、脳神経内科でRBDに対応する神経生理学的側面を共有する。

討論：それぞれの立場からRBDの特徴、進展について検討する。

- SP12-1 精神科で遭遇する偶発的な筋活動低下を伴わないレム睡眠とその臨床的特徴  
岩本 邦弘 (名古屋大学大学院医学系研究科発達老年精神医学分野)
- SP12-2 レム睡眠行動障害の自律神経障害  
角 幸頼 (滋賀医科大学精神医学講座)
- SP12-3 RBDにおける sleep injury についての検討 - 神経生理学的側面より -  
宮本 雅之 (獨協医科大学看護学部看護医科学 (病態治療) 領域 / 獨協医科大学病院睡眠医療センター)
- SP12-4 パーキンソン病関連疾患に併存するRBDにおける神経生理学的側面  
野村 哲志 (のむらニューロスリープクリニック)

## SP13 シンポジウム13 てんかん外科における脳機能モニタリング

11月27日(金) 8:20～9:50 (第5会場)

座長：三國 信啓 (札幌医科大学脳神経外科)

松本 理器 (神戸大学脳神経内科)

てんかん外科では焦点を確実に切除して発作消失を目指すことが重要であるが、その際に近接する機能野を温存する必要がある。様々なモダリティを用いて、より安全にてんかん外科ができるモニタリングやマッピングについて各エキスパートの先生にご講演頂く予定です。

- SP13-1 てんかん外科における術中モニタリング  
福多 真史 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)
- SP13-2 頭蓋内脳波による言語機能解析  
岩崎 真樹 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)
- SP13-3 てんかん外科における術中の脳機能マッピング  
菊池 隆幸 (京都大学医学部附属病院脳神経外科)
- SP13-4 てんかん外科における言語機能マッピング  
國枝 武治 (愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科)

## SP14 シンポジウム14 機能性神経障害とその電気生理

11月27日(金) 8:20～9:50 (第6会場)

座長：園生 雅弘 (帝京大学医学部脳神経内科)

吉村 匡史 (関西医科大学医学部精神神経科学教室)

機能性神経障害(ヒステリー)は極めて古くから記載されている概念だが、近年DSM-5での診断基準の改訂、治療法の進歩など、いくつかの革新がある。電気生理検査は診断の客観的根拠として重要な役割を果たす。

SP14-1 転換性障害の精神的概念

吉村 匡史 (関西医科大学医学部精神神経科学教室)

SP14-2 機能性筋力低下の電気生理

園生 雅弘 (帝京大学医学部神経内科)

SP14-3 心因性非てんかん性発作と電気生理

村田 佳子 (埼玉医科大学病院)

SP14-4 転換性障害の理解と治療

渡辺 俊之 (高崎西口精神療法研修室)

## SP15 シンポジウム15 上肢絞扼性神経障害の診療の実際～各診療科における役割～

11月27日(金) 10:10～11:40 (第5会場)

座長：信田 進吾 (東北労災病院整形外科)

逸見 祥司 (川崎医科大学附属病院脳神経内科)

臨床現場でしばしば遭遇する上肢絞扼性神経障害について各方面の専門家にそれぞれの立場で講演していただき、診断・治療における各診療科の役割や他の診療科との望ましい連携のあり方について討論していきます。

SP15-1 脳神経内科の立場から

大石知瑞子 (杏林大学医学部脳神経内科)

SP15-2 上肢絞扼性神経障害の診療の実際 (臨床検査技師の立場から)

植松 明和 (国立病院機構千葉医療センター臨床検査科)

SP15-3 神経生理学的診断と超音波診断の併用 ～ 一 (いち) リハビリテーション科医の取り組み ～

栗原 由佳 (東海大学医学部専門診療学系リハビリテーション科学)

SP15-4 整形外科における上肢絞扼性神経障害の治療 -手術適応の考え方-

原 由紀則 (都立広尾病院整形外科・末梢神経外科)

## SP16 シンポジウム16 脳卒中上肢運動麻痺への様々なアプローチ

11月27日 (金) 13:15～14:45 (第7会場)

座長：菅原 憲一 (神奈川県立保健福祉大学)

鈴木 俊明 (関西医療大学大学院保健医療学研究科)

脳卒中上肢麻痺へのアプローチは難渋することが多い。本シンポジウムでは、リハビリテーションにおける様々なアプローチの具体的な方法や効果検討について臨床神経生理学的研究より解明していきたい。

- SP16-1 ストレッチと運動イメージを併用した脳血管障害片麻痺患者の麻痺側上肢に対するアプローチ  
鈴木 俊明 (関西医療大学大学院保健医療学研究科)
- SP16-2 ミラー療法による運動麻痺へのアプローチ  
野冨 一平 (信州大学医学部保健学科)
- SP16-3 身体性視覚フィードバックによる脳卒中後運動麻痺に対するアプローチ  
金子 文成 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)
- SP16-4 運動錯覚が促す神経可塑性  
柴田恵理子 (北海道文教大学人間科学部理学療法学科)

## SP17 シンポジウム17 F波からみた運動療法への展開

11月27日 (金) 15:00～16:30 (第7会場)

座長：鈴木 俊明 (関西医療大学大学院保健医療学研究科)

浅井 仁 (金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域)

脊髄前角細胞の興奮性の指標であるF波を用いた運動療法の効果検討、将来展望について、理学療法・作業療法領域でのF波研究者から熱くお話しいたします。また、F波の新しい解析方法についても解説いたします。

- SP17-1 F波からみた一側肢の運動が対側肢へ及ぼす影響  
嘉戸 直樹 (神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科)
- SP17-2 F波からみた運動観察の効果と運動療法への展開  
高崎 浩壽 (京都田辺中央病院／関西医療大学大学院保健医療学研究科)
- SP17-3 F波からみた運動イメージの効果と運動療法への展開  
文野 住文 (関西医療大学大学院保健医療学研究科)
- SP17-4 F波からみた慢性期片麻痺患者に対する運動イメージ介入方法の可能性  
竹中 孝博 (平成医療短期大学リハビリテーション学科作業療法専攻)
- SP17-5 F波の波形に着目したパラメーターの確立—加算平均処理による振幅値への影響について—  
東藤真理奈 (関西医療大学保健医療学部臨床理学療法学教室／金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻)

## SP18 シンポジウム18 片麻痺の歩行障害の運動学的理解と歩行訓練

11月28日(土) 8:30～10:00 (第7会場)

座長：出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科)

加賀谷 齊 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座)

片麻痺者の歩行再建を最新の科学的知見に基づいて再考するために本シンポジウムを企画した。歩容の定量的記述、関節硬さに注目した機器や訓練、逸脱運動と治療目標の同定、モデルに基づく個別化歩行再建の講演から新しいアイデアが生まれることを期待する。

- SP18-1 三次元トレッドミル歩行分析による片麻痺の歩行障害  
加賀谷 齊 (藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座)
- SP18-2 関節の硬さから考える片麻痺患者の歩行再建  
関口 雄介 (東北大学病院リハビリテーション部/東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野)
- SP18-3 運動学および神経生理学的評価に基づく歩行訓練の展開  
脇田 正徳 (関西医科大学香里病院関医デイケアセンター・香里)
- SP18-4 片麻痺患者の歩行の運動学的理解に基づくモデルベーストリハビリテーション  
大脇 大 (東北大学工学研究科ロボティクス専攻)

## SP19 シンポジウム19 TMSを用いた神経生理学的研究と精神科領域への臨床応用

11月28日(土) 10:20～11:50 (第5会場)

座長：鬼頭 伸輔 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院)

野田 賀大 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

本シンポジウムでは、うつ病をはじめとした精神疾患に対するrTMS臨床研究(前半2演題)および健常者から精神疾患患者におけるTMS-EEG神経生理研究による脳ダイナミクスの解明に向けた取り組み(後半2演題)について紹介し、生理学的観点から討論したい。

- SP19-1 神経精神疾患におけるTMSを用いた臨床研究  
高橋 隼 (和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室)
- SP19-2 うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)の治療研究  
松田 勇紀 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)
- SP19-3 TMS-EEG計測による脳ダイナミクスのプローブ手法の提案  
北城 圭一 (自然科学研究機構生理学研究所システム脳科学研究領域神経ダイナミクス研究部門/理化学研究所脳神経科学研究センターCBS-トヨタ連携センター脳リズム情報処理連携ユニット)
- SP19-4 TMSを用いた神経生理学的研究と精神科領域への臨床応用  
野田 賀大 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)

## SP20 シンポジウム20 脳神経外科手術におけるモニタリングとマッピング

11月28日(土) 13:30～15:00 (第6会場)

座長：佐々木達也 (東北医科薬科大学脳神経外科)

後藤 哲哉 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科)

脳神経外科手術における電気生理検査による支援は、術中を通じて機能低下がないことを監視するモニタリングと、目視ではできない機能の局在を術野内で同定するマッピングに大別される。各種モダリティ毎にエキスパートの先生方からご講演をいただく予定です。

- SP20-1 脳神経外科手術におけるモニタリングとマッピング：体性感覚誘発電位  
後藤 哲哉 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科)
- SP20-2 脳神経外科手術におけるモニタリングとマッピング運動誘発電位の有用性と最近の話題  
本山 靖 (奈良県立医科大学脳神経外科)
- SP20-3 術中VEPモニタリングの有用性と限界  
佐々木達也 (東北医科薬科大学脳神経外科)
- SP20-4 脳神経減圧術中のモニタリング  
福多 真史 (国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科)
- SP20-5 皮質脳波記録  
藤井 正美 (山口県立総合医療センター脳神経外科)

## SP21 シンポジウム21 作業療法学と臨床神経生理学の融合

11月28日(土) 15:20～16:50 (第5会場)

座長：石井 良平 (大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所臨床支援系領域)

稲富 宏之 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

このセッションでは、リハビリテーションの一分野である作業療法が、脳波・NIRSなどの臨床神経生理学の手法を取り込み、VRなどの映像技術やAIによる動作解析、ウェアラブルセンサーによる生体情報解析などを応用しながら、新たな知見を臨床神経生理学にフィードバックしつつある最前線の試みを紹介できればと考えている。

- SP21-1 作業療法の未来  
内藤 泰男 (大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所)
- SP21-2 精神科リハビリテーションのためのfNIRS基礎研究  
菊地千一郎 (群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座)
- SP21-3 手工芸活動中の脳波と自律神経機能の変化：作業療法の有効性に関するエビデンス  
白岩 圭悟 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)
- SP21-4 がん・認知症に対するVirtual Realityを活用した非薬物的アプローチの可能性  
仁木 一順 (大阪大学大学院薬学研究科／市立芦屋病院薬剤科)
- SP21-5 報酬と行動練習  
鈴木 誠 (東京家政大学健康科学部リハビリテーション学科)

## SP21-6 作業療法と臨床神経生理学

吉村 匡史 (関西医科大学精神神経科学教室)

## CSP1 関連学会合同シンポジウム1 GBS/CIDPにおける生物学・免疫学と電気生理学の接点

11月26日(木) 8:10~9:40 (第5会場)

座長: 桑原 聡 (千葉大学医学部脳神経内科)

小池 春樹 (名古屋大学医学系研究科神経内科学)

免疫介在性脱髄性ニューロパチーの病態解析は大きく進展している。本シンポジウムでは生物学・微小形態学・神経生理学のそれぞれの立場からBS/CIDP研究の最前線を紹介する。

## CSP1-1 脱髄性ニューロパチーの生物学的背景

馬場 広子 (東京薬科大学薬学部機能形態学教室)

## CSP1-2 ギラン・バレー症候群とCIDPにおける新規自己抗体とミエリンの超微細構造

小池 春樹 (名古屋大学医学系研究科神経内科学)

## CSP1-3 血液神経関門と脱髄分布

澁谷 和幹 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

## CSP1-4 神経伝導の安全因子と脱髄

桑原 聡 (千葉大学医学部脳神経内科)

(日本神経治療学会・日本神経学会)

## CSP2 関連学会合同シンポジウム2 神経生理学的アプローチによる心理学研究

11月26日(木) 8:10~9:40 (第8会場)

座長: 勝二 博亮 (茨城大学教育学部)

軍司 敦子 (横浜国立大学教育学部)

関連学会である日本生理心理学会に所属する本学会会員で、心理学や体育学、教育学の研究分野でご活躍の先生方にご登壇いただき、両学会共通の関心事項であるおもに注意や意識(睡眠含む)と認知の関連について学際的な討論の場を提供する。

## CSP2-1 反応抑制課題における事象関連電位と発達性協調運動症

鈴木 浩太 (四天王寺大学教育学部教育学科)

## CSP2-2 背景音が認知活動に及ぼす影響

田原 敬 (茨城大学教育学部)

## CSP2-3 触覚性注意の手内分布における柔軟性: 脳磁図研究

木田 哲夫 (愛知県医療療育総合センター発達障害研究所障害システム研究部門高次脳機能研究室/生理学研究所生体機能情報解析室)

## CSP2-4 視知覚を支える自動的予測: 視覚ミスマッチ陰性電位研究を中心に

木村 元洋 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)



## CSP2-5 睡眠心理学研究による意識へのアプローチ

高原 円 (福島大学共生システム理工学類)  
(日本生理心理学会)

## CSP3 関連学会合同シンポジウム3 急性症候性発作 (acute symptomatic seizure : ASS)

11月26日 (木) 10:00~11:30 (第7会場)

座長：横田 裕行 (日本体育大学大学院保健医療学研究科)

永山 正雄 (国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学)

急性症候性発作 (ASS) は急性全身性疾患、代謝性疾患、中毒疾患、中枢神経疾患等を原因として起こる発作で、良好な転帰に大きく寄与するための迅速で正確な評価、診断、そして治療に関して最新の知見に基づいて議論する。

## CSP3-1 救急・集中治療現場での急性症候性発作

本多 満 (東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)

## CSP3-2 急性症候性発作の診断と脳波

下竹 昭寛 (京都大学医学部脳神経内科)

## CSP3-3 てんかん重積に対する救急集中治療

中村 謙介 (日立総合病院救急集中治療科)

## CSP3-4 救命救急センターに搬送されるけいれん重積症例の現状と転帰

恩田 秀賢 (日本医科大学付属病院高度救命救急センター/日本医科大学救急医学教室)

## CSP3-5 急性症候性発作アップデート

久保田有一 (東京女子医科大学東医療センター脳神経外科)  
(日本神経救急学会)

## CSP4 関連学会合同シンポジウム4 ボツリヌス「+α」でもう一段上を目指す

11月26日 (木) 10:00~11:30 (第8会場)

座長：正門 由久 (東海大学医学部リハビリテーション科)

有村 公良 (大勝病院)

ボツリヌス治療学会と臨床神経生理学会は、さまざまな疾患について、その診断に関する知識、治療に関する知識や手技が共通しており、相互的に発展してゆけるものであると思われる。シンポジウムでは、様々な疾患の臨床神経生理学知識が、診断にもボツリヌス治療にも必要であることを述べていただける。

## CSP4-1 超音波ガイド下で正確に注射する

古川 俊明 (東海大学医学部付属八王子病院)

## CSP4-2 痙縮に対するボツリヌス療法とリハビリテーション

衛藤 誠二 (鹿児島大学大学院リハビリテーション医学)

## CSP4-3 ジストニアにおける鍼治療の併用

鈴木 俊明 (関西医療大学大学院保健医療学研究科)

- CSP4-4 ボツリヌス治療に抵抗性の局所性ジストニアに対する連続経頭蓋磁気刺激治療  
 村瀬 永子 (国立病院機構奈良医療センター)  
 (日本ボツリヌス治療学会)

### CSP5 関連学会合同シンポジウム5 脳内運動リハーサルを臨床応用する神経生理学的意義

11月26日(木) 16:30~18:00 (第5会場)

座長: 鈴木 俊明 (関西医療大学大学院保健医療学研究科)

金子 文成 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

運動錯覚、運動イメージを用いたリハビリテーションは近年注目されている。本シンポジウムでは、脳内運動リハーサルの神経生理学的意義について、日本基礎理学療法学会で活躍されている研究者の皆さんに詳しく語っていただきます。

- CSP5-1 身体化錯覚の転移に関わる脳内神経基盤の検討  
 菅田 陽怜 (大分大学福祉健康科学部理学療法コース)
- CSP5-2 運動錯覚によるアプローチ - 脳卒中患者における運動イメージ再生機能の即時的変化 -  
 岡和田愛実 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室/社会医療法人北斗北斗病院)
- CSP5-3 脊髄運動神経機能からみた運動イメージ効果  
 福本 悠樹 (関西医療大学保健医療学部理学療法学科/関西医療大学大学院保健医療学研究科)
- CSP5-4 脳内運動イメージと末梢感覚入力による神経可塑性の誘導  
 山口 智史 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)  
 (日本基礎理学療法学会)

### CSP6 関連学会合同シンポジウム6 姿勢制御・運動協調とニューロモデュレーション

11月26日(木) 14:40~16:10 (第8会場)

座長: 平岡 浩一 (大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類)

大西 秀明 (新潟医療福祉大学)

ヒトにおける姿勢や肢節間の協調に関する運動制御様式は、運動制御分野における重要テーマである。シンポジウムにおいては、これら制御様式およびその制御への神経生理学的刺激・介入効果についての最新知見をご提示いただき討論する。

- CSP6-1 歩行開始時の振り出し側選択に寄与する皮質領野  
 平岡 浩一 (大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類)
- CSP6-2 小脳刺激と運動調節  
 松木 明好 (四條畷学園大学リハビリテーション学部)
- CSP6-3 前庭器官へのノイズ電流刺激が姿勢制御に与える効果  
 犬飼 康人 (新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科/  
 新潟医療福祉大学運動機能医科学研究所)

- CSP6-4 経頭蓋直流電気刺激と二重課題中の平衡機能  
木村 剛英 (つくば国際大学医療保健学部理学療法学科)
- CSP6-5 中枢性運動麻痺患者に対する末梢神経電気刺激併用運動イメージ訓練  
川上 途行 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)  
(日本基礎理学療法学会)

### CSP7 関連学会合同シンポジウム7 小児脳波・脳磁図研究の最前線

11月27日 (金) 8:00～9:30 (第7会場)

座長：夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)  
小林 勝弘 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)

脳波および脳磁図による小児脳機能解析研究の最前線の知見を総合し、新たな展開の発想を触発することを目的として、日本小児神経学会との合同シンポジウムを開催し、未来を見据えた研究を展望する。

- CSP7-1 小児の脳波解析～高周波からネットワーク分析まで～  
柴田 敬 (岡山大学医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (岡山大学病院小児神経科))
- CSP7-2 てんかん性スパズムに対する脳梁離断術の予後因子となる術前頭皮脳波の特徴：左右対称性と位相差について  
岡西 徹 (鳥取大学脳神経小児科／聖隷浜松病院てんかんセンター)
- CSP7-3 新生児脳波にまつわる最新の話  
城所 博之 (名古屋大学医学部小児科)
- CSP7-4 脳磁図の最前線；コミュニケーション脳科学と Dual MEG  
柳生 一自 (北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門)  
(日本小児神経学会)

### CSP8 関連学会合同シンポジウム8 精神・神経分野におけるtDCS研究-機序解明から臨床利用まで-

11月27日 (金) 8:20～9:50 (第8会場)

座長：尾内 康臣 (浜松医科大学光先端医学教育研究センター生体機能イメージング研究室)  
西田圭一郎 (関西医科大学精神神経学教室)

経頭蓋直流電気刺激法 (tDCS) を用いた脳内分子イメージング、神経生理学的検討といった基礎的研究から、患者データを用いた計算論的シミュレーション、実験認知心理、社会認知機能評価といった臨床応用研究を連続的に議論することで、tDCSの効果と限界を俯瞰的に検証する。

- CSP8-1 tDCSによるドパミンとGABA神経修飾  
尾内 康臣 (浜松医科大学光先端医学教育研究センター生体機能イメージング研究室)
- CSP8-2 経頭蓋直流刺激による $\gamma$ 帯域への効果の検討：無作為化二重盲検試験  
宮岸 良彰 (金沢大学附属病院神経科精神科)
- CSP8-3 気分障害と統合失調症における両側前頭部のtDCSで生じる電界シミュレーション  
高橋 隼 (和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室)

CSP8-4 うつ病患者と健常者における tDCS 効果検証 -タスクスイッチング課題を中心に-  
西田圭一郎 (関西医科大学精神神経科学教室)

CSP8-5 統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) の効果と展望  
山田 悠至 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院第二精神診療部)  
(日本薬物脳波学会)

### CSP9 関連学会合同シンポジウム9 リハビリテーション治療における歩行分析の有用性

11月27日 (金) 10:10~11:40 (第6会場)

座長：長谷 公隆 (関西医科大学リハビリテーション医学講座)

藤原 俊之 (順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学)

歩行制御の神経生理学的探究の第一歩は、リズム運動を形成する姿勢制御機構を運動学的に捉えることにある。立位を保持しながら運動モーメントを管理する能力の再建に必要な歩行分析の臨床的視点について議論する。

CSP9-1 成人脊柱変形矯正術の歩行分析

長谷 公隆 (関西医科大学リハビリテーション医学講座)

CSP9-2 パーキンソン病における立位・歩行分析

伊澤 奈々 (順天堂大学医学部リハビリテーション科/順天堂大学医学部脳神経内科/  
順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

CSP9-3 歩行の質的な特徴量としてのLimb Kinematics

大畑 光司 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

CSP9-4 HALによる運動改善効果の検討：運動解析学の視点から

門根 秀樹 (筑波大学医学医療系整形外科/筑波大学サイバニクス研究センター)  
(日本リハビリテーション医学会)

### CSP10 関連学会合同シンポジウム10 生体親和性材料の最新知見

11月27日 (金) 10:00~11:30 (第7会場)

座長：松本 守雄 (慶應義塾大学医学部整形外科学教室)

山田 宏 (和歌山県立医科大学整形外科学講座)

本シンポジウムでは、既存の生体親和性材料の弱点を補う目的で新規開発された医用材料の最新知見を開発者の先生方にご披露いただくとともに、臨床応用に向けた将来展望について討論していただくことを目的とする。

CSP10-1 配向連通孔を有する人工骨の基礎と臨床応用

船山 徹 (筑波大学医学医療系整形外科)

CSP10-2 多孔質HAp/Colの基礎と臨床

早乙女進一 (安房地域医療センター)

CSP10-3 プラズマ技術を用いた骨形成を有するアミン人工骨の開発

海渡 貴司 (大阪大学医学部整形外科)

## CSP10-4 脊椎固定術における生体活性チタン多孔体インプラントの開発と臨床応用

藤林 俊介 (京都大学大学院医学研究科整形外科)  
(日本整形外科学会)

## CSP11 関連学会合同シンポジウム11 PSGから見る神経及び筋疾患

11月27日 (金) 10:10~11:40 (第8会場)

座長：立花 直子 (関西電力病院睡眠関連疾患センター/関西電力医学研究所睡眠医学研究部)  
堀 有行 (金沢医科大学医学教育学/金沢医科大学病院睡眠医学センター)

睡眠ポリグラフ検査 (PSG) は観察や介入を前提に常時監視しながら実施するべきであり、その中に新たな発見と研究の糸口がある。PSGのraw dataや観察から見えてくる神経及び筋疾患の病態を概説する。

CSP11-1 閉塞性睡眠時無呼吸とっていたら、実は・・・-睡眠技士が常時監視PSGを通じて発見するもの-

村木 久恵 (朝日大学病院検査部睡眠医療センター)

CSP11-2 脳卒中における睡眠関連呼吸障害 - raw data でないと見えないもの

宮本 雅之 (獨協医科大学看護学部看護医科学 (病態治療) 領域/  
獨協医科大学病院睡眠医療センター)

CSP11-3 レム睡眠行動異常症の常時監視PSGのraw dataの解析と病態

小栗 卓也 (公立陶生病院脳神経内科)

CSP11-4 PSGから見える神経変性疾患と筋原性疾患

山内 基雄 (奈良県立医科大学呼吸器内科学講座)  
(日本臨床睡眠医学会)

## CSP12 関連学会合同シンポジウム12 片頭痛の病態生理研究の新展開

11月27日 (金) 13:15~15:30 (第4会場)

座長：目崎 高広 (榊原白鳳病院脳神経内科)  
竹島多賀夫 (富永病院脳神経内科・頭痛センター)

本学会では片頭痛を話題にする機会が比較的少なかった。本シンポジウムでは片頭痛の病態や諸症状、管理などについて、神経生理学分野における研究の最前線を供覧し、未来への展望を洞察する。

CSP12-1 片頭痛の病態生理の新展開

平田 幸一 (獨協医科大学)

CSP12-2 片頭痛の遺伝子研究が明らかにしたこと

古和 久典 (NHO松江医療センター脳神経内科)

CSP12-3 片頭痛における睡眠障害：レストレスレッグス症候群を中心に

鈴木 圭輔 (獨協医科大学脳神経内科)

CSP12-4 片頭痛の脳波研究：Back to the basic

宇佐美清英 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

## CSP12-5 片頭痛治療における非侵襲的ニューロモデュレーション

團野 大介 (富永病院脳神経内科頭痛センター)  
(日本頭痛学会)

## CSP13 関連学会合同シンポジウム13 重症筋無力症診療ガイドライン update

11月27日 (金) 13:15～14:45 (第5会場)

座長：今井 富裕 (札幌医科大学保健医療学部)  
園生 雅弘 (帝京大学脳神経内科)

現在改訂作業が行われている新ガイドラインの基本コンセプトを理解するために、MGの診断・自己抗体・薬物治療・胸腺摘除術にフォーカスを当てて改訂の根拠となった新たなエビデンスを紹介しながら解説する。

## CSP13-1 重症筋無力症の診断

今井 富裕 (札幌医科大学保健医療学部)

## CSP13-2 重症筋無力症と自己抗体

鈴木 重明 (慶應義塾大学医学部神経内科)

## CSP13-3 新しい診療ガイドラインを見据えた重症筋無力症の治療戦略

村井 弘之 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科学)

## CSP13-4 重症筋無力症ガイドライン 胸腺摘出について

奥村明之進 (大阪刀根山医療センター呼吸器外科)  
(日本神経学会)

## CSP14 関連学会合同シンポジウム14 整形外科領域における神経・関節のエコー

11月27日 (金) 13:15～14:45 (第6会場)

座長：星野 雅洋 (苑田第三病院)  
佐藤 公治 (名古屋第二赤十字病院)

近年、整形外科領域にエコーを用いた診療が広まってきている。しかし内科系に比べその広まりはまだまだ少ない。今回整形外科におけるエコーの利用、特に末梢神経および脊椎への利用についてその最先端にいる先生方に紹介していただき今後の普及につなげたい。

## CSP14-1 上肢末梢神経における砂時計様くびれの超音波診断

中島 祐子 (広島大学運動器超音波医学)

## CSP14-2 整形外科領域における末梢神経超音波診療の革新

仲西 康顕 (奈良県立医科大学整形外科・臨床研修センター)

## CSP14-3 末梢神経の疼痛に対するエコーガイド下intervention

宮武 和馬 (横浜市立大学附属病院整形外科)

## CSP14-4 整形外科手術後の遺残疼痛に対する超音波診療

高田 知史 (獨協医科大学)

## CSP14-5 脊椎術後疼痛に対するエコー下インターベンション

岩崎 博 (和歌山県立医科大学医学部整形外科学講座)  
(日本MIST学会)

## CSP15 関連学会合同シンポジウム15 できれば得する、神経筋エコー

11月27日 (金) 13:15～14:45 (第8会場)

座長：高瀬 憲作 (大阪物療大学保健医療学部)

能登 祐一 (京都府立医科大学脳神経内科)

超音波機器の技術革新で高解像度の画像が得られるようになり、脳神経内科疾患の領域で、超音波検査は、従来の脳血管の評価に加え、神経・筋の詳細な画像・機能評価に用いられるようになってきた。本セッションでは、神経筋疾患の診断・評価における神経・筋超音波検査の有用性を広く周知することを目的に、その手法と評価方法を、近年の新技术も交えて紹介する。

## CSP15-1 脳神経領域における血管エコーと神経筋エコーの関係

濱口 浩敏 (北播磨総合医療センター脳神経内科)

## CSP15-2 神経エコーができることのメリット！－日本人の神経断面積正常値構築も含めて

塚本 浩 (東京医科大学茨城医療センター脳神経内科)

## CSP15-3 筋エコーはこう使う！－静的評価と動的評価－

辻 有希子 (京都岡本記念病院)

## CSP15-4 神経・筋の病態解明に役立つエコーの新技术と評価法

藤井 康友 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)  
(神経筋超音波研究会・日本脳神経超音波学会)

## CSP16 関連学会合同シンポジウム16 神経痛性筋萎縮症 (NA)：新しい概念を巡って

11月27日 (金) 15:00～16:30 (第5会場)

座長：園生 雅弘 (帝京大学医学部脳神経内科)

加藤 博之 (信州大学医学部附属病院整形外科／流山中央病院手肘・  
上肢外科センター)

神経痛性筋萎縮症は古くから記載されている疾患だが、病変局在に議論があり、また類似疾患との鑑別も課題である。また、日本の手外科医によって記載されてきた特発性前骨間・後骨間神経麻痺との異同も論じたい。

## CSP16-1 神経痛性筋萎縮症の概念とその変遷

園生 雅弘 (帝京大学医学部神経内科)

## CSP16-2 神経痛性筋萎縮症 (NA)：整形外科・末梢神経外科の立場から

山本 真一 (横浜労災病院手・末梢神経外科)

## CSP16-3 特発性前骨間神経麻痺と特発性後骨間神経麻痺の特徴－前向き全国多施設臨床研究 (iNPS-JAPAN) の結果から－

加藤 博之 (信州大学医学部附属病院整形外科／流山中央病院手肘・上肢外科センター)

## CSP16-4 神経痛性筋萎縮症と神経炎 – 神経伝導検査による鑑別 –

関口 兼司 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科)

## CSP16-5 内科的治療について

宮本 勝一 (近畿大学医学部脳神経内科)

(日本末梢神経学会)

## CSP17 関連学会合同シンポジウム17 超適応の臨床生理学

11月27日 (金) 15:00～16:30 (第6会場)

座長：出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科)

太田 順 (東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター)

超高齢社会の日本では、加齢・疾患に伴う運動機能、脳機能障害、フレイルティが喫緊の問題となっている。本シンポジウムでは「脳が、進化や発達において使われなくなった潜在的機能等を再構成し、新たな行動則を獲得する過程」である超適応の概念を様々な側面から議論する。

## CSP17-1 超適応の科学：概要

太田 順 (東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター)

## CSP17-2 主体感の脳内メカニズムとモデル

温 文 (東京大学大学院工学系研究科)

## CSP17-3 神経疾患・精神疾患の治療回復論：主体性 (agency) の“超適応”という観点から

前田 貴記 (慶應義塾大学医学部精神神経科)

## CSP17-4 身体特異性注意の変容様式からみた運動機能障害者における超適応メカニズム

会津 直樹 (藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科専門基礎科学)

(日本ニューロリハビリテーション学会)

## CSP18 関連学会合同シンポジウム18 神経生理学から紐解くニューロモデュレーション治療

11月27日 (金) 15:00～16:30 (第8会場)

座長：杉山 憲嗣 (豊田えいせい病院脳神経外科)

藤井 正美 (山口県立総合医療センター脳神経外科)

パーキンソン病、振戦、認知症、中枢性疼痛、痙縮といった機能的疾患に対するニューロモデュレーション治療は、近年飛躍的な進歩を遂げている。本セッションでは神経生理学的見地を踏まえ、デバイスを用いた各種治療法の機序や効果について詳細に紐解いていく。

## CSP18-1 振戦に対する MR ガイド下集束超音波治療

山田 和慶 (熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻)

## CSP18-2 神経生理を基盤としたパーキンソン病の脳深部刺激療法

大島 秀規 (日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野)

## CSP18-3 アルツハイマー型認知症 (AD) に対する経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS) の効果について

落合 卓 (おちあい脳クリニック)



- CSP18-4 難治性疼痛に対するニューロモデュレーション  
細見 晃一（大阪大学大学院医学系研究科脳神経機能再生学／大阪大学大学院医学系  
研究科脳神経外科学／大阪大学医学部附属病院疼痛医療センター）
- CSP18-5 痙縮に対するニューロモデュレーション治療  
内山 卓也（近畿大学医学部脳神経外科）  
（日本定位・機能神経外科学会）

## CSP19 関連学会合同シンポジウム19 ALSの新たな展開

11月27日（金）16:45～18:15（第5会場）

座長：桑原 聡（千葉大学脳神経内科）  
横田 隆徳（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野）

神経生理学、分子生物学など多方面からの研究により、ALSの病態が徐々に明らかになりつつある。本シンポジウムでは診断基準、早期診断手法、病態解析、治療の面から、ALS研究の最前線を紹介する。

- CSP19-1 Gold Coast 診断基準  
澁谷 和幹（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）
- CSP19-2 Threshold tracking TMSを用いた上位運動ニューロン障害の評価法  
東原 真奈（東京都健康長寿医療センター脳神経内科・脳卒中科）
- CSP19-3 ALSの超音波診断  
能登 祐一（京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学）
- CSP19-4 ALSの病態および治療法の開発  
青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科）  
（日本神経治療学会・日本神経学会）

## CSP20 関連学会合同シンポジウム20 痛みの客観的な評価と臨床活用への挑戦

11月27日（金）16:45～18:15（第7会場）

座長：牛田 享宏（愛知医科大学学際的痛みセンター／運動教育センター）  
鈴木 俊明（関西医療大学大学院保健医療学研究科）

痛みに対する治療は、患者にも医療従事者にも重要な問題である。本シンポジウムでは、痛みに関する客観的な評価、臨床応用について、日本運動器疼痛学会で活躍されている研究者の皆さんから詳細に語っていただきます。

- CSP20-1 電気生理学的手法による痛みの評価  
西原 真理（愛知医科大学医学部学際的痛みセンター）
- CSP20-2 Quantitative Sensory testing（QST）による痛みの客観的な評価と臨床活用への挑戦  
泉 仁（高知大学医学部整形外科／高知大学医学部附属病院リハビリテーション部）
- CSP20-3 身体知覚異常及び運動恐怖の客観的な評価の試み  
田中 創（福岡整形外科病院リハビリテーション科／愛知医科大学大学院医学研究  
科臨床医学系専攻統合疼痛医学教室）

- CSP20-4 Patient Reported Outcomeを用いた痛みの客観的な評価と臨床活用の可能性  
山本 将揮（なかつか整形外科リハビリクリニック／関西医療大学大学院保健医療学研究科）  
（日本運動器疼痛学会）

## CSP21 関連学会合同シンポジウム21 精神疾患に対する手法・治療のあれこれ

11月28日（土）8:30～10:00（第5会場）

座長：木下 利彦（関西医科大学精神神経科学教室）  
吉村 匡史（関西医科大学精神神経科学教室）

精神科臨床において神経生理学的手法は大きな役割を果たしてきた。しかし当然それ以外のアプローチも多く存在し、欠かすことができない。本シンポジウムでは、精神疾患の診断・治療手法のうち代表的なものを紹介する。

- CSP21-1 精神疾患における電気生理学的アプローチ  
池田俊一郎（関西医科大学精神神経科学教室）
- CSP21-2 これまでとこれからの精神疾患に対する薬物療法を考える～抗精神病薬を中心に～  
嶽北 佳輝（関西医科大学総合医療センター精神神経科）
- CSP21-3 修正型電気けいれん療法を用いた精神疾患の治療  
安田 和幸（山梨大学医学部精神神経医学講座）
- CSP21-4 気分障害と統合失調症における認知機能障害の脳病態への脳構造画像的アプローチ  
高橋 隼（和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室）
- CSP21-5 精神分析への神経画像的アプローチ  
齊藤 幸子（関西医科大学医学部精神神経科学講座）  
（日本薬物脳波学会）

## CSP22 関連学会合同シンポジウム22 てんかん外科と神経生理学の融合

11月28日（土）10:20～11:50（第7会場）

座長：貴島 晴彦（大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学）  
三國 信啓（札幌医科大学脳神経外科）

日本てんかん学会との合同シンポジウムでは4人のてんかん外科のエキスパートからの講演となります。病態、診断、治療に関わる最新の情報、そして将来を展望する講演を頂きます。

- CSP22-1 てんかん関連焦点とネットワークの同定と外科治療への応用  
鎌田 恭輔（医療法人恵み野病院脳神経外科／ATR国際電気通信基礎技術研究所）
- CSP22-2 わが国におけるSEEGの現状と将来  
岩崎 真樹（国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科）
- CSP22-3 迷走神経刺激療法の現状と将来  
國井 尚人（東京大学脳神経外科）

## CSP22-4 新たな体内埋込み型治療装置（DBS、RNS）への期待

前原 健寿（東京医科歯科大学脳神経外科）  
（日本てんかん外科学会）

## CSP23 関連学会合同シンポジウム23 脊椎手術における手術支援技術の進歩

11月28日（土）13:30～15:00（第5会場）

座長：小谷 善久（関西医科大学総合医療センター整形外科）  
金村 徳相（江南厚生病院脊椎脊髄センター）

本シンポジウムでは現在脊椎外科領域で使用可能な手術支援技術としての、ハイブリッドナビゲーション手術室、術中モバイルCT、EOSなどの手術プランニング、脊髄モニタリング、仮想現実（VR）技術についてのUpdateと将来性について討議したい。

- CSP23-1 術前CTナビゲーションからハイブリッドナビゲーション手術への軌跡  
大場 悠己（信州大学整形外科）
- CSP23-2 術中モバイルCT（O-arm）と連動した3Dナビゲーションの応用と展望  
小谷 善久（関西医科大学総合医療センター整形外科）
- CSP23-3 脊椎手術プランニングにおけるCAOS技術の進歩  
金村 徳相（江南厚生病院脊椎脊髄センター）
- CSP23-4 脊椎手術に対する仮想現実技術（VR）の開発と展望  
成田 渉（亀岡市立病院整形外科・脊椎センター）
- CSP23-5 脊髄モニタリングの有用性について  
近藤 規明（名古屋第二赤十字病院医療技術部生体検査課）  
（日本CAOS研究会）

## CSP24 関連学会合同シンポジウム24 経穴刺激による脳・脊髄機能への影響

11月28日（土）15:20～16:50（第6会場）

座長：坂口 俊二（関西医療大学）  
木村 研一（関西医療大学）

本シンポジウムでは、鍼灸治療で用いられる「経穴」の基礎と、経穴への鍼刺激が脊髄や脳機能に及ぼす影響について、シンポジストのF波や脳磁図を用いた基礎・臨床研究の知見をご講演頂き、議論を行う。

- CSP24-1 経穴とは  
谷 万喜子（関西医療大学大学院保健医療学研究科／関西医療大学保健医療学部はり灸・スポーツトレーナー学科）
- CSP24-2 経穴刺激理学療法における脊髄運動神経機能  
鈴木 俊明（関西医療大学大学院保健医療学研究科）
- CSP24-3 誘発電位の変化からみた経穴  
二本松 明（北海道鍼灸専門学校）

CSP24-4 経穴刺激の脊髄・脳機能 –パーキンソン病患者の治療効果–

福田 晋平 (明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科)

CSP24-5 経穴への鍼刺激が中枢神経機能に及ぼす影響について～誘発電位・脳磁界を用いた検討～

木村 友昭 (東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科／東京有明医療大学大学院保健医療学研究科)  
(全日本鍼灸学会)

### サテライトシンポジウム1 磁気刺激の臨床応用と安全性に関する研究会 磁気刺激による神経可塑性誘導 その基礎と臨床

11月26日 (木) 18:30～20:30 (第2会場)

座長：藤原 俊之 (順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学)

SS1-1 EEG – TMSによる脳活動状態の評価と操作

武見 充晃 (東京大学大学院教育学研究科／科学技術振興機構さきがけ)

SS1-2 下肢一次運動野に対する Theta Burst Stimulationによる脊髄可塑性の誘導

山口 智史 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

SS1-3 反復单相性4連発磁気刺激法 (QPS) の臨床応用

川上 途行 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

SS1-4 文献レビュー 2020

代田悠一郎 (東京大学医学部附属病院検査部)

### サテライトシンポジウム2 小児脳機能研究会 小児脳機能研究の新しい試み

11月26日 (木) 18:30～20:30 (第3会場) 参加費：500円

座長：安原 昭博 (安原こどもクリニック)

荒木 敦 (中野小児病院)

SS2-1 小児脳機能研究会を振り返り、今後期待すること

安原 昭博 (安原こどもクリニック)

SS2-2 小児薬剤抵抗性てんかんにおける皮質下白質のグリア系細胞の神経病理学検索

佐久間 悟 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)

SS2-3 MRSの小児神経疾患への臨床適用

星野 廣樹 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

SS2-4 てんかん性脳症の脳磁図解析

山本 啓之 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科)

SS2-5 難治性てんかんに対する脳梁離断術後に二期的に焦点切除術を施行した38例についての検討

本田 涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)

サテライトシンポジウム3 第7回術中脳脊髄モニタリング懇話会  
「各科領域におけるモニタリング法」と「麻酔管理」のスタンダード

11月26日(木) 18:30～20:30 (第4会場) 参加費：1,000円

座長：板倉 毅 (関西医科大学整形外科学講座)

- SS3-1 基礎から学ぶ術中神経モニタリングの成功法則  
高谷 常範 (奈良県立医科大学中央手術部)
- SS3-2 脳外科手術でモニタリングを必要とする理由  
後藤 哲哉 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科)
- SS3-3 整形外科における脊髄モニタリングの現状  
安藤 宗治 (関西医科大学整形外科)
- SS3-4 術式、患者に対応した麻酔管理で術中モニタリングを最適化  
林 浩伸 (奈良県立医科大学麻酔科)

サテライトシンポジウム4 第4回MMN研究会

11月26日(木) 18:30～20:30 (第6会場)

座長：鬼塚 俊明 (九州大学大学院医学研究院臨床医学部門精神病態医学)

住吉 太幹 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・  
予防精神医学研究部)

- SS4-1 MMNについての臨床研究と今後の標準化について  
志賀 哲也 (福島県立医科大学神経精神医学講座)
- SS4-2 マルトリートメントによる事象関連電位への影響  
山室 和彦 (奈良県立医科大学精神医学講座)
- SS4-3 富山大学におけるMMN研究 (活動報告)  
樋口 悠子 (富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座)
- SS4-4 麻酔下ラットにおける視聴覚ミスマッチネガティビティ  
森 叶人 (東京大学大学院情報理工学系研究科生命知能システム分野)
- SS4-5 統合失調症のMMN研究  
荒木 剛 (東京大学医学部附属病院精神神経科)

WS1 ワークショップ1 試験委員会セミナー 専門医・専門技術師試験問題解説

11月26日(木) 13:00～14:30 (第8会場)

座長：今井 富裕 (札幌医科大学保健医療学部)

今年行われた認定試験の結果を中心に過去問の出題傾向や正答率を分析し、神経生理の基礎・ME問題、脳波問題、筋電図・神経伝導問題の3分野について、それぞれ本学会試験委員のエキスパートが問題解説を行う。

- WS1-1 試験委員会セミナー 専門医・専門技術師試験問題解説 神経生理の基礎とME  
内藤 寛 (日本赤十字社伊勢赤十字病院脳神経内科)

## WS1-2 脳波問題

吉村 匡史（関西医科大学医学部精神神経科学教室）

## WS1-3 神経伝導検査・筋電図

藤原 俊之（順天堂大学大学院医学研究科リハビリテーション医学）

## WS2 ワークショップ2 拡大するてんかんの遠隔医療

11月26日（木）14:40～16:10（第2会場）

座長：中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

榎 日出夫（聖隷浜松病院てんかんセンター）

てんかん診療における遠隔医療の有用性は早くから指摘されていた。このセッションでは、新型コロナウイルス蔓延以前から遠隔医療を利用してきた4人の演者に、将来の発展性と解決すべき課題について討論してもらう。

## WS2-1 てんかん診療はオンライン・ファーストか？

中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

## WS2-2 てんかんセンターにおけるオンライン診療

榎 日出夫（聖隷浜松病院てんかんセンター）

## WS2-3 地域医療における遠隔医療の現状

白石 秀明（北海道大学病院小児科てんかんセンター）

## WS2-4 てんかん診療における遠隔外来と包括的入院精査の相補的利用

柿坂 庸介（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

## WS3 ワークショップ3 問題症例の神経筋診断

11月26日（木）16:30～18:00（第7会場）

座長：有村 公良（大勝病院）

畑中 裕己（帝京大学神経内科）

本ワークショップは、毎年全国の先生にお持ち寄りいただいた珠玉の症例を神経筋診断技術向上小委員会のバックアップにより開催されています。今回はゆっくりwebでご覧いただけますのでぜひご鑑賞ください。

## WS3-1 脳炎後に急性の左肩周囲筋の筋力低下を呈した一例

佐久間克也（国立病院機構埼玉病院リハビリテーション科）

## WS3-2 右上肢への落下物による労災を契機とした右上肢筋力低下の一例

蜂須賀明子（産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

## WS3-3 左下垂指を呈した70歳男性

逸見 祥司（川崎医科大学神経内科）

## WS3-4 両下肢感覚障害、脛骨神経F波潜時延長が緩徐に進行した70歳男性の一例

黒田 隆之（東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野）

## WS3-5 17年の経過で上肢優位の右上下肢筋力低下の進行を来した23歳女性の1例

北國 秀治（千葉大学医学部附属病院脳神経内科）

## WS4 ワークショップ4 脳深部刺激療法の現状と未来

11月27日 (金) 8:00～9:30 (第4会場)

座長：深谷 親 (日本大学医学部脳神経外科)

藤井 正美 (山口県立総合医療センター)

脳深部刺激療法関連の技術革新と新知見の蓄積は目覚ましい。本ワークショップでは、脳深部刺激療法が現在直面している問題点と今後直面していくであろう課題を抽出し、当該領域のエキスパート達に議論してもらう。

- WS4-1 パーキンソン病患者に対する我々の外科的治療方針の変遷：低体重、高齢者に対する治療方針  
小林 正人 (埼玉医科大学病院脳神経外科)
- WS4-2 DBSのプログラミング  
藤井 正美 (山口県立総合医療センター)
- WS4-3 Adaptive DBS による機能神経外科の治療効果向上への期待  
山田 和慶 (熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻)
- WS4-4 DBSの適応疾患拡大  
杉山 憲嗣 (豊田えいせい病院脳神経外科)

## WS5 ワークショップ5 症例から学ぶ脳波のピットフォール

11月27日 (金) 10:00～11:30 (第4会場)

座長：飛松 省三 (福岡国際医療福祉大学・医療学部・視能訓練学科)

池田 昭夫 (京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

脳波判読では、正常か異常かあるいは所見の解釈が臨床と合うのか判断に迷うことが多い。経験豊かな演者が症例を通じて如何に脳波を解釈したかの原則を紹介し、てんかんや意識障害の病態と脳波所見の関係を解説する。

- WS5-1 正常と異常の狭間のグレイゾーン - 正常亜型脳波  
重藤 寛史 (九州大学医学部保健学科／九州大学病院脳神経内科)
- WS5-2 全般てんかんと焦点てんかんの鑑別  
神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)
- WS5-3 やっぱり発作時脳波が大切  
寺田 清人 (てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック／NHO 静岡てんかん・神経医療センター)
- WS5-4 意識障害の脳波判読の実際  
松本 理器 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野)

## WS6 ワークショップ6 経頭蓋電磁気刺激の現状と課題

11月28日(土) 8:30～10:00 (第6会場)

座長：後藤 純信 (国際医療福祉大学医学部生理学講座)

緒方 勝也 (国際医療福祉大学福岡薬学部薬学科)

近年、脳の機能回復やリハビリテーションの分野で注目を浴びつつある脳刺激の現状と課題を、静磁場刺激、経頭蓋交流電気刺激 (tACS) および経頭蓋磁気刺激の臨床応用の側面から講演頂き、経頭蓋電磁気刺激の将来の可能性について論じる。

WS6-1 静磁場刺激の臨床応用への可能性

桐本 光 (広島大学大学院医系科学研究所感覚運動神経科学教室)

WS6-2 経頭蓋交流電気刺激 (tACS) の刺激周波数と位相依存的効果について

中菌 寿人 (福岡国際医療福祉大学医療学部)

WS6-3 経頭蓋磁気刺激および脳刺激法の未来について

寺尾 安生 (杏林大学医学部病態生理)

## WS7 ワークショップ7 磁気刺激でのピットホール

11月28日(土) 10:20～11:50 (第6会場)

座長：宇川 義一 (福島県立医科大学ヒト神経生理学講座)

榎本 雪 (帝京平成大学健康医療スポーツ学部)

磁気刺激は30年以上の歴史があり、様々な研究・臨床の分野で応用されてきている。刺激して筋電図を記録するだけで、主義的に簡単に見えてもその検査法・結果の解釈には多くのピットホールがある。本ワークショップでは、神経根刺激、単発磁気刺激、2発刺激、反復刺激による可塑性の誘導、それぞれにおける注意点を専門家にお話しいただく。

WS7-1 神経根刺激の注意点

松本 英之 (三井記念病院神経内科)

WS7-2 単発刺激・二発刺激でのピットホール

代田悠一郎 (東京大学医学部附属病院検査部)

WS7-3 神経可塑性誘導における注意点

清水 崇宏 (鳥取大学医学部脳神経内科学)

## 日本臨床神経生理学会学術大会50回記念講演・座談会

11月26日(木) 16:00～18:30 (第1会場)

座長：木村 淳 (アイオワ大学神経科臨床神経生理部門)

正門 由久 (東海大学医学部リハビリテーション科)

1. 臨床神経生理学のさらなる発展を期して

柴崎 浩 (京都大学医学部)

2. 筋電図研究会から臨床神経生理学会へ

玉置 哲也 (愛徳医療福祉センター)



## 3. 臨床神経生理学の発展をみつめて45年

辻 貞俊（国際医療福祉大学）

## 4. 私を育ててくれた臨床神経生理学会

飛松 省三（福岡国際医療福祉大学医療学部視能訓練学科）

**S1 主催セミナー1 脳波ハンズオン**

11月26日（木）8:20～10:20（ハンズオン会場①）

司会：池田 昭夫（京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学講座）

デジタル脳波の記録・判読・保存における利点、最も重要な意識障害・てんかんの実例を示す。基本的内容から講義とケーススタディーを呈示することで、初級者も含めた参加者のデジタル脳波への理解を深める。

人見 健文（京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学）

榎 日出夫（聖隷浜松病院てんかんセンター）

三枝 隆博（大津赤十字病院脳神経内科）

夏目 淳（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

神 一敬（東北大学大学院てんかん学分野）

菅野 秀宣（順天堂大学脳神経外科）

**S2 主催セミナー2 神経筋診断セミナー**

11月26日（木）13:00～15:00（ハンズオン会場①）

座長：野寺 裕之（金沢医科大学神経内科学）

正門理事長・齋藤大会長のご高配により、今回の記念大会にて神経筋診断セミナーのダイジェスト版を開催させていただくことになりましたので、中級コースのuncommon 上下肢NCSハンズオンを取り上げさせていただきます。

逸見 祥司（川崎医科大学附属病院脳神経内科）

山内 孝治（社会医療法人大真会大隈病院）

稲葉 彰（関東中央病院脳神経内科）

平島富美子（花と森の東京病院リハビリテーション科）

**HO1 ハンズオンセミナー1 (VNSコース)**

てんかんに対する迷走神経刺激 (VNS) 装置の使用法に関するレクチャーとハンズオン

11月26日 (木) 9:00～11:00 (ハンズオン会場②)

チーフコーディネーター：山本 貴道 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

コーディネーター：原 恵子 (原クリニック)

ハンズオン講師:

山本 貴道 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

赤松 直樹 (国際医療福祉大学脳神経内科)

川合 謙介 (自治医科大学脳神経外科)

共催：リヴァノヴァ株式会社

**HO2 ハンズオンセミナー2 運動単位電位を捉まえる**

11月26日 (木) 12:00～14:00 (ハンズオン会場②)

コーディネーター：小森 哲夫 (国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター)

ハンズオン講師:

阿部 達哉 (国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター神経内科)

蜂須賀明子 (産業医科大学リハビリテーション科)

共催：日本光電工業株式会社

**HO3 ハンズオンセミナー3 (ITBコース)**

痙縮に対するバクロフェン持続髄注 (ITB) 装置の使用法に関するレクチャーとハンズオン

11月26日 (木) 15:00～17:00 (ハンズオン会場②)

コーディネーター：内山 卓也 (近畿大学医学部脳神経外科)

ハンズオン講師:

内山 卓也 (近畿大学医学部脳神経外科)

池田 巧 (京都第一赤十字病院リハビリテーション科)

齋藤 健 (産業医科大学脳神経外科)

松浦 慶太 (三重大学脳神経内科)

共催：第一三共株式会社

#### HO4 ハンズオンセミナー4 睡眠ポリグラフ検査 (Polysomnography, PSG) ハンズオン

11月26日 (木) 16:00～18:00 (ハンズオン会場①)

コーディネーター：立花 直子 (関西電力病院睡眠関連疾患センター／関西電力医学研究所睡眠医学研究部)

ハンズオン講師：

立花 直子 (関西電力病院睡眠関連疾患センター／関西電力医学研究所睡眠医学研究部)

小栗 卓也 (公立陶生病院脳神経内科)

茶谷 裕 (関西電力医学研究所睡眠医学研究部／松本内科胃腸科／広島大学病院精神科)

共催：日本臨床睡眠医学会／日本光電工業株式会社

#### HO5 ハンズオンセミナー5 痙縮に対するボツリヌス療法 ハンズオン

11月26日 (木) 18:00～19:30 (ハンズオン会場②)

コーディネーター：正門 由久 (東海大学医学部専門診療学系リハビリテーション科学)

ハンズオン講師：

銭 亮 (グラクソ・スミスクライン株式会社メディカル本部)

廣田 敦司 (グラクソ・スミスクライン株式会社メディカル本部)

仲田 智 (グラクソ・スミスクライン株式会社メディカル本部)

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

#### HO6 ハンズオンセミナー6 (SCSコース) 頑痛に対する脊髄刺激 (SCS) 装置の使用法に関するレクチャーとハンズオン

11月27日 (金) 9:00～11:00 (ハンズオン会場②)

コーディネーター：市川 忠 (埼玉県総合リハビリテーションセンター脳神経内科)

ハンズオン講師：

市川 忠 (埼玉県総合リハビリテーションセンター脳神経内科)

大島 秀規 (日本大学脳神経外科)

上利 崇 (東京都立神経病院脳神経外科)

共催：アボットメディカルジャパン合同会社／日本メドトロニック株式会社／ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

#### HO7 ハンズオンセミナー7 頸椎人工椎間板 ハンズオン

11月27日 (金) 13:20～15:20 (ハンズオン会場②)

ハンズオン講師：高見 俊宏 (大阪医科大学外科学講座脳神経外科学)

実施：

下川 宣幸 (社会医療法人三栄会ツカザキ病院脳神経外科)

共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社

## HO8 ハンズオンセミナー8 神経筋超音波セミナー

11月27日 (金) 16:20～18:20 (ハンズオン会場①)

コーディネーター：野寺 裕之 (金沢医科大学医学部神経内科学)

ハンズオン講師：

塚本 浩 (東京医科大学茨城医療センター脳神経内科)

濱口 浩敏 (北播磨総合医療センター脳神経内科)

高松 直子 (徳島大学病院神経内科)

共催：GEヘルスケアジャパン株式会社

## HO9 ハンズオンセミナー9 (DBSコース)

不随意運動症に対する脳深部刺激 (DBS) 装置の使用法に関するレクチャーとハンズオン

11月27日 (金) 16:20～18:20 (ハンズオン会場②)

コーディネーター：深谷 親 (日本大学脳神経外科)

ハンズオン講師：

下 泰司 (順天堂大学脳神経内科)

旭 雄士 (金沢脳神経外科病院)

宮城 靖 (福岡みらい病院機能神経外科)

共催：アボットメディカルジャパン合同会社 / 日本メドトロニック株式会社 /  
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

## 経仙骨的脊柱管形成術のハンズオン

11月28日 (土) 13:30～15:00 (第7会場)

座長：星野 雅洋 (苑田第三病院)

永島 英樹 (鳥取大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野)

現在超高齢社会を迎え、全身麻酔下手術がハイリスクな症例に対して脊柱管内カテーテル治療の有用性が注目されている。本シンポジウムでは、2018年に硬膜外腔癒着剥離術として保険収載された経仙骨的脊柱管形成術の紹介を行う。

KSP-1 脊柱管内治療の歴史

鵜飼 淳一 (名古屋第二赤十字病院整形外科)

KSP-2 仙骨管の解剖

島崎 孝裕 (久留米大学医学部整形外科学教室)

KSP-3 経仙骨的脊柱管形成術 (TSCP) の治療成績

横須賀公章 (久留米大学医学部整形外科学教室)

KSP-4 TSCP とリハビリテーションの集約的治療効果

柳沢 義和 (福岡みらい病院)

KSP-5 advanced-TSCP の展望

朴 正旭 (関西医科大学整形外科)

## 最優秀演題候補

11月27日 (金) 16:45～18:05 (第6会場)

座長：木下 利彦 (関西医科大学精神神経科学教室)

- BP-1 難治部分てんかん患者における皮質間ネットワークの特徴と臨床所見との関連：皮質皮質間誘発電位を用いた検討  
十河 正弥 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学)
- BP-2 頭蓋内脳波記録を行った根治的てんかん外科治療後の発作再発例の検討  
田村健太郎 (奈良県立医科大学医学部脳神経外科)
- BP-3 パーキンソン病に対する深部脳刺激療法後の脳波 $\beta$ 位相-広域 $\gamma$ 振幅カップリングの変化に関する検討  
江口 克紀 (北海道大学神経内科)
- BP-4 治療抵抗性うつ病患者の前帯状回GABA濃度によるrTMS治療反応予測  
本多 葉 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室精神病態生理学研究室)
- BP-5 うつ病における両側背外側前頭前野間のTMS-EEG機能的結合性の低下と同指標を用いたrTMS療法に対する治療反応性予測  
和田 真孝 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室)
- BP-6 持続長ミスマッチ陰性電位の統合失調症発症前後における縦断的变化  
立野 貴大 (富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座/富山大学アイドリッグ脳科学研究センター)

## LS1 ランチョンセミナー1

11月26日 (木) 11:50～12:50 (第1会場)

座長：齋藤 貴徳 (関西医科大学整形外科学講座)

- LS1 新型コロナウイルス感染症-治療戦略と感染予防対策  
宮下 修行 (関西医科大学・内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科)

## LS2 ランチョンセミナー2

11月26日 (木) 11:50～12:50 (第2会場)

座長：鈴木 俊明 (関西医療大学大学院/関西医療大学教務/関西医療大学保健医療学部理学療法学科)

- LS2 運動制御を捉える臨床動作分析  
長谷 公隆 (関西医科大学リハビリテーション医学講座)  
共催：アニマ株式会社

### LS3 ランチョンセミナー3

11月26日(木) 11:50～12:50 (第3会場)

座長：根尾 昌志 (大阪医科大学整形外科)

LS3 米国におけるロボット支援脊椎手術の現状

川口 善治 (富山大学医学部整形外科)

共催：グローバスメディカル株式会社

### LS4 ランチョンセミナー4

11月26日(木) 11:50～12:50 (第4会場)

座長：神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

LS4 アウトカムを見据えた抗てんかん薬の選択

—患者背景を重視した新しいてんかんの治療戦略—

山野 光彦 (東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学領域／

東海大学医学部付属病院神経内科)

共催：エーザイ株式会社

### LS5 ランチョンセミナー5

11月26日(木) 11:50～12:50 (第5会場)

座長：山田 宏 (和歌山県立医科大学整形外科学講座)

LS5 安全で高精度な低侵襲脊椎手術を目指して - 20年間の取り組みから -

小谷 善久 (関西医科大学総合医療センター整形外科・脊椎神経センター)

共催：日本メドトロニック株式会社

### LS6 ランチョンセミナー6

11月26日(木) 11:50～12:50 (第6会場)

座長：園生 雅弘 (帝京大学)

LS6 CIDP の電気診断 ~ CIDP or not CIDP, that is a question ~

黒川 勝己 (川崎医科大学総合医療センター脳神経内科)

共催：日本製薬株式会社

### LS7 ランチョンセミナー7

11月26日(木) 11:50～12:50 (第7会場)

座長：松山 幸弘 (浜松医科大学整形外科学講座)

LS7 脊磁図・末梢神経磁図による新しい神経機能評価

川端 茂徳 (東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座／

東京医科歯科大学大学院整形外科学)

共催：株式会社リコー

### LS8 ランチョンセミナー8

11月27日（金）12:00～13:00（第1会場）

座長：齋藤 貴徳（関西医科大学）

LS8 Parkinson病にともなう脊柱変形の外科的治療

阿部 栄二（秋田厚生医療センター整形外科）

共催：ミズホ株式会社

### LS9 ランチョンセミナー9

11月27日（金）12:00～13:00（第2会場）

座長：小澤 浩司（東北医科薬科大学整形外科）

LS9 骨・血管・神経連関－骨粗鬆症研究・臨床の最前線－

齋藤 充（東京慈恵会医科大学整形外科学講座）

共催：アムジェン株式会社/アステラス製薬株式会社

### LS10 ランチョンセミナー10

11月27日（金）12:00～13:00（第3会場）

座長：正門 由久（東海大学医学部リハビリテーション科）

LS10 ボツリヌス治療～痙縮への作用機序と問題点～

有村 公良（医療法人三州会大勝病院）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

### LS11 ランチョンセミナー11

11月27日（金）12:00～13:00（第4会場）

座長：吉村 匡史（関西医科大学）

LS11 てんかん発作の見分け方～高齢者てんかんと認知症～

渡辺 裕貴（天久台病院精神科）

共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社

### LS12 ランチョンセミナー12

11月27日（金）12:00～13:00（第5会場）

座長：内山 卓也（近畿大学脳神経外科）

LS12 脳血管障害における下肢変形に対する痙縮療法

田島 文博（和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座）

共催：帝人ヘルスケア株式会社

### LS13 ランチョンセミナー 13

11月27日 (金) 12:00～13:00 (第6会場)

座長：矢部 博興 (福島県立医科大学)

LS13 統合失調症の世界～統合失調症治療におけるロナセンテープの役割～

木下 利彦 (関西医科大学精神神経科学教室)

共催：大日本住友製薬株式会社

### LS14 ランチョンセミナー 14

11月27日 (金) 12:00～13:00 (第7会場)

座長：石井 賢 (国際医療福祉大学医学部整形外科学)

LS14 脊椎脊髄由来の慢性疼痛に対する脊髄刺激療法

山本 慎司 (大西脳神経外科病院脳神経外科)

共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社

### LS15 ランチョンセミナー 15

11月27日 (金) 12:00～13:00 (第8会場)

座長：園生 雅弘 (帝京大学医学部)

LS15 CIDP/MMNの非電気診断

関口 兼司 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学)

共催：CSLベーリング株式会社

### LS16 ランチョンセミナー 16

11月28日 (土) 12:15～13:15 (第2会場)

座長：小谷 善久 (関西医科大学総合医療センター)

LS16 最新の痛みの診断と治療

南 敏明 (大阪医科大学麻酔科学教室)

共催：第一三共株式会社

### LS17 ランチョンセミナー 17

11月28日 (土) 12:15～13:15 (第3会場)

座長：原田 智久 (洛和会丸太町病院)

LS17 術中アラームポイントの策定の総括およびモニタリング不要の最新脊椎手術—脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設調査—

伊藤 全哉 (あいちせぼね病院整形外科)

共催：ジンマーバイオメット合同会社



### LS18 ランチョンセミナー 18

11月28日 (土) 12:15～13:15 (第4会場)

座長：吉村 匡史 (関西医科大学精神神経学講座)

LS18 高齢者のうつ病の診療

工藤 喬 (大阪大学キャンパスライフ健康支援センター)

共催：ファイザー株式会社/大日本住友製薬株式会社

### LS19 ランチョンセミナー 19

11月28日 (土) 12:15～13:15 (第5会場)

座長：木下 利彦 (関西医科大学精神神経科)

LS19 睡眠障害の診断と最新治療～オレキシン受容体拮抗薬を含め～

平田 幸一 (獨協医科大学/獨協医科大学病院臨床医学)

共催：MSD株式会社

### LS20 ランチョンセミナー 20

11月28日 (土) 12:15～13:15 (第6会場)

座長：畑中 裕己 (帝京大学医学部脳神経内科)

LS20-1 神経筋接合部と骨格筋の電氣的興奮性

久保田智哉 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻臨床神経生理学)

LS20-2 MG治療をQOLの観点から考える.MM5はなぜ必要か？

増田 眞之 (東京医科大学神経学分野脳神経内科)

共催：アレクシオンファーマ合同会社

### ES01 イブニングセミナー

11月27日 (金) 17:00～18:00 (第4会場)

座長：下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

ES01 てんかん重積状態の予後と新規治療薬ブコラムに期待される役割

永瀬 裕朗 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野)

共催：武田薬品工業株式会社

## Iowa Reunion Symposium

11月28日（土） 15:20～16:50（第7会場）

座長：木村 淳（アイオワ大学神経科臨床神経生理部門）

齋藤 貴徳（関西医科大学整形外科学講座）

栢森 良二（帝京平成大学健康メディカル学部理学療法科）

谷 俊一（高知大学整形外科／くほかわ病院整形外科）

藤井 正美（山口県立総合医療センター脳神経外科・てんかんセンター外科系）

岡田 文明（はりま病院整形外科）

谷口慎一郎（関西医科大学整形外科学講座）

## ISIN Educational Seminar

11月27日（金） 8:00～15:00（ハンズオン会場①）

※詳細については学術大会HPを参照下さい。

## プログラム II

---

一般演題.....92



第50回日本臨床神経生理学会学術大会

## P1 脳波一般・脳電位分布

### P1-1 小児脳波検査時における薬物鎮静の睡眠賦活有効性と安全性について

○吉兼 綾美, 石原 尚子, 古川 源, 石丸聡一郎, 三宅 未紗, 河村 吉紀, 吉川 哲史  
藤田医科大学医学部小児科

### P1-2 うつ病患者の安静脳波における前頭部の機能的・因果的結合性指標と経頭蓋磁気刺激療法の治療効果との関連

○高野万由子<sup>1,2</sup>, 和田 真孝<sup>2</sup>, 李 雪梅<sup>2</sup>, 中西 智也<sup>2,3</sup>, 本多 栞<sup>2</sup>, 新井 脩泰<sup>2</sup>,  
三村 悠<sup>2</sup>, 宮崎 貴浩<sup>2</sup>, 中島振一郎<sup>2</sup>, 三村 将<sup>2</sup>, 野田 賀大<sup>2</sup>

<sup>1</sup>帝人ファーマ株式会社医療技術研究所, <sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室, <sup>3</sup>東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学研究室

### P1-3 脳波異常を呈した聴神経鞘腫に伴う水頭症の1例

○山岡美奈子<sup>1</sup>, 岩佐 直毅<sup>1</sup>, 中瀬 健太<sup>2</sup>, 眞野 智生<sup>1</sup>, 中瀬 裕之<sup>2</sup>, 杉江 和馬<sup>1</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学脳神経内科学, <sup>2</sup>奈良県立医科大学脳神経外科

### P1-4 発達障害特性をもつ就学前幼児における発作性脳波異常の検討

○伊予田邦昭<sup>1</sup>, 三谷 納<sup>2</sup>, 萩野 竜也<sup>1</sup>, 三宅 進<sup>3</sup>

<sup>1</sup>福山市こども発達支援センター, <sup>2</sup>福山市民病院小児科, <sup>3</sup>重症心身障害児者施設ときわ呉

### P1-5 進行性ミオクローヌスてんかんにおけるペランパネルの脳波への影響：後頭部優位律動の検討

○坂東 宏樹<sup>1</sup>, 戸島 麻耶<sup>2</sup>, 松橋 眞生<sup>3</sup>, 宇佐美清英<sup>3</sup>, 高橋 良輔<sup>2</sup>, 池田 昭夫<sup>3</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学部医学科, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

### P1-6 脳梗塞急性期の非けいれん性てんかん重積状態(NCSE)：脳波所見および臨床的特徴

○川上 治<sup>1</sup>, 古池 保雄<sup>2</sup>, 安藤 哲朗<sup>1</sup>, 杉浦 真<sup>1</sup>, 加藤 博子<sup>1</sup>, 伊藤 翔太<sup>1</sup>,  
吉村 崇志<sup>1</sup>, 大野 智彬<sup>1</sup>, 小原 一輝<sup>1</sup>, 福島 大喜<sup>1</sup>

<sup>1</sup>安城更生病院脳神経内科, <sup>2</sup>中部大学生命健康科学部

### P1-7 側頭葉由来のてんかん性放電の検出における頬電極の有用性に関する検討

○岡山 公宣, 森本 耕平, 的場 健人, 小牧 遼平, 末廣 大知, 原 敦, 十河 正弥,  
松本 理器

神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野

### P1-8 臨床脳波での光刺激に伴う低周波・超低周波活動の予備的検討

○出村 彩郁<sup>1,2</sup>, 木下真幸子<sup>3</sup>, 櫻井 健世<sup>1</sup>, 梶川 駿介<sup>2</sup>, 松橋 眞生<sup>4</sup>, 高橋 良輔<sup>2</sup>,  
池田 昭夫<sup>4</sup>

<sup>1</sup>医療法人道器さくらクリニック, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>3</sup>国立病院機構宇多野病院脳神経内科, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

### P1-9 過呼吸賦活が脳波検査中の睡眠深度に与える影響

○秋田 萌, 真崎 桂, 持田 智之, 山田はる香, 田島将太郎, 荻澤 恵美, 矢富 裕,  
代田悠一郎

東京大学医学部附属病院検査部

- P1-10 Bickerstaff型脳幹脳炎における上行性網様体賦活系の障害に伴う脳波変化**  
 ○吉村 元<sup>1</sup>, 十河 正弥<sup>2</sup>, 石井 淳子<sup>1</sup>, 比谷 里美<sup>1</sup>, 乾 涼磨<sup>1</sup>, 中澤 晋作<sup>1</sup>,  
 木村正夢嶺<sup>1</sup>, 黒田 健仁<sup>1</sup>, 角替麻里絵<sup>1</sup>, 石山 浩之<sup>1</sup>, 前川 嵩太<sup>1</sup>, 村上 泰隆<sup>1</sup>,  
 藤原 悟<sup>1</sup>, 尾原 信行<sup>1</sup>, 川本 未知<sup>1</sup>, 幸原 伸夫<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科, <sup>2</sup>神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野
- P1-11 新型コロナウイルス感染患者における脳波検査の実際**  
 ○真崎 桂<sup>1</sup>, 持田 智之<sup>1</sup>, 小口 絢子<sup>2</sup>, 山田はる香<sup>1</sup>, 田島将太郎<sup>1</sup>, 秋田 萌<sup>1</sup>,  
 荻澤 恵美<sup>1</sup>, 矢富 裕<sup>1</sup>, 代田悠一郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東大病院検査部, <sup>2</sup>東大病院脳神経内科
- P1-12 慢性シンナー中毒の若年男性に発症したてんかん発作：脳波所見の変化**  
 ○下園 孝治<sup>1</sup>, 加藤 志都<sup>2</sup>, 日野恵理子<sup>2</sup>, 毛利 祐子<sup>2</sup>, 松堂早矢加<sup>2</sup>, 西田 紬<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>健和会大手町病院内科, <sup>2</sup>健和会大手町病院生理検査室
- P1-13 脳波パワー値解析によるNMDA受容体脳炎と単純ヘルペス脳炎の鑑別指標の検討**  
 ○溝口 知孝, 原 誠, 田崎 健太, 大下 菜月, 名取 直俊, 廣瀬 聡, 横田 優樹,  
 秋本 高義, 二宮 智子, 石原 正樹, 森田 昭彦, 中嶋 秀人  
 日本大学医学部内科学系神経内科学分野
- P1-14 抗LGI-1抗体関連自己免疫性脳炎に伴うてんかん発作時及び発作間欠期脳波の検討**  
 ○松原崇一朗, 高松孝太郎, 中根 俊成, 中島 誠, 植田 光晴  
 熊本大学病院脳神経内科
- P1-15 F31.5双極性感情障害（躁うつ病），現在精神病症状を伴う重症うつ病エピソードにより3回Suicid企図の染色体異常46,X,psu idic(Y)(q12)症例**  
 ○石川文之進<sup>1</sup>, 鈴木 三夫<sup>1</sup>, 池田 啓子<sup>1</sup>, 村瀬 活郎<sup>1</sup>, 石川 叔郎<sup>1</sup>, 中村 正明<sup>1</sup>,  
 原田 元<sup>2</sup>, 深見 忠典<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>報徳会宇都宮病院, <sup>2</sup>脳波計量解析研究所, <sup>3</sup>山形大学
- P1-16 広域周波数帯域脳波 (wide-band EEG) 解析を用いた片頭痛における脳波所見の再検討**  
 ○細川 恭子<sup>1</sup>, 宇佐美清英<sup>2</sup>, 立岡 悠<sup>1</sup>, 本多 正幸<sup>3</sup>, 人見 健文<sup>3</sup>, 下竹 昭寛<sup>2</sup>,  
 松橋 眞生<sup>2</sup>, 團野 大介<sup>4</sup>, 竹島多賀夫<sup>4</sup>, 立岡 良久<sup>5</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科検査部, <sup>4</sup>社会医療法人寿会富永病院脳神経内科・頭痛センター, <sup>5</sup>医療法人立岡神経内科
- P1-17 時間周波数解析での後頭部優位律動の適切な抽出は心因性非てんかん性発作（PNES）診断に有用である**  
 ○石橋はるか<sup>1,2</sup>, 宇佐美清英<sup>3</sup>, 高橋 瑠莉<sup>1</sup>, 河村 祐貴<sup>1</sup>, 後藤 昌広<sup>1</sup>, 細川 恭子<sup>1</sup>,  
 音成秀一郎<sup>2</sup>, 下竹 昭寛<sup>1</sup>, 本多 正幸<sup>4</sup>, 人見 健文<sup>4</sup>, 松橋 眞生<sup>3</sup>, 丸山 博文<sup>2</sup>,  
 高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学, <sup>3</sup>京都大学医学部医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>4</sup>京都大学医学部医学研究科臨床病態検査学

**P1-18 もやもや病血流再建術後の過灌流神経症状と脳波変化との関連：超低域徐波の意義**

○林 梢<sup>1</sup>, 宇佐美清英<sup>2</sup>, 十河 正弥<sup>3</sup>, 山尾 幸広<sup>4</sup>, 下竹 昭寛<sup>1</sup>, 舟木 健史<sup>4</sup>,  
人見 健文<sup>5</sup>, 菊池 隆幸<sup>4</sup>, 松橋 眞生<sup>2</sup>, 吉田 和道<sup>4</sup>, 宮本 享<sup>4</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>,  
池田 昭夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学,  
<sup>3</sup>神戸大学大学院医学研究科脳神経内科分野, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科脳神経外科学, <sup>5</sup>京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学

**P1-19 硬膜下・深部電極を併用した慢性頭蓋内脳波記録の有効性と限界**

○高山裕太郎<sup>1</sup>, 池谷 直樹<sup>2</sup>, 飯島 圭哉<sup>1</sup>, 木村 唯子<sup>1</sup>, 横佐古 卓<sup>1</sup>, 小杉 健三<sup>1</sup>,  
金子 裕<sup>1</sup>, 岩崎 真樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科, <sup>2</sup>横浜市立大学脳神経外科

**P1-20 パーキンソン病に対する深部脳刺激療法後の脳波β位相-広域γ振幅カップリングの変化に関する検討**

○江口 克紀<sup>1</sup>, 矢部 一郎<sup>1</sup>, 白井 慎一<sup>1</sup>, 山崎 和義<sup>2</sup>, 濱内 祝嗣<sup>2</sup>, 松島 理明<sup>1</sup>,  
加納 崇裕<sup>3</sup>, 笹森 徹<sup>4</sup>, 関 俊隆<sup>2</sup>, 大槻 美佳<sup>5</sup>, 寶金 清博<sup>2</sup>, 佐々木秀直<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学神経内科, <sup>2</sup>北海道大学脳神経外科, <sup>3</sup>JA北海道厚生連帯広厚生病院神経内科, <sup>4</sup>札幌麻生脳神経外科病院脳神経外科, <sup>5</sup>北海道大学保健科学研究所

**P1-21 脳波を用いた機械学習による怒り情動検知システムの構築**

○田村 高基<sup>1</sup>, 山本 祐輔<sup>1</sup>, 村松 歩<sup>1</sup>, 長原 一<sup>1,2</sup>, 武村 紀子<sup>2</sup>, 中島 悠太<sup>2</sup>,  
水野 (松本) 由子<sup>1,3</sup>, 下條 真司<sup>3</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科応用情報科学専攻, <sup>2</sup>大阪大学データビリティフロンティア機構, <sup>3</sup>大阪大学サイバーメディアセンター

**P2 脳磁図****P2-1 迷走神経刺激術 (VNS) 前後の安静時脳磁図における脳結合性変化**

○片桐 匡弥<sup>1,2</sup>, 橋詰 顕<sup>1,2</sup>, 香川 幸太<sup>1,2</sup>, 瀬山 剛<sup>1,2</sup>, 岡村 朗健<sup>1,2</sup>, 飯田 幸治<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>広島大学病院脳神経外科, <sup>2</sup>広島大学病院てんかんセンター

**P2-2 てんかん外科治療適応の評価におけるMEGの意義の後方視的検討**

○岡田 直<sup>1</sup>, 戸島 麻耶<sup>1</sup>, 光野 優人<sup>2</sup>, 永井 靖識<sup>3</sup>, 下竹 昭寛<sup>1</sup>, 音成秀一郎<sup>4</sup>,  
宇佐美清英<sup>5</sup>, 松橋 眞生<sup>5</sup>, 山尾 幸広<sup>6</sup>, 菊池 隆幸<sup>6</sup>, 吉田 和道<sup>6</sup>, 松本 理器<sup>7</sup>,  
國枝 武治<sup>8</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 宮本 享<sup>6</sup>, 池田 昭夫<sup>5</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科脳神経外科学, <sup>3</sup>康生会武田病院脳神経外科, <sup>4</sup>広島大学病院脳神経内科, <sup>5</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学, <sup>6</sup>京都大学医学部脳神経外科, <sup>7</sup>神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野, <sup>8</sup>愛媛大学医学部脳神経外科

**P2-3 重症頭部外傷後遷延性意識障害例における自発脳磁図の帯域別観察**

○池亀 由香<sup>1</sup>, 澤田美佳里<sup>3</sup>, 浅野 好孝<sup>4</sup>, 大鷲 悦子<sup>1</sup>, 武井 啓晃<sup>1,4</sup>, 矢野 大仁<sup>1,2</sup>,  
篠田 淳<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>木沢記念病院・中部療護センター脳神経外科, <sup>2</sup>岐阜大学大学院医学系研究科脳病態解析学分野, <sup>3</sup>木沢記念病院検査技術部, <sup>4</sup>木沢記念病院脳神経外科

- P2-4 深層学習を用いたキャプチャーモーションによる皮質一指運動コヒーレンス解析**  
 ○前澤 仁志<sup>1</sup>, 藤本 桃花<sup>2</sup>, 畑 豊<sup>2</sup>, 松橋 眞生<sup>3</sup>, 橋本 洋章<sup>1,4</sup>, 鈴木 隆文<sup>5</sup>, 平田 雅之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学医学系研究科脳機能診断再建学共同研究講座, <sup>2</sup>兵庫県立大学シミュレーション学研究所, <sup>3</sup>京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>4</sup>大手前病院脳神経外科, <sup>5</sup>情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター脳情報通信融合研究室
- P2-5 運動学習能力に関連する安静時脳機能結合の抽出**  
 ○菅田 陽怜<sup>1</sup>, 八木 和広<sup>2</sup>, 矢澤 省吾<sup>2</sup>, 長瀬 泰範<sup>2</sup>, 鶴田 和仁<sup>2</sup>, 池田 尊司<sup>3</sup>, 原 正之<sup>4</sup>, 松下光次郎<sup>5</sup>, 野嵜 一平<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>大分大学福祉健康科学部理学療法コース, <sup>2</sup>潤和会記念病院, <sup>3</sup>金沢大学子どものこころの発達研究センター, <sup>4</sup>埼玉大学理工学研究科, <sup>5</sup>岐阜大学工学部機械工学科, <sup>6</sup>信州大学医学部保健学科
- P2-6 健常者における安静時脳磁図ネットワークの加齢性変化**  
 ○加藤 隼康<sup>1,2</sup>, 渡辺 宏久<sup>3,5</sup>, 大嶽れい子<sup>3</sup>, 小倉 礼<sup>2</sup>, 川畑 和也<sup>2</sup>, 榊田 道人<sup>2</sup>, 原 一洋<sup>2</sup>, 寶珠山 稔<sup>4</sup>, 勝野 雅央<sup>2</sup>, 祖父江 元<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup>名古屋医療センター脳神経内科, <sup>2</sup>名古屋大学神経内科, <sup>3</sup>名古屋大学脳とこころの研究センター, <sup>4</sup>名古屋大学医学系研究科, <sup>5</sup>藤田医科大学脳神経内科
- P2-7 脳磁図を用いた脳の図形記憶処理と漢字記憶処理の比較検討**  
 ○深沢 敬亮<sup>1</sup>, 市川小百合<sup>1</sup>, 保子 英之<sup>2</sup>, 嶋原 良仁<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>社会医療法人熊谷総合病院医療技術部臨床検査科, <sup>2</sup>北斗病院精密医療センター, <sup>3</sup>熊谷総合病院MEGセンター
- P2-8 音源の移動方向が誘発脳磁場活動に与える影響：両耳間時間差を用いた検討**  
 ○河野 修大<sup>1</sup>, 元村 英史<sup>1</sup>, 乾 幸二<sup>2</sup>, 岡田 元宏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野, <sup>2</sup>愛知県医療療育総合センター発達障害研究所障害システム研究部門
- P2-9 磁気抵抗効果素子 (MR) を用いた体性感覚誘発脳磁場 (SEF) 測定**  
 ○辰岡 鉄郎<sup>1,2</sup>, 川端 茂徳<sup>2,3</sup>, 橋本 淳<sup>3</sup>, 星野 優子<sup>2</sup>, 関原 謙介<sup>2</sup>, 澁谷 朝彦<sup>1,2</sup>, 足立 善昭<sup>4</sup>, 大川 淳<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>TDK株式会社, <sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座, <sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院整形外科学分野, <sup>4</sup>金沢工業大学先端電子技術応用研究所

### P3 脳機能画像 (fMRI・NIRS等)

- P3-1 頭部外傷に続発したてんかん発作におけるarterial spin labelingの有用性**  
 ○大友 智<sup>1</sup>, 大坪 宏<sup>2</sup>, 荒井 啓晶<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>みやぎ県南中核病院脳神経外科, <sup>2</sup>トロント小児病院臨床神経生理部門
- P3-2 受動的聴覚課題を用いた機能的MRIによる言語優位半球同定手法の検討**  
 ○岡原 陽二, 和泉 允基, 青柳 京子, 永野 修, 峯 清一郎  
 千葉県循環器病センター脳神経外科

**P3-3 人工的な身体錯覚の転移誘発による脳律動の変化**○近藤 美咲<sup>1</sup>, 原 正之<sup>2</sup>, 安部 レオ<sup>3</sup>, 宮崎 悠介<sup>3</sup>, 菅田 陽怜<sup>3</sup><sup>1</sup>大分大学大学院福祉健康科学研究科健康医科学コース, <sup>2</sup>埼玉大学理工学研究科, <sup>3</sup>大分大学福祉健康科学部理学療法コース**P3-4 難易度の異なる二重課題における運動準備電位と注意機能の関連**○平野 大輔<sup>1,2</sup>, 陣内 大輔<sup>1,2</sup>, 野澤 羽奈<sup>1,2</sup>, 後藤 純信<sup>1,3,4</sup>, 谷口 敬道<sup>1,2</sup><sup>1</sup>国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科, <sup>2</sup>国際医療福祉大学保健医療学部作業療法学科, <sup>3</sup>国際医療福祉大学医学部医学科, <sup>4</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科**P3-5 健常者の脳灰白質容積の変動性について**○渡邊 拓<sup>1</sup>, 小島 翔<sup>2,3</sup>, 長坂 和明<sup>2,3</sup>, 大野 健<sup>4</sup>, 櫻井 典子<sup>4</sup>, 児玉 直樹<sup>2,4</sup>, 大鶴 直史<sup>2,3</sup>, 大西 秀明<sup>2,3</sup><sup>1</sup>新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科, <sup>2</sup>新潟医療福祉大学運動機能医科学研究所, <sup>3</sup>新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科, <sup>4</sup>新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線学科**P3-6 脳イメージからの脳領域自動抽出法**○山本 朱音<sup>1</sup>, 島田 尊正<sup>2</sup><sup>1</sup>東京電機大学情報環境学研究科情報環境学専攻, <sup>2</sup>東京電機大学システムデザイン工学部デザイン工学科**P4 視覚誘発電位・視覚誘発磁界****P4-1 視覚用ヘッドセット型脳波計の開発と個人の空間周波数特性の計測**○鈴木 雅也<sup>1</sup>, 小崎 瑞貴<sup>1</sup>, 水野 嶺<sup>1</sup>, 熊谷 直也<sup>1</sup>, 乾 幸二<sup>2</sup>, 柿木 隆介<sup>3</sup><sup>1</sup>東海光学株式会社, <sup>2</sup>愛知県医療療育総合センター発達障害研究所, <sup>3</sup>生理学研究所**P4-2 画像診断前に視覚誘発電位にて異常を確認しえた抗MOG抗体関連疾患の18歳男性例**○伊佐早健司<sup>1</sup>, 鹿島 悟<sup>1</sup>, 柳澤 俊之<sup>1</sup>, 金子 仁彦<sup>2,4</sup>, 高橋 利幸<sup>3,4</sup>, 長谷川泰弘<sup>1</sup>, 山野 嘉久<sup>1</sup><sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学内科学脳神経内科, <sup>2</sup>石巻赤十字病院神経内科, <sup>3</sup>国立病院機構米沢病院神経内科, <sup>4</sup>東北大学神経内科**P4-3 奥行運動刺激時の視覚誘発電位に対する特徴解析システム**○成枝 朱香<sup>1</sup>, 後藤 和彦<sup>2</sup>, 杉 剛直<sup>1</sup>, 松田 吉隆<sup>1</sup>, 後藤 聡<sup>1</sup>, 池田 拓郎<sup>3</sup>, 山崎 貴男<sup>4</sup>, 飛松 省三<sup>5</sup>, 後藤 純信<sup>6</sup><sup>1</sup>佐賀大学大学院先進健康科学研究科, <sup>2</sup>佐賀大学理工学部, <sup>3</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部, <sup>4</sup>九州大学大学院医学研究院, <sup>5</sup>福岡国際医療福祉大学医療学部, <sup>6</sup>国際医療福祉大学医学部生理学講座**P4-4 視覚誘発電位(VEP)と聴性脳幹反応(ABR)のパラメーターに影響を与える身体・体型因子の検討**○鶴野いずみ<sup>1</sup>, 中田 晶子<sup>1</sup>, 中出 祐介<sup>1</sup>, 宮嶋 良康<sup>1</sup>, 寺上 貴子<sup>1</sup>, 大江 宏康<sup>1</sup>, 森 三佳<sup>1</sup>, 林 研至<sup>1</sup>, 酒井 佳夫<sup>1</sup>, 岩佐 和夫<sup>2</sup>, 蒲田 敏文<sup>1</sup><sup>1</sup>金沢大学附属病院検査部, <sup>2</sup>金沢大学附属病院脳神経内科



**P4-5 視差勾配の違いが自己運動知覚に与える影響：視覚誘発電位による検討**

○後藤 和彦<sup>1</sup>, 杉 剛直<sup>2</sup>, 池田 拓郎<sup>3</sup>, 山崎 貴男<sup>4</sup>, 飛松 省三<sup>5</sup>, 後藤 純信<sup>6</sup>

<sup>1</sup>佐賀大学理工学部, <sup>2</sup>佐賀大学大学院先進健康科学研究科, <sup>3</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部, <sup>4</sup>九州大学大学院医学研究院, <sup>5</sup>福岡国際医療福祉大学医療学部, <sup>6</sup>国際医療福祉大学医学部生理学講座

**P5 体性感覚誘発電位・体性感覚誘発磁界**

**P5-1 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(BAFME)のバイオマーカーの探索：巨大体性感覚誘発電位(SEP)の高周波振動(HFO)の多数例解析**

○戸島 麻耶<sup>1</sup>, 人見 健文<sup>2</sup>, 大井 和起<sup>1</sup>, 小林 勝哉<sup>1</sup>, 宇佐美清英<sup>3</sup>, 下竹 昭寛<sup>1</sup>, 松橋 眞生<sup>3</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>3</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学, <sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学

**P5-2 巨大SEPおよびC反射の意義：筋力低下を呈する焦点てんかんにおける検討**

○高田こずえ<sup>1</sup>, 谷口 美奈<sup>2</sup>, 奥村安裕美<sup>2</sup>, 出村 彩郁<sup>3,4</sup>, 木下真幸子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構宇多野病院脳神経内科, <sup>2</sup>国立病院機構宇多野病院臨床検査科, <sup>3</sup>医療法人道器さくらいクリニック, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学

**P5-3 筋萎縮性側索硬化症における脛骨神経刺激体性感覚誘発電位と生命予後との関連**

○清水 俊夫<sup>1</sup>, 木田 耕太<sup>1</sup>, 木村 英紀<sup>1</sup>, 川添 僚也<sup>1</sup>, 森島 亮<sup>1</sup>, 法岡 遼平<sup>1</sup>, 中山 優季<sup>2</sup>, 高橋 一司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京都立神経病院脳神経内科, <sup>2</sup>東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット

**P5-4 トニック、バーストDR、ハイドーズ脊髄刺激によるSEP干渉効果の比較**

○浦崎永一郎<sup>1</sup>, 宮城 靖<sup>1</sup>, 江崎 康隆<sup>2</sup>, 村松 祥伍<sup>2</sup>

<sup>1</sup>福岡みらい病院脳神経外科, <sup>2</sup>福岡みらい病院ME部門

**P5-5 脊磁図による尺骨神経および正中神経刺激後の頸部椎間孔への電流流入分布の比較**

○宮野 由貴<sup>1</sup>, 赤座 実穂<sup>2</sup>, 関原 謙介<sup>3</sup>, 星野 優子<sup>3</sup>, 佐々木 亨<sup>4</sup>, 渡部 泰士<sup>1,4</sup>, 金 碩燦<sup>1</sup>, 佐藤 慎司<sup>1</sup>, 三谷 悠貴<sup>1</sup>, 足立 善昭<sup>5</sup>, 大川 淳<sup>4</sup>, 川端 茂徳<sup>3</sup>

<sup>1</sup>株式会社リコー HC事業本部メディカルイメージング事業センター, <sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院呼吸器神経系解析学分野, <sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座, <sup>4</sup>東京医科歯科大学大学院整形外科学分野, <sup>5</sup>金沢工業大学先端電子技術応用研究所

**P5-6 筋萎縮性側索硬化症における痛覚関連誘発脳電位と注意機能障害との検討**

○原田祐三子, 中村 友彦, 上田 雅道, 鈴木 将史, 勝野 雅央  
名古屋大学医学部脳神経内科

**P5-7 巨大体性感覚誘発電位(SEP)に続いて繰り返す広周波数帯域の事象関連同期(ERS)：cortical tremorとの関連**

○山中 治郎<sup>1</sup>, 戸島 麻耶<sup>1</sup>, 人見 健文<sup>2</sup>, 松橋 眞生<sup>3</sup>, 大井 和起<sup>1</sup>, 武山 博文<sup>4</sup>, 宇佐美清英<sup>3</sup>, 下竹 昭寛<sup>3</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>3</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学医学研究科臨床病態検査学, <sup>3</sup>京都大学医学研究科てんかん・運動異常生理学, <sup>4</sup>京都大学医学研究科呼吸管理睡眠制御学

**P5-8 神経磁界計測による肘部管周辺の神経活動の評価**

○渡部 泰士<sup>1</sup>, 星野 優子<sup>2</sup>, 川端 茂徳<sup>2</sup>, 関原 謙介<sup>2</sup>, 佐々木 亨<sup>3</sup>, 橋本 淳<sup>3</sup>,  
宮野 由貴<sup>1</sup>, 佐藤 慎司<sup>1</sup>, 三谷 悠貴<sup>1</sup>, 金 碩燦<sup>1</sup>, 足立 善昭<sup>4</sup>, 大川 淳<sup>3</sup>

<sup>1</sup>株式会社リコー HC 事業本部, <sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座, <sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院整形外科学分野, <sup>4</sup>金沢工業大学先端電子技術応用研究所

**P5-9 神経磁界計測と神経超音波による腓腹神経活動の評価**

○三谷 悠貴<sup>1</sup>, 赤座 実穂<sup>2</sup>, 川端 茂徳<sup>3</sup>, 星野 優子<sup>3</sup>, 佐々木 亨<sup>4</sup>, 橋本 淳<sup>4</sup>,  
渡部 泰士<sup>1</sup>, 宮野 由貴<sup>1</sup>, 佐藤 慎司<sup>1</sup>, 金 碩燦<sup>1</sup>, 高橋陽一郎<sup>1</sup>, 足立 善昭<sup>5</sup>,  
関原 謙介<sup>3</sup>, 大川 淳<sup>4</sup>

<sup>1</sup>株式会社リコー HC 事業本部, <sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院呼吸器・神経系解析学分野, <sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座, <sup>4</sup>東京医科歯科大学大学院整形外科学分野, <sup>5</sup>金沢工業大学先端電子技術応用研究所

**P6 事象関連電位****P6-1 取り下げ****P6-2 生物・非生物の視覚刺激は脳後方で異なる神経活動伝播をもたらす**

○宇佐美清英<sup>1</sup>, 松本 理器<sup>2</sup>, コルゼニースカ アンナ<sup>3</sup>, 下竹 昭寛<sup>4</sup>, 中江 卓郎<sup>5</sup>,  
松橋 眞生<sup>1</sup>, 菊池 隆幸<sup>6</sup>, 吉田 和道<sup>6</sup>, 國枝 武治<sup>7</sup>, 高橋 良輔<sup>4</sup>, クローン ネーサン<sup>3</sup>,  
ランボンラルフ マシュー<sup>8</sup>, 池田 昭夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>2</sup>神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科分野, <sup>3</sup>Department of Neurology, Johns Hopkins University of Medicine, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>5</sup>滋賀県立総合病院脳神経外科, <sup>6</sup>京都大学大学院医学研究科脳神経外科学, <sup>7</sup>愛媛大学大学院医学研究科脳神経外科学, <sup>8</sup>MRC Cognition and Brain Sciences Unit, University of Cambridge

**P6-3 MMNによる軽度認知機能障害とパーキンソン病の比較**

○羽金 裕也<sup>1</sup>, 志賀 哲也<sup>1</sup>, 後藤 大介<sup>1</sup>, 戸田 亘<sup>1</sup>, 三浦 至<sup>1</sup>, 阿部 十也<sup>2</sup>,  
金井 数明<sup>3</sup>, 伊藤 浩<sup>4</sup>, 矢部 博興<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター, <sup>3</sup>福島県立医科大学医学部脳神経内科学講座, <sup>4</sup>福島県立医科大学医学部放射線医学講座

**P6-4 中前頭theta律動と後頭gamma律動は視覚運動制御に関連する**

○渡邊 龍憲, 松本 卓也, 陳 瀟瀟, 柚木 啓輔, 久保 南実, 桑原 貴之, 桐本 光  
広島大学大学院医系科学研究科感覚運動神経科学

**P6-5 神経性やせ症における体重回復前後でのミスマッチ陰性電位と認知機能の変化についての中間報告**

○和田 知紘<sup>1</sup>, 板垣俊太郎<sup>1,2</sup>, 星野 大<sup>1</sup>, 刑部 有祐<sup>1</sup>, 菅野 和子<sup>1</sup>, 錫谷 研<sup>1</sup>,  
佐藤 彩<sup>1</sup>, 大西 真央<sup>1</sup>, 高橋 雄一<sup>1</sup>, 上田 由桂<sup>1</sup>, 松本 貴智<sup>1</sup>, 森 湧平<sup>1</sup>,  
野崎 途也<sup>1</sup>, 疋田 雅之<sup>1</sup>, 志賀 哲也<sup>1</sup>, 三浦 至<sup>1</sup>, 松岡 貴志<sup>1</sup>, 矢部 博興<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座, <sup>2</sup>福島県立医科大学大学健康管理センター

- P6-6 統合失調症および精神病発症リスク状態の認知機能に及ぼす Omega-3 不飽和脂肪酸の効果**  
 ○樋口 悠子<sup>1,2,4</sup>, 住吉 太幹<sup>4</sup>, 立野 貴大<sup>1,2</sup>, 中島 英<sup>1,2</sup>, 水上 祐子<sup>1</sup>, 西山志満子<sup>3</sup>,  
 伊藤 博子<sup>1</sup>, 笹林 大樹<sup>1,2</sup>, 高橋 努<sup>1,2</sup>, 鈴木 道雄<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座, <sup>2</sup>富山大学アイドリング脳科学研究センター, <sup>3</sup>富山大学学術研究部教育系保健管理センター, <sup>4</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部
- P6-7 持続長ミスマッチ陰性電位の統合失調症発症前後における縦断的变化**  
 ○立野 貴大<sup>1,2</sup>, 樋口 悠子<sup>1,2,3</sup>, 中島 英<sup>1,2</sup>, 笹林 大樹<sup>1,2</sup>, 中村美保子<sup>1,2</sup>, 上野 摩耶<sup>1,2</sup>,  
 水上 祐子<sup>1</sup>, 西山志満子<sup>1,4</sup>, 高橋 努<sup>1,2</sup>, 住吉 太幹<sup>3</sup>, 鈴木 道雄<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座, <sup>2</sup>富山大学アイドリング脳科学研究センター, <sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部, <sup>4</sup>富山大学学術研究部教育研究推進系保健管理センター
- P6-8 精神病発症リスク状態における事象関連電位の縦断変化と臨床経過との関連**  
 ○中島 英<sup>1,2</sup>, 樋口 悠子<sup>1,2</sup>, 立野 貴大<sup>1,2</sup>, 笹林 大樹<sup>1,2</sup>, 中村美保子<sup>1,2</sup>, 上野 摩耶<sup>1,2</sup>,  
 水上 祐子<sup>1</sup>, 西山志満子<sup>1,3</sup>, 高橋 努<sup>1,2</sup>, 住吉 太幹<sup>4</sup>, 鈴木 道雄<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座, <sup>2</sup>富山大学アイドリング脳科学研究センター, <sup>3</sup>富山大学学術研究部教育研究推進系保健管理センター, <sup>4</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部
- P6-9 クリック音間隔の規則性に依存する変化関連皮質応答**  
 ○西原 真理<sup>1</sup>, 藤田 貢平<sup>2</sup>, 竹内 伸行<sup>3</sup>, 藤田 雄輝<sup>4</sup>, 神谷 妙子<sup>4</sup>, 元村 英史<sup>5</sup>,  
 杉山 俊介<sup>6</sup>, 乾 幸二<sup>7</sup>, 牛田 享宏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>愛知医科大学医学部学際的痛みセンター, <sup>2</sup>愛知医科大学医学部精神科学講座, <sup>3</sup>岡崎市民病院心療精神科, <sup>4</sup>愛知医科大学病院中央臨床検査部, <sup>5</sup>三重大学医学部附属病院精神科神経科, <sup>6</sup>岐阜大学医学部附属病院精神神経科, <sup>7</sup>愛知県医療療育総合センター発達障害研究所障害システム研究部門
- P6-10 自己の手への参照処理過程に関連する頭頂部ガンマ帯域活動の検討**  
 ○上田 将也<sup>1,2</sup>, 石井 良平<sup>1</sup>, 畑 真弘<sup>3</sup>, 上野 慶太<sup>1</sup>, 内藤 泰男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所, <sup>2</sup>京都大学医学部附属病院リハビリテーション部, <sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学
- P6-11 長時間測定を実施した成人期発達障害のミスマッチ陰性電位の中間報告**  
 ○佐藤 彩<sup>1</sup>, 板垣俊太郎<sup>1</sup>, 大西 隆<sup>2</sup>, 刑部 有祐<sup>1</sup>, 星野 大<sup>1</sup>, 菅野 和子<sup>1</sup>,  
 志賀 哲也<sup>1</sup>, 錫谷 研<sup>1</sup>, 高橋 雄一<sup>1</sup>, 森 湧平<sup>1</sup>, 和田 知紘<sup>1</sup>, 伊藤 典知<sup>1</sup>,  
 大西 真央<sup>1</sup>, 野崎 途也<sup>1</sup>, 疋田 雅之<sup>1</sup>, 三浦 至<sup>1</sup>, 松岡 貴志<sup>1</sup>, 矢部 博興<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学神経精神医学講座, <sup>2</sup>ヤンセンファーマメディカルアフケアーズ
- P6-12 取り下げ**
- P6-13 筋強直性ジストロフィーにおける視覚新奇刺激を用いた事象関連電位の検討**  
 ○諏訪園秀吾<sup>1</sup>, 荒生 弘史<sup>2</sup>, 上田 幸彦<sup>3</sup>, 前堂 志乃<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構沖縄病院脳・神経・筋疾患研究センター, <sup>2</sup>大正大学心理社会学部人間科学科, <sup>3</sup>沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科

- P6-14 ヒトの音源定位における低周波数優位は中潜時反応Na波の水準で成立する**  
 ○池田 一成  
 東京学芸大学教育学部
- P6-15 欠落ミスマッチ陰性電位に反映されるような音脈分凝発生の周波数差について**  
 ○錫谷 研<sup>1</sup>, 星野 大<sup>1</sup>, 刑部 有祐<sup>1</sup>, 志賀 哲也<sup>1,2</sup>, 菅野 和子<sup>1</sup>, 大西 真央<sup>1</sup>,  
 高橋 雄一<sup>1,3</sup>, 佐藤 彩<sup>1</sup>, 森 湧平<sup>1</sup>, 和田 知紘<sup>1</sup>, 上田 由桂<sup>1</sup>, 松本 貴智<sup>1</sup>,  
 野崎 途也<sup>1</sup>, 疋田 雅之<sup>1</sup>, 板垣俊太郎<sup>1,4</sup>, 三浦 至<sup>1</sup>, 松岡 貴志<sup>1</sup>, 矢部 博興<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座, <sup>2</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座,  
<sup>3</sup>福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター, <sup>4</sup>福島県立医科大学大学健康管理セン  
 ター
- P6-16 統合失調症患者における言語音連続刺激の欠落部がミスマッチ陰性電位に与える影響**  
 ○森 湧平, 星野 大, 刑部 有祐, 佐藤 彩, 錫谷 研, 高橋 雄一, 和田 知紘,  
 上田 由桂, 松本 貴智, 野崎 途也, 菅野 和子, 疋田 雅之, 志賀 哲也, 板垣俊太郎,  
 松岡 貴志, 三浦 至, 矢部 博興  
 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
- P6-17 夜勤業務後の持続長ミスマッチ陰性電位と眠気の検討**  
 ○菅野 和子<sup>1</sup>, 星野 大<sup>1</sup>, 刑部 有祐<sup>1</sup>, 大西 真央<sup>1</sup>, 高橋 雄一<sup>1,2</sup>, 佐藤 彩<sup>1</sup>,  
 錫谷 研<sup>1</sup>, 森 湧平<sup>1</sup>, 和田 知紘<sup>1</sup>, 上田 由桂<sup>1</sup>, 松本 貴智<sup>1,3</sup>, 野崎 途也<sup>1</sup>,  
 志賀 哲也<sup>1,4</sup>, 疋田 雅之<sup>1</sup>, 板垣俊太郎<sup>1,3</sup>, 三浦 至<sup>1</sup>, 松岡 貴志<sup>1</sup>, 矢部 博興<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座, <sup>2</sup>福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセ  
 ンター, <sup>3</sup>福島県立医科大学大学健康管理センター, <sup>4</sup>福島県立医科大学会津医療センター精神医  
 学講座
- P6-18 周波数変化の時間的位置はミスマッチ陰性電位の発生に影響を与えるか**  
 ○星野 大, 錫谷 研, 刑部 有祐, 志賀 哲也, 菅野 和子, 野崎 途也, 疋田 雅之,  
 松本 貴智, 上田 由桂, 和田 知紘, 森 湧平, 高橋 雄一, 大西 真央, 佐藤 彩,  
 板垣俊太郎, 三浦 至, 松岡 貴志, 矢部 博興  
 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
- P6-19 聴覚変化関連脳活動とそのプレパルス抑制についての電極間比較**  
 ○渡邊 孝康<sup>1</sup>, 元村 英史<sup>2</sup>, 河野 修大<sup>2</sup>, 藤井 忍<sup>1</sup>, 白本 裕平<sup>1</sup>, 樋口 恵一<sup>1</sup>,  
 森本 誠<sup>1</sup>, 乾 幸二<sup>3</sup>, 岡田 元宏<sup>2</sup>, 中谷 中<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>三重大学医学部附属病院中央検査部, <sup>2</sup>三重大学大学院医学系研究科精神神経科学分野, <sup>3</sup>愛知県  
 心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部
- P6-20 ミスマッチ陰性電位を誘発する持続長変化音は、先行する中間潜時反応に影響を与えるか？**  
 ○刑部 有祐, 星野 大, 菅野 和子, 志賀 哲也, 佐藤 彩, 錫谷 研, 高橋 雄一,  
 大西 真央, 森 湧平, 和田 知紘, 伊藤 典和, 野崎 途也, 疋田 雅之, 板垣俊太郎,  
 三浦 至, 松岡 貴志, 矢部 博興  
 福島県立医科大学神経精神医学講座

**P6-21 統合失調症患者におけるリズム感とミスマッチ陰性電位 (mismatch negativity) の関係性の検討**

○高橋 雄一<sup>1,2</sup>, 星野 大<sup>1</sup>, 刑部 有祐<sup>1</sup>, 吉田 久美<sup>3</sup>, 松本 貴智<sup>1</sup>, 青田 美穂<sup>4</sup>, 今野 嶺<sup>5</sup>, 藤井 進也<sup>6</sup>, 青木俊太郎<sup>1,7</sup>, 菅野 和子<sup>1</sup>, 各務 竹康<sup>9</sup>, 森 湧平<sup>1</sup>, 和田 知紘<sup>1</sup>, 志賀 哲也<sup>1</sup>, 疋田 雅之<sup>1</sup>, 板垣俊太郎<sup>1,7</sup>, 大井 直往<sup>2,8</sup>, 福島 哲仁<sup>9</sup>, 三浦 至<sup>1</sup>, 矢部 博興<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座, <sup>2</sup>福島県立医科大学附属病院リハビリテーションセンター, <sup>3</sup>学校法人こおりやま東都学園郡山健康科学専門学校, <sup>4</sup>福島県立医科大学附属病院看護部, <sup>5</sup>慶應義塾大学院政策・メディア研究科, <sup>6</sup>慶應義塾大学環境情報学部, <sup>7</sup>福島県立医科大学大学健康管理センター, <sup>8</sup>福島県立医科大学リハビリテーション医学講座, <sup>9</sup>福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

**P7 筋電図 (針・SFEMG・表面)**

**P7-1 多チャンネル表面筋電図法を用いた運動単位発火パターン解析による Charcot-Marie-Tooth病におけるバイオマーカー探索の試み**

○能登 祐一<sup>1</sup>, 渡邊 航平<sup>2</sup>, Ales Holobar<sup>3</sup>, 北大路隆正<sup>1</sup>, 水野 敏樹<sup>2</sup>, 中川 正法<sup>4</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学, <sup>2</sup>中京大学教養教育研究院, <sup>3</sup>Faculty of Electrical Engineering and Computer Science, University of Maribor, <sup>4</sup>京都府立医科大学北部医療センター

**P7-2 PD-1 myopathyにおける針筋電図所見の検討**

○向井 泰司<sup>1</sup>, 恩田亜沙子<sup>1</sup>, 宮川 晋治<sup>1</sup>, 作田 健一<sup>1</sup>, 千葉 隆司<sup>2</sup>, 大石知瑞子<sup>2</sup>, 西野 一三<sup>3</sup>, 鈴木 重明<sup>4</sup>, 谷口 洋<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学附属柏病院脳神経内科, <sup>2</sup>帝京大学医学部附属病院脳神経内科, <sup>3</sup>国立精神神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部, <sup>4</sup>慶應義塾大学病院神経内科

**P7-3 表面筋電図による筋力の定量的評価の試み**

○片山 雅史<sup>1</sup>, 高野 吉朗<sup>2</sup>

<sup>1</sup>純真学園大学, <sup>2</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部

**P7-4 周期的な聴覚刺激における刺激回数の増加が筋電図反応時間に及ぼす影響-手関節背屈に着目して-**

○伊森 理貴<sup>1,2</sup>, 藤原 聡<sup>1,3</sup>, 嘉戸 直樹<sup>3</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北須磨病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>3</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科

**P7-5 Low-pass filter と歩行周期の採用数は非負値行列因子分解による歩行時筋シナジーの抽出に影響を与える**

○中條 雄太<sup>1</sup>, 森 公彦<sup>1</sup>, 北脇 知己<sup>2</sup>, 長谷 公隆<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学附属病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医科大学医学部数学教室, <sup>3</sup>関西医科大学医学部リハビリテーション医学講座

**P7-6 首下がりを呈したパーキンソン病の病態把握に表面筋電図が有用であった2症例**

○藤井 裕樹, 竹中 萌, 久保 智司, 北村 健

中国労災病院脳神経内科

**P7-7 異なる動作課題間における予測性姿勢調節機能の関係性**

○石田 晴輝, 渡邊 龍憲, 桑原 貴之, 久保 南実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟,  
伊藤佳奈美, 桐本 光

広島大学大学院医系科学研究科感覚運動神経科学教室

**P7-8 表面筋電図で脳深部刺激療法前後の筋活動の変化を捉えた体幹が背屈する局所性ジストニア (extensor truncal dystonia) の1例**

○中屋 亮彦<sup>1</sup>, 金子 仁彦<sup>1</sup>, 松本 有史<sup>1</sup>, 永松 謙一<sup>2</sup>, 久永 欣哉<sup>1</sup>, 永野 功<sup>1</sup>

<sup>1</sup>宮城病院脳神経内科, <sup>2</sup>宮城病院脳神経外科

**P8 神経伝導検査・誘発筋電図****P8-1 手根管症候群の新しい重症度分類の提唱**

○宮地 洋輔<sup>1,2</sup>, 大石知瑞子<sup>2,3</sup>, 田中 章景<sup>1</sup>, 園生 雅弘<sup>2</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学医学部脳神経内科・脳卒中科, <sup>2</sup>帝京大学医学部脳神経内科・神経筋電気診断センター, <sup>3</sup>杏林大学医学部神経内科

**P8-2 注射針により正中・内側前腕皮神経損傷をきたした1例 (神経伝導検査と神経エコー所見を中心に)**

○高橋 修<sup>1</sup>, 榊原 隆次<sup>2</sup>, 清水 彩未<sup>1</sup>, 瀧口 真央<sup>1</sup>, 西村 春香<sup>1</sup>, 丹治 直映<sup>1</sup>,

守永 幸大<sup>1</sup>, 金 徳男<sup>1</sup>, 田端 強志<sup>1</sup>, 清水 一寛<sup>1</sup>, 高田 伸夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東邦大学医療センター佐倉病院臨床生理機能検査部, <sup>2</sup>東邦大学医療センター佐倉病院脳神経内科

**P8-3 尺骨神経の運動神経伝導検査における超音波検査装置を用いた記録電極の位置決定の検討**

○伊藤 亜子, 林 智剛, 中森 恵, 細野裕未奈, 石田真理子, 篠田 貢一, 野久 謙,  
渡邊 崇量, 大倉 宏之

岐阜大学医学部附属病院検査部

**P8-4 機能性神経疾患における感覚神経活動電位振幅の関係性**

○森本 耕平, 関口 兼司, 末廣 大知, 渡部 俊介, 野田 佳克, 松本 理器

神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野

**P8-5 筋萎縮性側索硬化症における体性感覚誘発電位高周波成分の増高は生命予後を予測するか**

○法岡 遼平, 清水 俊夫, 森島 亮, 川添 僚也, 木田 耕太, 木村 英紀, 高橋 一司

東京都立神経病院脳神経内科

**P8-6 肘部尺骨神経ニューロパチーの神経伝導検査所見**

○長谷川 修<sup>1</sup>, 奈良 典子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学市民総合医療センター, <sup>2</sup>横浜市立脳卒中・神経脊椎センター神経内科

**P8-7 特発性前骨間神経麻痺に対する神経伝導検査の有用性**

○信田 進吾

東北労災病院整形外科

- P8-8 横隔神経伝導検査にて経過を追えた Shrinking lung syndrome を伴う全身性エリテマトーデスの一例**  
○岡崎 愛志<sup>1</sup>, 手嶋 佑衣<sup>1</sup>, 田中恵美子<sup>1</sup>, 久保田芽里<sup>1</sup>, 大坂 直文<sup>1</sup>  
大阪医科大学附属病院中央検査部
- P8-9 正中神経正常値の検討**  
○崎山 千尋<sup>1</sup>, 幸原 伸夫<sup>2</sup>, 松下 隆史<sup>1</sup>, 中村真実子<sup>1</sup>, 浜田 一美<sup>1</sup>, 佐々木一朗<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部, <sup>2</sup>地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科
- P8-10 FAPにおいて低域遮断フィルター設定が尺骨神経遠位部刺激CMAPの持続時間に与える影響**  
○小平 農<sup>1</sup>, 星野 優美<sup>1</sup>, 大橋 信彦<sup>1</sup>, 森田 洋<sup>2</sup>, 関島 良樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>信州大学医学部脳神経内科, リウマチ・膠原病内科, <sup>2</sup>信州大学総合健康安全センター
- P8-11 MCV、SCV、CMAP振幅の加齢変化と男女差**  
○松下 隆史<sup>1</sup>, 幸原 伸夫<sup>2</sup>, 崎山 千尋<sup>1</sup>, 中村真実子<sup>1</sup>, 浜田 一美<sup>1</sup>, 佐々木一朗<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部, <sup>2</sup>地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科
- P8-12 健常者における腓骨神経F波の検討**  
○前田 美穂<sup>1</sup>, 山下 美穂<sup>1</sup>, 水川 周子<sup>1</sup>, 長田 祥弥<sup>1</sup>, 成田さくら<sup>1</sup>, 藤 香<sup>1</sup>,  
野口 秀樹<sup>1</sup>, 高井 隆吉<sup>1</sup>, 森 仁<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>倉敷中央病院臨床検査技術部脳神経生理検査室, <sup>2</sup>倉敷中央病院脳神経内科
- P8-13 神経核内封入体病における末梢神経障害の検討**  
○岡本 智子<sup>1</sup>, 石原 資<sup>1</sup>, 齊藤 勇二<sup>1</sup>, 山本 敏之<sup>1</sup>, 塚本 忠<sup>1</sup>, 齊藤 祐子<sup>2</sup>,  
佐藤 典子<sup>3</sup>, 高橋 祐二<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部, <sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部
- P8-14 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者96例における四肢筋力低下についての検討**  
○石井 淳子<sup>1</sup>, 石山 浩之<sup>1</sup>, 黒田 健仁<sup>1</sup>, 比谷 里美<sup>1</sup>, 中澤 晋作<sup>1</sup>, 塩見 悠真<sup>1</sup>, 乾 涼磨<sup>1</sup>,  
角替麻里絵<sup>1</sup>, 前川 嵩太<sup>1</sup>, 藤原 悟<sup>1</sup>, 村上 泰隆<sup>1</sup>, 尾原 信行<sup>1</sup>, 吉村 元<sup>1</sup>, 幸原 伸夫<sup>1</sup>,  
川本 未知<sup>1</sup>  
神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科
- P8-15 手根管症候群手術症例611手の神経伝導速度検査 - 肘部管症候群の有無が隣接神経比較法に及ぼす影響 -**  
○萩原 祐介<sup>1,2</sup>, 森本 茂<sup>3</sup>, 水谷 泰士<sup>1,2</sup>, 園木謙太郎<sup>4</sup>, 吉田 竜<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>田北会田北病院整形外科, <sup>2</sup>奈良県立医科大学整形外科, <sup>3</sup>友誼会西大和リハビリテーション病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>日本医科大学武蔵小杉病院整形外科, <sup>5</sup>シーダーズ・サイナイ医療センター整形外科
- P8-16 反復神経刺激試験 (RNS)7筋の正常値の構築**  
○芳賀 麻里<sup>1</sup>, 畑中 裕己<sup>2</sup>, 坂本 悠里<sup>1</sup>, 阿部 千晶<sup>1</sup>, 石崎 一穂<sup>1</sup>, 櫻井 靖久<sup>3</sup>,  
松本 英之<sup>3</sup>, 園生 雅弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>三井記念病院臨床検査部, <sup>2</sup>帝京大学脳神経内科, <sup>3</sup>三井記念病院神経内科

- P8-17 短母指外転筋に対する圧刺激が脊髄前角細胞の興奮性を与える影響**  
 ○ 瀧野 航平<sup>1,2</sup>, 黒部 正孝<sup>1,2</sup>, 松原 広幸<sup>1,3</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人研医会田辺中央病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科,  
<sup>3</sup>介護老人保健施設田辺すみれ苑リハビリテーション科
- P8-18 意識させる身体部位の違いにより脊髄運動神経機能の興奮性へ与える影響は異なる**  
 ○ 林 哲弘<sup>1,3</sup>, 高崎 浩壽<sup>1</sup>, 末廣 健児<sup>2</sup>, 石濱 崇史<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団石鎚会リハビリテーション部, <sup>2</sup>医療法人社団石鎚会法人本部, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科
- P8-19 視覚情報の有無による母趾屈曲最大随意収縮の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性を与える影響**  
 ○ 中西 康将<sup>1,2</sup>, 鈴木 俊明<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>2</sup>関西医療大学保健医療学部
- P8-20 F波最小潜時に対する年齢と身長の影響—多数例による検討—**  
 ○ 松下 隆史<sup>1</sup>, 幸原 伸夫<sup>2</sup>, 崎山 千尋<sup>1</sup>, 中村真実子<sup>1</sup>, 浜田 一美<sup>1</sup>, 佐々木一朗<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部, <sup>2</sup>地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科
- P8-21 正中法ENoGは顔面神経全体の病態を反映するか**  
 ○ 和田 晋一<sup>1</sup>, 仲野 春樹<sup>2</sup>, 大栗 聖由<sup>3</sup>, 小林 昌弘<sup>4</sup>, 藤岡 重和<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>天理医療大学医療学部臨床検査学科, <sup>2</sup>大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室,  
<sup>3</sup>香川県立保健医療大学臨床検査学科, <sup>4</sup>天理よろづ相談所病院臨床検査部, <sup>5</sup>大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科

## P9 神経筋超音波・末梢神経筋画像

- P9-1 レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症の鑑別における超音波エラストグラフィの有用性**  
 ○ 野田 佳克<sup>1</sup>, 関口 兼司<sup>2</sup>, 渡部 俊介<sup>2</sup>, 末廣 大知<sup>2</sup>, 森本 耕平<sup>2</sup>, 松本 理器<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>中田医院, <sup>2</sup>神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野
- P9-2 筋萎縮性側索硬化症患者における舌と上部僧帽筋の筋超音波検査でのfasciculation検出感度と特徴について**  
 ○ 木田 耕太<sup>1</sup>, 清水 俊夫<sup>1</sup>, 森島 亮<sup>1</sup>, 川添 僚也<sup>1</sup>, 中島 大輔<sup>1</sup>, 法岡 遼平<sup>1</sup>,  
 木村 英紀<sup>1</sup>, 篠塚 一摩<sup>2</sup>, 中山 優季<sup>3</sup>, 高橋 一司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都立神経病院脳神経内科, <sup>2</sup>東京都立神経病院検査科, <sup>3</sup>東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット
- P9-3 Charcot-Marie-Tooth病におけるThresholding法を用いた筋エコー輝度評価**  
 ○ 北大路隆正<sup>1</sup>, 能登 祐一<sup>1</sup>, 中川 正法<sup>2</sup>, 水野 敏樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都府立医科大学医学研究科神経内科学, <sup>2</sup>京都府立医科大学北部医療センター
- P9-4 痙縮による内側足背皮神経圧迫に対し、エコー下ボツリヌス治療が有効だった一症例**  
 ○ 阿部 理奈, 水尻 強志, 金成建太郎, 京 吉彦, 江原 昌宗, 阿部 直樹  
 宮城厚生協会長町病院



- P9-5 神経超音波を用いたアミロイドポリニューロパチーおよび慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの神経束評価**  
○山崎 博輝<sup>1</sup>, 高松 直子<sup>1</sup>, 福島 功士<sup>1</sup>, 吉田 剛<sup>2</sup>, 大崎 裕亮<sup>1</sup>, 和泉 唯信<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>徳島大学病院脳神経内科, <sup>2</sup>近森病院脳神経内科
- P9-6 神経超音波検査における神経内血流の推移を追跡した血管炎性ニューロパチーの2症例**  
○渡部 俊介, 関口 兼司, 末廣 大知, 森本 耕平, 野田 佳克, 松本 理器  
神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学
- P9-7 著明な舌萎縮を認めたニューロパチーの一例**  
○高原 実香, 福本 竜也, 山崎 博輝, 高松 直子, 大崎 裕亮, 山本 伸昭, 宮本 亮介, 藤田 浩司, 和泉 唯信  
徳島大学病院脳神経内科
- P9-8 骨格筋超音波によるサルコペニア評価の有用性の検討**  
○吉田 剛, 公文 義雄  
近森病院脳神経内科
- P9-9 横隔膜超音波で呼吸機能評価を追跡し得た抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎の1例**  
○池田 桂<sup>1</sup>, 阿部 達哉<sup>2</sup>, 大熊 彩<sup>2</sup>, 原 元彦<sup>3</sup>, 中里 良彦<sup>1</sup>, 三村 俊英<sup>4</sup>, 西野 一三<sup>5</sup>, 山元 敏正<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学脳神経内科, <sup>2</sup>国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター神経内科, <sup>3</sup>帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>埼玉医科大学リウマチ膠原病科, <sup>5</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部
- P9-10 多系統萎縮症における迷走神経断面積と自律神経障害の関連について**  
○中村 友彦<sup>1,2</sup>, 原田祐三子<sup>1</sup>, 上田 雅道<sup>1</sup>, 鈴木 将史<sup>1</sup>, 原 一洋<sup>1</sup>, 笹木 優賢<sup>3</sup>, 松下 正<sup>2</sup>, 勝野 雅央<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学脳神経内科, <sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院検査部, <sup>3</sup>名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門
- P9-11 当院における末梢神経・横隔膜エコー正常所見世代ごとの検討**  
○廣瀬 文吾<sup>1</sup>, 池田 和奈<sup>2</sup>, 山本 大輔<sup>2</sup>, 津田 笑子<sup>3</sup>, 山内 理香<sup>1</sup>, 保月 隆良<sup>3</sup>, 下濱 俊<sup>2</sup>, 今井 富裕<sup>2,4</sup>  
<sup>1</sup>砂川市立病院脳神経内科, <sup>2</sup>札幌医科大学脳神経内科, <sup>3</sup>しらかば台病院脳神経内科, <sup>4</sup>札幌医科大学保健医療学部大学院

## P10 磁気刺激

- P10-1 右側頭部rTMS中に得られた心拍RR間隔の短縮効果**  
○緒方 勝也<sup>1</sup>, 池田 拓郎<sup>2</sup>, 岡 真一郎<sup>2</sup>, 後藤 純信<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学福岡薬学部, <sup>2</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科, <sup>3</sup>国際医療福祉大学医学部生理学

- P10-2 自閉スペクトラム症における背外側前頭前野の神経生理機能の解明：TMS-EEG同時計測による予備的解析**  
 ○三村 悠<sup>1</sup>, 和田 真孝<sup>1</sup>, 李 雪梅<sup>1</sup>, 中西 智也<sup>2</sup>, 本多 栞<sup>1</sup>, 新井 脩泰<sup>1</sup>,  
 宮崎 貴浩<sup>1</sup>, 中島振一郎<sup>1</sup>, 三村 將<sup>1</sup>, 野田 賀大<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神神経科学教室, <sup>2</sup>東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学研究室
- P10-3 パーキンソン病患者の一次運動野における神経可塑性異常と病態の関連**  
 ○守安正太郎<sup>1</sup>, 清水 崇宏<sup>1</sup>, 本田 誠<sup>1</sup>, 宇川 義一<sup>2</sup>, 花島 律子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経内科学分野, <sup>2</sup>福島県立医科大学医学部ヒト神経生理学講座
- P10-4 錐体路伝導に対する糖尿病の影響**  
 ○松本 英之<sup>1</sup>, 赤堀つぐみ<sup>2</sup>, 芳賀 麻里<sup>3</sup>, 阿部 千晶<sup>3</sup>, 坂本 悠里<sup>3</sup>, 木間 夕子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>三井記念病院神経内科, <sup>2</sup>日本赤十字社医療センター検査部, <sup>3</sup>三井記念病院臨床検査部
- P10-5 3個の磁石によるシン磁場刺激が形成する磁場の実測実験**  
 ○芝田 純也<sup>1</sup>, チョウ ケンキョク<sup>2</sup>, ワン ヘン<sup>2</sup>, 呉 景龍<sup>3</sup>, 柚木 啓輔<sup>4</sup>, 桐本 光<sup>4</sup>,  
 美馬 達哉<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>立命館大学衣笠総合研究機構, <sup>2</sup>School of Mechatronical Engineering Beijing Institute of Technology, <sup>3</sup>岡山大学大学院自然科学研究科生体計測工学研究室, <sup>4</sup>広島大学大学院医系科学研究科感覚運動神経科学教室, <sup>5</sup>立命館大学大学院先端総合学術研究科
- P10-6 下腿部MEP潜時の個人差は足首背屈運動調整学習後の運動野皮質内抑制低下の反応差に影響する**  
 ○丸山 敦夫<sup>1</sup>, 佐藤 大輔<sup>2</sup>, 山代 幸哉<sup>2</sup>, 衛藤 誠二<sup>1</sup>, 河村健太郎<sup>1</sup>, 宮良 広大<sup>3</sup>,  
 末吉 靖宏<sup>4</sup>, 下堂 蘭 恵<sup>1</sup>, 濱田 雅<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学, <sup>2</sup>新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科, <sup>3</sup>鹿児島大学大学院保健学研究科, <sup>4</sup>鹿児島大学共通教育センター, <sup>5</sup>東京大学医学部附属病院神経内科
- P10-7 左右脳機能マップと両手協調運動によるスキル学習との関連性**  
 ○関口 浩文<sup>1</sup>, 佐々木 睦<sup>2</sup>, 二橋 元紀<sup>3</sup>, 門田 宏<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>上武大学ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科, <sup>2</sup>東京大学大学院総合文化研究科,  
<sup>3</sup>城西大学経営学部, <sup>4</sup>高知工科大学情報学群
- P10-8 前腕背側への磁気刺激と電気刺激による手関節背屈運動の運動学的分析**  
 ○阿部 玄治<sup>1,2</sup>, JIA XIAOQING<sup>1</sup>, LINA TUERXUN<sup>1</sup>, 森 仁<sup>3</sup>, 八島 建樹<sup>3</sup>,  
 金高 弘恭<sup>4</sup>, 出江 紳一<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野, <sup>2</sup>東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科, <sup>3</sup>株式会社IFG, <sup>4</sup>東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター,  
<sup>5</sup>東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野

## P11 経頭蓋電気刺激（超音波刺激等他の脳刺激法を含む）

### P11-1 局所的経頭蓋交流刺激後の刺激部位直下での脳波記録

○田代 祥一<sup>1,2,3</sup>, ジーブナー ハートウィグ<sup>1,4,5</sup>, カラランパキ アンゲリキ<sup>1</sup>,  
ゴクス ジハン<sup>1</sup>, サトゥルニノ ギレーム<sup>1,6</sup>, ティエルシャー アクセル<sup>1,6</sup>,  
トマセビッチ レオ<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Danish Research Centre for Magnetic Resonance, Centre for Functional and Diagnostic Imaging and Research, Copenhagen University Hospital, Hvidovre, Denmark, <sup>2</sup>慶應大学医学部リハビリテーション医学教室, <sup>3</sup>杏林大学医学部リハビリテーション医学教室, <sup>4</sup>Department of Neurology, Copenhagen University Hospital, Bispebjerg, <sup>5</sup>Institute for Clinical Medicine, Faculty of Health and Medical Science, University of Copenhagen, <sup>6</sup>Department of Health Technology, Technical University of Denmark

### P11-2 うつ病における両側背外側前頭前野間のTMS-EEG機能的結合性の低下と同指標を用いたrTMS療法に対する治療反応性予測

○和田 真孝<sup>1</sup>, 中島振一郎<sup>1</sup>, 宮崎 貴浩<sup>1</sup>, 中西 智也<sup>1,2</sup>, 三村 悠<sup>1</sup>, 李 雪梅<sup>1</sup>,  
本多 栞<sup>1</sup>, 越智 涼<sup>1</sup>, 津川 幸子<sup>1</sup>, 新井 脩泰<sup>1</sup>, 三村 将<sup>1</sup>, 野田 賀大<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室, <sup>2</sup>東京大学大学院総合文化研究科・教養学部

### P11-3 マインドワンダリングの軽減を目的とした徐歩下経頭蓋直流刺激による長期的オーギュメンテーション効果 -二重盲検比較試験 (RCT)-

○西田圭一郎<sup>1</sup>, 森島 陽介<sup>2</sup>, パスカルーマルキ ロベルト<sup>3</sup>, 吉村 匡史<sup>1</sup>, 南 翔太<sup>1</sup>,  
池田俊一郎<sup>1</sup>, 佃 万里<sup>1</sup>, 桂 功士<sup>1</sup>, 上田紗津貴<sup>1</sup>, 山根 倫也<sup>1,4</sup>, 越川 陽介<sup>1</sup>,  
木下 利彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学精神神経科学教室, <sup>2</sup>Division of Systems Neuroscience of Psychopathology, Translational Research Center, University Hospital of Psychiatry, University of Bern, Bern, Switzerland, <sup>3</sup>The KEY Institute for Brain-Mind Research, University of Zurich, Zurich, Switzerland, <sup>4</sup>関西大学大学院心理学研究科

### P11-4 ヒトMTに対する経頭蓋直流電流刺激による運動視能への影響

○熊田 侑起<sup>1</sup>, 呉屋 良真<sup>2</sup>, 青山 千紗<sup>3</sup>, 七五三木聡<sup>4</sup>

<sup>1</sup>大阪大学生命機能研究科生命機能専攻, <sup>2</sup>びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部, <sup>3</sup>大阪大学医学系研究科, <sup>4</sup>大阪大学全学教育推進機構

### P11-5 経頭蓋直流電気刺激と言語訓練アプリを併用した失語症者の発話改善

○井原 綾<sup>1</sup>, 宮崎 彰子<sup>2</sup>, 伊澤 幸洋<sup>3,4</sup>, 高山みさき<sup>4</sup>, 花山 耕三<sup>5</sup>, 種村 純<sup>6</sup>

<sup>1</sup>国立研究開発法人情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター, <sup>2</sup>川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター, <sup>3</sup>福山市立大学教育学部, <sup>4</sup>岡山リハビリテーション病院, <sup>5</sup>川崎医科大学リハビリテーション医学教室, <sup>6</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部

### P11-6 進行性核上性麻痺における反復4連発磁気刺激法による神経可塑性の検討

○本田 誠<sup>1</sup>, 清水 崇宏<sup>1</sup>, 守安正太郎<sup>1</sup>, 瀧川 洋史<sup>1</sup>, 宇川 義一<sup>2</sup>, 花島 律子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>鳥取大学脳神経内科, <sup>2</sup>福島県立医科大学ヒト神経生理学講座

### P11-7 閾値探索法を用いた、筋萎縮性側索硬化症の運動野皮質内抑制回路異常の検討

○大塚 十里<sup>1</sup>, 代田悠一郎<sup>1,2</sup>, 小玉 聡<sup>1</sup>, 濱田 雅<sup>1</sup>, 戸田 達史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部附属病院脳神経内科, <sup>2</sup>東京大学医学部附属病院検査部

**P11-8 頭頂部に対する経頭蓋交流電流刺激が平衡機能に与える影響**○岡 真一郎<sup>1</sup>, 池田 拓郎<sup>1</sup>, 中藪 寿人<sup>2</sup>, 緒方 勝也<sup>3</sup>, 後藤 純信<sup>4</sup><sup>1</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科, <sup>2</sup>福岡国際医療福祉大学医療学部作業療法学科, <sup>3</sup>国際医療福祉大学福岡薬学部薬学科, <sup>4</sup>国際医療福祉大学医学部生理学**P11-9 難治性疼痛に対する経頭蓋直流電気刺激法の有効性の予備的検討**○森 信彦<sup>1,2</sup>, 細見 晃一<sup>1,2</sup>, 西 麻哉<sup>2</sup>, 押野 悟<sup>2</sup>, 貴島 晴彦<sup>2</sup>, 齋藤 洋一<sup>1,2</sup><sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科脳神経機能再生学, <sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学**P12 その他の生理検査 (軸索興奮性、その他の誘発電位など)****P12-1 ゼロクロスモード以外のアクチグラフによる“覚醒の質”の表示方法について**○中島 亨<sup>1</sup>, 神田 優太<sup>2</sup>, 高江洲義和<sup>2</sup><sup>1</sup>杏林大学保健学部臨床心理学科, <sup>2</sup>杏林大学医学部精神神経科学教室**P12-2 POEMS症候群における軸索特性の変化：CIDPとの対比の観点から**

○狩野 裕樹, 澁谷 和幹, 水地 智基, 常山 篤子, 鈴木 陽一, 中村 圭吾, 小島 雄太, 青墳 佑弥, 諸岡菜里恵, 大谷 亮, 桑原 聡, 三澤 園子

千葉大学医学部附属病院脳神経内科

**P12-3 遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスの小径線維ニューロパチー評価の手法：  
Sudscanの有用性の検討**○増田 曜章<sup>1</sup>, 三隅 洋平<sup>1</sup>, 村上 華純<sup>2</sup>, 野村 隼也<sup>1</sup>, 岡田 匡充<sup>1</sup>, 井上 泰輝<sup>1</sup>, 大林 光念<sup>2</sup>, 安東由喜雄<sup>1,3</sup>, 植田 光晴<sup>1</sup><sup>1</sup>熊本大学大学院生命科学研究部脳神経内科学講座, <sup>2</sup>熊本大学大学院生命科学研究部構造機能解析学分野, <sup>3</sup>長崎国際大学薬学部アミロイドーシス病態解析学**P12-4 甲状腺中毒性周期性四肢麻痺患者の運動神経軸索興奮性に運動負荷が与える影響**

○大崎 裕亮, 福本 竜也, 山崎 博輝, 和泉 唯信

徳島大学病院脳神経内科

**P12-5 選択的A $\delta$ およびC線維刺激の脊髄反射への条件刺激効果**○森田 洋<sup>1</sup>, 小平 農<sup>2</sup>, 大橋 信彦<sup>2</sup><sup>1</sup>信州大学総合健康安全センター, <sup>2</sup>信州大学医学部脳神経内科・リウマチ膠原病内科**P12-6 電気刺激による細胞膜脱分極の容積伝導体的解釈**

○後藤 哲哉, 田中雄一郎

聖マリアンナ医科大学脳神経外科

**P12-7 ニューラルネットワークを使用した脈波解析による恐怖状態の判別手法の開発**○原地 絢斗<sup>1</sup>, 山本 祐輔<sup>1</sup>, 村松 歩<sup>1</sup>, 長原 一<sup>2</sup>, 武村 紀子<sup>2</sup>, 中島 悠太<sup>2</sup>, 水野 (松本) 由子<sup>1,3</sup>, 下條 真司<sup>2,3</sup><sup>1</sup>兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科, <sup>2</sup>大阪大学データビリティフロンティア機構, <sup>3</sup>大阪大学サイバーメディアセンター

**P12-8 健常人における持続的筋安静に伴う前角細胞興奮性の変化—持続的筋安静によりリピーターF波は増加する—**

○岡田 文明<sup>1</sup>, 橋本耕太郎<sup>1,2</sup>, 石原 慧一<sup>3</sup>, 山本明日香<sup>3</sup>, 橘 俊哉<sup>2</sup>, 木村 淳<sup>4</sup>

<sup>1</sup>仙齡会はりま病院整形外科, <sup>2</sup>兵庫医科大学整形外科学教室, <sup>3</sup>仙齡会はりま病院検査課, <sup>4</sup>アイオワ大学神経内科

**P13 精神疾患**

**P13-1 神経生理学的有向性コヒーレント (Isolated effective coherence: iCoh) を用いたうつ病における症状別の抗うつ薬治療反応予測**

○南 翔太, 西田圭一郎, 吉村 匡史, 木下 利彦, 加藤 正樹

関西医科大学精神科

**P13-2 神経性やせ症における定量脳波解析の検討**

○佃 万里<sup>1</sup>, 池田俊一郎<sup>1</sup>, 上田沙津貴<sup>1</sup>, 南 翔太<sup>1</sup>, 桂 功士<sup>1</sup>, 山根 倫也<sup>1,2</sup>, 北浦 祐一<sup>1</sup>, 西田圭一郎<sup>1</sup>, 吉村 匡史<sup>1</sup>, 木下 利彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学精神神経科学教室, <sup>2</sup>関西大学大学院心理学研究科

**P13-3 うつ病による療養からの復職判定において心拍変動検査を用いた自律神経機能評価は有用である**

○榛葉 俊一

静岡済生会総合病院精神科

**P13-4 治療抵抗性うつ病患者の前帯状回 GABA 濃度による rTMS 治療反応予測**

○本多 栞<sup>1</sup>, 野田 賀大<sup>1</sup>, 和田 真孝<sup>1</sup>, 宮崎 貴浩<sup>1</sup>, 中西 智也<sup>1,2</sup>, 新井 脩泰<sup>1</sup>, 李 雪梅<sup>1</sup>, 垂水 良介<sup>1</sup>, 三村 悠<sup>1</sup>, 越智 涼<sup>1</sup>, 津川 幸子<sup>1</sup>, 三村 将<sup>1</sup>, 中島振一郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室精神病態生理学研究室, <sup>2</sup>東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学研究室

**P13-5 安静時心電図生理指標による自閉スペクトラム症の自律神経機能に関する予備的解析**

○高野万由子<sup>1,2</sup>, 李 雪梅<sup>2</sup>, 中西 智也<sup>2,3</sup>, 三村 悠<sup>2</sup>, 和田 真孝<sup>2</sup>, 宮崎 貴浩<sup>2</sup>, 中島振一郎<sup>2</sup>, 三村 将<sup>2</sup>, 野田 賀大<sup>2</sup>

<sup>1</sup>帝人ファーマ株式会社医療技術研究所, <sup>2</sup>慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室, <sup>3</sup>東京大学大学院総合文化研究科身体運動科学研究室

**P14 てんかん**

**P14-1 頭蓋内脳波記録を行った根治的てんかん外科治療後の発作再発例の検討**

○田村健太郎, 佐々木亮太, 中瀬 裕之

奈良県立医科大学医学部脳神経外科

- P14-2 てんかん性スパズムに対する手術の発作予後と、発作間欠期速波と徐波のPhase amplitude coupling 指標との関連性**  
 ○宇田 武弘<sup>1,2</sup>, 九鬼 一郎<sup>3</sup>, 井上 岳司<sup>3</sup>, 國廣 誉世<sup>2</sup>, 温井めぐみ<sup>3</sup>, 岡崎 伸<sup>3</sup>, 川脇 壽<sup>3</sup>, 宇田 裕史<sup>1</sup>, 中西 陽子<sup>2</sup>, 馬場 良子<sup>2</sup>, 後藤 剛夫<sup>1</sup>, 大坪 宏<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科, <sup>2</sup>大阪市立総合医療センター小児脳神経外科, <sup>3</sup>大阪市立総合医療センター小児神経内科, <sup>4</sup>トロント小児病院神経内科
- P14-3 難治部分てんかん患者における皮質間ネットワークの特徴と臨床所見との関連：皮質皮質間誘発電位を用いた検討**  
 ○十河 正弥<sup>1</sup>, 松本 理器<sup>1</sup>, 武山 博文<sup>2</sup>, 小林 勝哉<sup>3</sup>, 宇佐美清英<sup>4</sup>, 下竹 昭寛<sup>4</sup>, 松橋 眞生<sup>5</sup>, 菊池 隆幸<sup>6</sup>, 吉田 和道<sup>6</sup>, 國枝 武治<sup>7</sup>, 宮本 享<sup>6</sup>, 高橋 良輔<sup>4</sup>, 池田 昭夫<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学, <sup>3</sup>Cleveland Clinic, Department of Neurology, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>5</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>6</sup>京都大学大学院医学研究科脳神経外科学, <sup>7</sup>愛媛大学大学院医学研究科脳神経外科学
- P14-4 未治療の特発性全般てんかんにおける覚醒時脳波での棘徐波検出確率を数学的理論で推測してみた**  
 ○小野 智憲<sup>1</sup>, 本田 涼子<sup>1</sup>, 渡邊 嘉章<sup>1</sup>, 池田 憲呼<sup>1</sup>, 里 龍晴<sup>2</sup>, 犬塚 幹<sup>3</sup>, 松尾 光弘<sup>4</sup>, 馬場 史郎<sup>5</sup>, 内田 大貴<sup>6</sup>, 馬場 啓至<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>国立長崎医療センターてんかんセンター, <sup>2</sup>長崎大学小児科, <sup>3</sup>佐世保中央病院小児科, <sup>4</sup>長崎県こども医療福祉センター小児科, <sup>5</sup>長崎大学脳神経外科, <sup>6</sup>佐世保総合病院脳神経外科, <sup>7</sup>西諫早病院てんかんセンター
- P14-5 片側巨脳症における半球離断術後の脳波の検討**  
 ○渡辺詩絵奈<sup>1</sup>, 中川 栄二<sup>1</sup>, 齋藤 貴志<sup>1</sup>, 岩崎 真樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科
- P14-6 若年ミオクロニーてんかん患者において持続時間の長い多棘波は薬剤抵抗性を示唆する**  
 ○土屋真理夫<sup>1</sup>, 神 一敬<sup>1</sup>, 柿坂 庸介<sup>1</sup>, 北澤 悠<sup>2</sup>, 中里 信和<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野, <sup>2</sup>横浜市立大学大学院医学研究科神経内科学・脳卒中医学
- P14-7 けいれん発作時の脳波周波数変化に特徴はあるか？**  
 ○東 英樹, 加藤 雄亮, 坂田 晴耶, 早瀬 卓矢, 水野 愛, 水野 雄介, 古賀 敬祥, 高野 貴弘, 比嘉 健就, 山本 祐輔, 明智 龍男  
 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野
- P14-8 小児焦点てんかんにおけるてんかん性突発波消失に対するラコサミドの早期治療の有効性**  
 ○星野 廣樹<sup>1</sup>, 高山 和子<sup>1</sup>, 清水 彩未<sup>2</sup>, 高橋 修<sup>2</sup>, 金村 英秋<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東邦大学医療センター佐倉病院小児科, <sup>2</sup>東邦大学医療センター佐倉病院臨床生理機能検査部

**P14-9 パーキンソン病の治療経過中に複雑幻視を呈した側頭葉てんかんの1例**

○此松 和俊<sup>1</sup>, 加藤 量広<sup>1</sup>, 三浦祐太郎<sup>3</sup>, 藤田 光<sup>3</sup>, 大嶋 龍司<sup>1</sup>, 大友 智<sup>2</sup>,  
黒田 宙<sup>1</sup>

<sup>1</sup>みやぎ県南中核病院脳神経内科, <sup>2</sup>みやぎ県南中核病院脳神経外科, <sup>3</sup>みやぎ県南中核病院検査部

**P14-10 注意妄想が発作周辺期精神症状であった脳炎後てんかんの一例**

○加藤 量広<sup>1</sup>, 村山 直樹<sup>2</sup>, 高橋 恵子<sup>2</sup>, 此松 和俊<sup>1</sup>, 三浦祐太郎<sup>3</sup>, 藤田 光<sup>3</sup>,  
大友 智<sup>4</sup>

<sup>1</sup>みやぎ県南中核病院脳神経内科, <sup>2</sup>みやぎ県南中核病院精神科, <sup>3</sup>みやぎ県南中核病院検査部, <sup>4</sup>みやぎ県南中核病院脳神経外科

**P14-11 睡眠紡錘波と徐波振動の連関に与える発作間欠期てんかん性放電の影響**

○上原 平<sup>1</sup>, 向野 隆彦<sup>2</sup>, 横山 淳<sup>2</sup>, 岡留 敏樹<sup>2</sup>, 迎 伸孝<sup>3</sup>, 重藤 寛史<sup>4</sup>,  
酒田あゆみ<sup>5</sup>, 赤松 直樹<sup>1</sup>, 村井 弘之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国際医療福祉大学医学部脳神経内科, <sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院神経内科学, <sup>3</sup>九州大学大学院医学研究院脳神経外科, <sup>4</sup>九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野, <sup>5</sup>九州大学病院検査部

**P14-12 覚醒/睡眠によるてんかん性放電の変化: 脳卒中後てんかん1症例における臨床的意義の検討**

○中倉 真之<sup>1</sup>, 木下真幸子<sup>2</sup>, 傳 和真<sup>3,4</sup>, 山本 敦史<sup>3</sup>, 崔 聡<sup>3</sup>, 今井 啓輔<sup>3</sup>,  
小藪 治久<sup>1</sup>, 浦田 洋二<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>京都第一赤十字病院検査部, <sup>2</sup>国立病院機構宇多野病院脳神経内科, <sup>3</sup>京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科, <sup>4</sup>西湘病院脳神経外科, <sup>5</sup>京都第一赤十字病院病理診断科

**P14-13 14 & 6Hz陽性棘波とてんかん性放電との関係**

○渡邊恵利子<sup>1</sup>, 酒田あゆみ<sup>1</sup>, 迎 伸孝<sup>2</sup>, 森岡 隆人<sup>3</sup>, 上原 平<sup>4</sup>, 重藤 寛史<sup>5</sup>,  
堀田多恵子<sup>1</sup>, 康 東天<sup>1</sup>

<sup>1</sup>九州大学病院検査部, <sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院脳神経外科, <sup>3</sup>原三信病院脳神経外科, <sup>4</sup>国際医療福祉大学成田病院脳神経内科, <sup>5</sup>九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野

**P14-14 術中脳波におけるHFOおよびPhase amplitude coupling解析を用いたAicardi症候群に対するsubtotal hemispherotomyの有用性の検討**

○飯村 康司<sup>1</sup>, 菅野 秀宣<sup>1</sup>, 三橋 匠<sup>1</sup>, 上田 哲也<sup>1</sup>, 安部 信平<sup>2</sup>, 大坪 宏<sup>1,3</sup>,  
新井 一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学医学部脳神経外科, <sup>2</sup>順天堂大学医学部小児科, <sup>3</sup>The Hospital for Sick Children

**P14-15 局在するextreme delta brushに類似した波形を呈した2例の臨床-神経生理学的検討**

○三村 直哉<sup>1</sup>, 梶川 駿介<sup>1</sup>, 下竹 昭寛<sup>1</sup>, 十川 夏子<sup>1</sup>, 中村 和<sup>1</sup>, 石橋はるか<sup>1</sup>,  
本多 正幸<sup>1</sup>, 小林 勝哉<sup>1</sup>, 人見 健文<sup>2</sup>, 二宮 宏智<sup>3</sup>, 松橋 眞生<sup>4</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>,  
池田 昭夫<sup>4</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科臨床検査学, <sup>3</sup>市立伊丹病院脳神経外科, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**P14-16 難治性側頭葉てんかんのsEEGにおける、発作期・発作間欠期hypersynchronousパターンの違いの臨床的意義**

○後藤 昌広<sup>1</sup>, 梶川 駿介<sup>1</sup>, 宇佐美清英<sup>2</sup>, 下竹 昭寛<sup>1</sup>, 人見 健文<sup>3</sup>, 山尾 幸広<sup>4</sup>, 菊池 隆幸<sup>4</sup>, 吉田 和道<sup>4</sup>, 松橋 眞生<sup>2</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 宮本 享<sup>4</sup>, 池田 昭夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科脳神経外科

**P14-17 側頭葉底面言語野の機能・解剖学的特徴：標準脳上での密度分布解析**

○的場 健人<sup>1,2</sup>, 松本 理器<sup>1,2</sup>, 下竹 昭寛<sup>2</sup>, 中江 卓郎<sup>3</sup>, 今村 久司<sup>4</sup>, 十河 正弥<sup>1</sup>, 山尾 幸広<sup>5</sup>, 宇佐美清英<sup>6</sup>, 菊池 隆幸<sup>5</sup>, 吉田 和道<sup>5</sup>, 松橋 眞生<sup>6</sup>, 國枝 武治<sup>7</sup>, 高橋 良輔<sup>2</sup>, 宮本 享<sup>5</sup>, 池田 昭夫<sup>6</sup>

<sup>1</sup>神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>3</sup>滋賀県立総合病院脳神経外科, <sup>4</sup>福井赤十字病院神経内科, <sup>5</sup>京都大学大学院医学系研究科脳神経外科, <sup>6</sup>京都大学大学院医学系研究科てんかん・運動異常生理学, <sup>7</sup>愛媛大学大学院医学系研究科脳神経外科

**P14-18 てんかん外科の皮質電気刺激による言語機能マッピングにおける機能解剖連関の検討**

○尾谷 真弓<sup>1</sup>, 松本 理器<sup>2</sup>, 下竹 昭寛<sup>3</sup>, 坂本 光弘<sup>1</sup>, 中江 卓郎<sup>4</sup>, 松橋 眞生<sup>3</sup>, 菊池 隆幸<sup>4</sup>, 吉田 和道<sup>4</sup>, 國枝 武治<sup>5</sup>, LAMBON RALPH Matthew A.<sup>6</sup>, 宮本 享<sup>4</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>3</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>神戸大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>3</sup>京都大学医学部医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>4</sup>京都大学大学院医学部医学研究科脳神経外科, <sup>5</sup>愛媛大学大学院医学部医学研究科脳神経外科, <sup>6</sup>MRC Cognition and Brain Sciences Unit, University of Cambridge

**P14-19 一過性てんかん性健忘の臨床的特徴**

○中村 和<sup>1</sup>, 本多 正幸<sup>2</sup>, 邊見名見子<sup>1,3</sup>, 高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>4</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学, <sup>3</sup>武田総合病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座

**P14-20 内側側頭葉てんかんにおけるspike onset zoneに関するGMFTとdSPMの比較**

○白水 洋史<sup>1</sup>, 増田 浩<sup>1</sup>, 福多 真史<sup>1</sup>, 亀山 茂樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科, <sup>2</sup>新潟聖籠病院脳神経外科

**P14-21 当院で経験した高齢者NCSE症例の検討**

○佐々木亮太<sup>1</sup>, 山田 翔子<sup>2</sup>, 大杉奈保美<sup>2</sup>, 澤井 康子<sup>3</sup>, 平林 秀裕<sup>1</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構奈良医療センター脳神経外科, <sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構奈良医療センター臨床検査科, <sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構奈良医療センター小児神経科

**P14-22 脳梗塞を契機に非けいれん性てんかん重積を呈した一例**

○横山 智哉, 須永 茂樹, 大貫 浩幸, 松永 恭輔, 岡田 博史, 大塚 邦紀, 神保 洋之  
東京医科大学八王子医療センター脳神経外科

**P14-23 慢性硬膜下血腫にてんかんを呈した1症例**

○須永 茂樹, 神保 洋之, 大貫 浩幸, 松永 恭輔, 横山 智哉, 岡田 博史, 大塚 邦紀  
東京医科大学八王子医療センター脳神経外科



- P14-24 多彩なてんかん発作および発作時脳波異常を呈した新規NARS2変異を有するミトコンドリア病の1例**  
 ○深尾 俊宣<sup>1</sup>, 佐野 史和<sup>1</sup>, 成澤 宏宗<sup>1</sup>, 矢ヶ崎英晃<sup>1</sup>, 加賀 佳美<sup>1</sup>, 犬飼 岳史<sup>1</sup>, 相原 正男<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>山梨大学医学部小児科, <sup>2</sup>山梨大学大学院総合研究部
- P14-25 周産期虚血性脳卒中に続発したヒプスアリスミアにおけるてんかん性ネットワーク**  
 ○鈴木 皓晴<sup>1,2</sup>, 大坪 宏<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学てんかんセンター脳神経外科, <sup>2</sup>The Hospital for Sick Children, Division of Neurology
- P14-26 難治性焦点性てんかんにおける皮質脳波ガンマエントロピー解析を用いた術中てんかん原性部評価法**  
 ○佐藤 洋輔, 飯塚 一樹, 小林 裕介, 杉山 達也, 水谷 徹  
 昭和大学医学部脳神経外科

## P15 睡眠

- P15-1 終夜睡眠ポリグラフとの同時計測による簡易睡眠脳波計の睡眠段階判定精度評価**  
 ○鈴木 陽子<sup>1</sup>, 阿部 高志<sup>1</sup>, 川名ふさ江<sup>1,2</sup>, 小久保利雄<sup>1</sup>, 柳沢 正史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構, <sup>2</sup>順天堂大学大学院医学研究科心血管睡眠呼吸医学講座
- P15-2 ローズマリーオイルの記憶学習能へ及ぼす影響を脳波リズム規則性の変化で検出する研究**  
 ○與儀和香子<sup>1</sup>, 塚田 愛<sup>1</sup>, 佐藤 洋輔<sup>2</sup>, 伊津野拓司<sup>1</sup>, 砂川 正隆<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門, <sup>2</sup>昭和大学医学部脳神経外科教室
- P15-3 若年健常者における睡眠時心拍数及び心臓自律神経系活動と睡眠段階との関係**  
 ○前田 康治<sup>1</sup>, 藤江 建朗<sup>2</sup>, 玉元由果莉<sup>3,4</sup>, 中村 英夫<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>広島工業大学生命学部生体医工学科, <sup>2</sup>森ノ宮医療大学保健医療学部臨床工学科, <sup>3</sup>大阪電気通信大学医療福祉工学研究科医療福祉工学専攻, <sup>4</sup>大阪暁明館大阪暁明館病院臨床工学科, <sup>5</sup>大阪電気通信大学医療健康科学部健康スポーツ科学科
- P15-4 メチルフェニデート使用後に統合失調症症状が顕在化したナルコレプシー1型の一例**  
 ○稗貫 理恵<sup>1,2</sup>, 高江洲義和<sup>2</sup>, 今村 弥生<sup>2</sup>, 片桐 建志<sup>2</sup>, 前田 優那<sup>2</sup>, 梶ヶ谷仁志<sup>2</sup>, 世宮 俊輔<sup>2</sup>, 中島 亨<sup>3</sup>, 神林 崇<sup>4</sup>, 渡邊衡一郎<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>多摩病院, <sup>2</sup>杏林大学医学部附属病院精神神経科学教室, <sup>3</sup>杏林大学医学部附属病院保健学部, <sup>4</sup>筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
- P15-5 レム睡眠期における体性刺激が覚醒後の眠気等に及ぼす影響**  
 ○野添 健太<sup>1</sup>, 浅岡 章一<sup>1,2</sup>, 木暮 貴政<sup>1,3</sup>, 椎野 俊秀<sup>3</sup>, 佐々木大輔<sup>2</sup>, 小林 美咲<sup>2</sup>, 福田 一彦<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>江戸川大学睡眠研究所, <sup>2</sup>江戸川大学社会学部人間心理学科, <sup>3</sup>パラマウントベッド株式会社パラマウントベッド睡眠研究所

**P15-6 ナルコレプシーから注意欠陥・多動性障害へ診断が変更となった一例**

○田中 彰人<sup>1,2</sup>, 高江洲義和<sup>2</sup>, 菅 さくら<sup>2</sup>, 村尾 昌美<sup>2</sup>, 稗貫 理恵<sup>3</sup>, 中島 亨<sup>4</sup>,  
神林 崇<sup>5</sup>, 渡邊衡一郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>桜ヶ丘記念病院, <sup>2</sup>杏林大学医学部附属病院精神神経科学教室, <sup>3</sup>多摩病院, <sup>4</sup>杏林大学医学部附属病院保健学部, <sup>5</sup>筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

**P15-7 レム睡眠行動障害に類似の症状をきたした睡眠時無呼吸症候群の1例**

○出口 一志<sup>1</sup>, 土居 智和<sup>1</sup>, 高田 忠幸<sup>1</sup>, 國土 曜平<sup>1</sup>, 小原 英幹<sup>1</sup>, 山本 光利<sup>2</sup>,  
正木 勉<sup>1</sup>, 峠 哲男<sup>3</sup>

<sup>1</sup>香川大学医学部消化器神経内科, <sup>2</sup>高松神経内科クリニック, <sup>3</sup>香川大学医学部健康科学

**P15-8 小児の終夜睡眠ポリグラフ検査における脳波異常検出率の検討**

○三宅 未紗<sup>1,2</sup>, 石原 尚子<sup>2</sup>, 平田 正敏<sup>3</sup>, 細田 奈未<sup>4</sup>, 福本 純一<sup>4</sup>, 藤田 志保<sup>4</sup>,  
近藤 康人<sup>1</sup>, 吉川 哲史<sup>2</sup>

<sup>1</sup>藤田医科大学ばんだね病院小児科, <sup>2</sup>藤田医科大学医学部小児科学, <sup>3</sup>藤田医科大学ばんだね病院臨床検査部, <sup>4</sup>藤田医科大学病院臨床検査部

**P15-9 CPAP適正圧を決める新たな手法：午睡CPAPタイトレーション(aPT)**

○紀戸 恵介<sup>1,2,3</sup>, 立花 直子<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>関西電力医学研究所睡眠医学研究部, <sup>2</sup>関西電力病院睡眠関連疾患センター, <sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻睡眠医学講座

**P15-10 終夜睡眠ポリグラフとの同時計測によるFitbit Charge3の睡眠段階判定精度評価**

○鈴木 陽子<sup>1</sup>, 岡部 聡美<sup>1,2</sup>, 阿部 高志<sup>1</sup>, 川名ふさ江<sup>1,3</sup>, 小久保利雄<sup>1</sup>, 柳沢 正史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構, <sup>2</sup>筑波大学大学院人間総合科学研究科, <sup>3</sup>順天堂大学大学院医学研究科心血管睡眠呼吸医学講座

**P16 意識障害（神経救急・脳死を含む）****P16-1 急性期疾患におけるNCSEの脳波所見：ACNS分類だけで十分か？**

○中本 英俊<sup>1</sup>, 久保田有一<sup>3</sup>, 江川 悟史<sup>2</sup>, 志波 智子<sup>1</sup>, 金 吉秀<sup>1</sup>, 阿南 英典<sup>1</sup>,  
岡田 和也<sup>2</sup>, 藤本 佳久<sup>2</sup>, 中川 俊<sup>4</sup>

<sup>1</sup>TMGあさか医療センター脳神経外科, <sup>2</sup>TMGあさか医療センター集中治療部, <sup>3</sup>東京女子医科大学東医療センター, <sup>4</sup>香川大学医学部附属病院救命センター

**P16-2 神経学先進国におけるNeuro-ICUの現状と神経生理学的モニタリングの役割**

○永山 正雄<sup>1</sup>, 梁 成勲<sup>2</sup>, 永山 富子<sup>2</sup>, 泉 義雄<sup>2</sup>

<sup>1</sup>国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学, <sup>2</sup>国際医療福祉大学熱海病院脳神経内科

**P16-3 頭部外傷後急性期に時定数2秒の頭皮上脳波で皮質拡散脱分極 (Cortical spreading depolarizations : CSDs) を記録できた2症例：臨床的意義と記録条件の考察**

○梶川 駿介<sup>1</sup>, 松橋 眞生<sup>2</sup>, 人見 健文<sup>3</sup>, 塚本 剛士<sup>4</sup>, 高谷 美和<sup>1</sup>, 舟木 健史<sup>5</sup>,  
山尾 幸広<sup>5</sup>, 菊池 隆幸<sup>5</sup>, 吉田 和道<sup>5</sup>, 長谷川浩史<sup>6</sup>, 澤田 眞寛<sup>7</sup>, 漆谷 眞<sup>4</sup>,  
高橋 良輔<sup>1</sup>, 池田 昭夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学,  
<sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科臨床検査学, <sup>4</sup>滋賀医科大学医学部附属病院脳神経内科, <sup>5</sup>京都大学大  
学院医学研究科脳神経外科学, <sup>6</sup>滋賀県立総合病院脳神経内科, <sup>7</sup>滋賀県立総合病院脳神経外科

**P16-4 重症くも膜下出血でAlpha comaの状態より回復がみられた1例**

○知禿 史郎, 原島 克之  
社会医療法人社団南町田病院

**P17 運動調節・眼球運動**

**P17-1 運動準備段階の脳活動を変容させる空間注意条件の検討**

○文室 知之<sup>1,2</sup>, 松橋 眞生<sup>2</sup>, 池田 昭夫<sup>2</sup>, 赤松 直樹<sup>3,4</sup>

<sup>1</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科, <sup>2</sup>京都大学医学研究科てんかん・運動異常生  
理学, <sup>3</sup>国際医療福祉大学医学部医学科, <sup>4</sup>福岡山王病院脳・神経機能センター

**P17-2 運動実行プロセスに関与する皮質領野**

○國村 洋志<sup>1</sup>, 小田 仁志<sup>1</sup>, 澤口 靖<sup>1</sup>, 川崎 拓<sup>1</sup>, 平岡 浩一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科, <sup>2</sup>大阪府立大学地域保健学域

**P17-3 てんかん重積状態における眼球偏位・頭部回旋の臨床的意義の検討**

○小原 啓弥<sup>1,2</sup>, 清水 宏紀<sup>1,2</sup>, 山中 雅美<sup>3</sup>, 井口 直彦<sup>1,2</sup>, 杉江 和馬<sup>2</sup>, 木下真幸子<sup>4</sup>

<sup>1</sup>南奈良総合医療センター脳神経内科, <sup>2</sup>奈良県立医科大学脳神経内科, <sup>3</sup>南奈良総合医療センター  
臨床検査部, <sup>4</sup>国立病院機構宇多野病院脳神経内科

**P17-4 眼と指の運動協調はパーキンソン病より脊髄小脳変性症でより障害されている**

○寺田さとみ<sup>1</sup>, 徳重 真一<sup>2</sup>, 市川弥栄子<sup>2</sup>, 宮崎 泰<sup>2</sup>, 内堀 歩<sup>2</sup>, 高橋 祐二<sup>3</sup>,  
松田 俊一<sup>4</sup>, 濱田 雅<sup>5</sup>, 千葉 厚郎<sup>2</sup>, 宇川 義一<sup>6</sup>, 辻 省次<sup>7</sup>, 寺尾 安生<sup>1</sup>

<sup>1</sup>杏林大学医学部病態生理学, <sup>2</sup>杏林大学医学部神経内科, <sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター神経  
内科, <sup>4</sup>NTT東日本関東病院神経内科, <sup>5</sup>東京大学医学部神経内科, <sup>6</sup>福島県立医科大学ヒト神経生  
理学, <sup>7</sup>国際医療福祉大学大学院・医学部

**P17-5 ヒラメ筋の足関節背屈等尺性収縮運動時の脳-筋コヒーレンス量の収縮力-経過時間特性**

○牛島 武<sup>1</sup>, 山下 賢斗<sup>2</sup>, 伊賀崎伴彦<sup>3</sup>, 村山 伸樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>熊本大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>熊本大学大学院自然科学教育部, <sup>3</sup>熊本大学大学院先端科学研究部

**P17-6 前脛骨筋の等尺性収縮運動時の脳-筋コヒーレンス量の収縮力-経過時間特性**

○伊賀崎伴彦<sup>1</sup>, 牛島 武<sup>2</sup>, 山下 賢斗<sup>3</sup>, 村山 伸樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>熊本大学大学院先端科学研究部, <sup>2</sup>大学院自然科学研究科, <sup>3</sup>大学院自然科学教育部

**P17-7 室内の照度がラバー負荷時の立位姿勢調節に与える影響**○池田 拓郎<sup>1</sup>, 後藤 和彦<sup>2</sup>, 岡 真一郎<sup>1</sup>, 緒方 勝也<sup>3</sup>, 杉 剛直<sup>4</sup>, 後藤 純信<sup>5</sup><sup>1</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科, <sup>2</sup>佐賀大学理工学部, <sup>3</sup>国際医療福祉大学福岡薬学部薬学科, <sup>4</sup>佐賀大学大学院先進健康科学研究科, <sup>5</sup>国際医療福祉大学医学部生理学講座**P18 不随意運動・基底核疾患****P18-1 パーキンソン病患者における時間的展望の特徴**○徳重 真一<sup>1,2</sup>, 寺田さとみ<sup>1,3</sup>, 濱田 雅<sup>1</sup>, 千葉 厚郎<sup>2</sup>, 宇川 義一<sup>4</sup>, 辻 省次<sup>1,5</sup>, 寺尾 安生<sup>1,3</sup><sup>1</sup>東京大学神経内科, <sup>2</sup>杏林大学神経内科, <sup>3</sup>杏林大学病態生理学, <sup>4</sup>福島県立医科大学ヒト神経生理学, <sup>5</sup>国際医療福祉大学大学院・医学部**P18-2 振戦と小脳失調の定量評価**○望月 仁志<sup>1</sup>, 石井 信之<sup>2</sup>, 望月 優輝<sup>3</sup>, 酒井 克也<sup>1</sup>, 塩見 一剛<sup>1</sup>, 中里 雅光<sup>4</sup><sup>1</sup>宮崎大学医学部脳神経内科, <sup>2</sup>千代田病院神経内科, <sup>3</sup>ピクシーダストテクノロジーズ, <sup>4</sup>宮崎大学医学部内分泌代謝糖尿病内科**P18-3 小児のbelly dancer's dyskinesiaの1例**○大府 正治, 須貝みさき, 早田 航, 川下 尋子  
南部徳洲会病院小児科**P18-4 Tourette 症候群症候群における運動前準備状態の体性感覚誘発電位(SEPs)- 強迫性障害(OCD)の合併**○木村 一恵, 星野 恭子, 長尾 ゆり, 野崎 真紀, 福水 道郎, 林 雅晴  
瀬川記念小児神経学クリニック**P19 運動ニューロン疾患****P19-1 早期筋萎縮性側索硬化症に対する閾値追跡法2連発経頭蓋刺激検査の有用性**○鈴木 陽一, 澁谷 和幹, 三澤 園子, 水地 智基, 常山 篤子, 中村 圭吾, 小島 雄太, 狩野 裕樹, 青墳 佑弥, 諸岡茉里恵, 大谷 亮, MARIO PRADO, 桑原 聡  
千葉大学医学部脳神経内科**P19-2 筋萎縮性側索硬化症における上位・下位運動神経興奮性増大の関与**○澁谷 和幹, 鈴木 陽一, 三澤 園子, 水地 智基, 常山 篤子, 小島 雄太, 中村 圭吾, 狩野 裕樹, 大谷 亮, 青墳 佑弥, 諸岡茉里恵, マリオ プラド, 桑原 聡  
千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学**P19-3 ALSにおける皮質運動神経興奮性と認知機能障害**○東原 真奈<sup>1,2</sup>, メノン パールヴァティ<sup>2</sup>, ヴァン デン ボスメフディー<sup>2</sup>, ジーヴァシंगा ニメシヤン<sup>2</sup>, キーナン マシュー<sup>3</sup>, ヴチッチ スティーヴ<sup>2</sup><sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター脳神経内科・脳卒中科, <sup>2</sup>Westmead Clinical School, University of Sydney, <sup>3</sup>Brain and Mind Centre, University of Sydney

**P19-4 ALSにおけるsplit-finger syndrome**○園生 雅弘<sup>1</sup>, 高橋 和沙<sup>1,2</sup>, 濱田 雄一<sup>1</sup>, 北國 圭一<sup>1</sup>, 小林 俊輔<sup>1</sup><sup>1</sup>帝京大学医学部附属病院脳神経内科, <sup>2</sup>北里大学医学部脳神経内科学**P19-5 上肢近位筋の著明な萎縮を呈する脳表ヘモジデリン沈着症の病巣解析**○岩瀬 遼<sup>1</sup>, 三條 伸夫<sup>1</sup>, 叶内 匡<sup>2</sup>, 横田 隆徳<sup>1</sup><sup>1</sup>東京医科歯科大学脳神経病態学分野, <sup>2</sup>東京医科歯科大学医学部附属病院検査部**P19-6 著明な疼痛と異常感覚で発症した筋萎縮性側索硬化症の1例**

○池上いちこ, 畠山 公大, 羽入龍太郎, 滑川 将気, 大津 裕, 金澤 雅人, 小野寺 理

新潟大学脳研究所臨床神経科学部門脳神経内科学分野

**P19-7 筋萎縮性側索硬化症(ALS)診断におけるUpdated Awaji基準の解釈について**○高橋 和沙<sup>1,2</sup>, 濱田 雄一<sup>1</sup>, 園生 雅弘<sup>1</sup><sup>1</sup>帝京大学医学部脳神経内科, <sup>2</sup>北里大学医学部脳神経内科**P19-8 筋萎縮性側索硬化症における線維束収縮電位は球脊髄性筋萎縮症と比して高頻度に発火し、より多相性である**○中島 大輔<sup>1</sup>, 木田 耕太<sup>1</sup>, 清水 俊夫<sup>1</sup>, 森島 亮<sup>1</sup>, 川添 僚也<sup>1</sup>, 木村 英紀<sup>1</sup>,篠塚 一摩<sup>2</sup>, 高橋 一司<sup>1</sup><sup>1</sup>東京都立神経病院脳神経内科, <sup>2</sup>東京都立神経病院検査科**P19-9 ALSにおけるCMAP/SNAP 振幅比の診断に対する有用性の検討**

○山川 勇, 西田 知弘, 中村竜太郎, 杉山 誠治, 金子 隼也, 山本 寛, 田村 亮太,

塚本 剛士, 小橋 修平, 小川 暢弘, 北村 彰浩, 金 一暁, 真田 充, 漆谷 真

滋賀医科大学医学部脳神経内科

**P20 脊椎脊髄・神経叢疾患****P20-1 頸椎症性脊髄症において頸椎前方すべりと後弯は皮質脊髄路障害重症化と関連する**

○船場 真裕, 今城 靖明, 永尾 祐治, 坂井 孝司

山口大学大学院整形外科

**P20-2 脊磁図(神経磁界計測装置)を用いた胸髄電気活動の非侵襲的評価**○橋本 淳<sup>1</sup>, 川端 茂徳<sup>1,2</sup>, 星野 優子<sup>2</sup>, 関原 謙介<sup>2</sup>, 渡部 泰士<sup>3</sup>, 宮野 由貴<sup>3</sup>,佐藤 慎司<sup>3</sup>, 三谷 悠貴<sup>3</sup>, 金 碩燦<sup>3</sup>, 高橋陽一郎<sup>3</sup>, 長岡 信頼<sup>3</sup>, 足立 善昭<sup>4</sup>,吉井 俊貴<sup>1</sup>, 大川 淳<sup>1</sup><sup>1</sup>東京医科歯科大学大学院整形外科, <sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座, <sup>3</sup>株式会社リコー HC事業部, <sup>4</sup>金沢工業大学先端電子技術応用研究所**P20-3 脳脊髄液漏出症による多髄節性筋萎縮症の2例**

○二宮 怜子, 青原 健太, 関谷 智子, 田村 暁子, 柴田 益成, 當間圭一郎, 西中 和人,

宇高不可思

住友病院脳神経内科

**P20-4 術中脊髄モニタリングに関するジレンマを感じた頸髄内血管芽腫の一例**

○島内 寛也, 花北 順哉, 高橋 敏行, 南 学, 兼松 龍, 宮坂 和弘

藤枝平成記念病院脊髄脊椎疾患治療センター

**P20-5 術中後脛骨神経刺激による短潜時体性感覚誘発電位の基準範囲の検討**

○今城 靖明, 船場 真裕, 永尾 祐治, 坂井 孝司

山口大学大学院医学系研究科整形外科

**P20-6 神経生理学的検査所見が診断に有用であった放射線治療後の遅発性進行性腰仙髄神経叢障害の一例**

○佐藤 俊一

長野赤十字病院神経内科

**P20-7 帯状疱疹に関連した腕神経叢障害の一例**

○山田 剛平

名古屋市立西部医療センター脳神経内科

**P21 末梢神経疾患****P21-1 パーキンソン病における起立性低血圧の重症度とノルアドレナリン反応性**○黒野 裕子<sup>1</sup>, 鳥飼 裕子<sup>1</sup>, 岡村 正哉<sup>1</sup>, 原 一<sup>2</sup><sup>1</sup>済生会神奈川県病院脳神経内科, <sup>2</sup>ウェルケアはら脳神経内科**P21-2 末梢神経障害を呈したEGPA6例の臨床症状・神経伝導検査の検討**

○浦 茂久, 穴田麻真子, 水島 慶一, 上床 尚

旭川赤十字病院

**P21-3 特発性腓腹神経障害の1例**○國保 倫子<sup>1</sup>, 金 景成<sup>1</sup>, 井須 豊彦<sup>2</sup>, 松元 秀次<sup>3</sup>, 森本大二郎<sup>4</sup>, 岩本 直高<sup>4</sup>, 森田 明夫<sup>4</sup><sup>1</sup>日本医科大学千葉北総病院脳神経センター, <sup>2</sup>釧路労災病院脳神経外科, <sup>3</sup>日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>日本医科大学脳神経外科**P21-4 当院における絞扼性総腓骨神経障害の診断と治療**○國保 倫子<sup>1</sup>, 金 景成<sup>1</sup>, 井須 豊彦<sup>2</sup>, 松元 秀次<sup>3</sup>, 森本大二郎<sup>4</sup>, 岩本 直高<sup>4</sup>, 森田 明夫<sup>4</sup><sup>1</sup>日本医科大学千葉北総病院脳神経センター, <sup>2</sup>釧路労災病院脳神経外科, <sup>3</sup>日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>日本医科大学脳神経外科**P21-5 大腿深動脈瘤に伴う坐骨神経障害**○花岡 拓哉<sup>1</sup>, 藪内 健一<sup>1</sup>, 木村 成志<sup>1</sup>, 松原 悦朗<sup>1</sup>, 梅野 惟史<sup>2</sup>, 宮本 伸二<sup>2</sup><sup>1</sup>大分大学神経内科学講座, <sup>2</sup>大分大学心臓血管外科学講座**P21-6 神経痛性筋萎縮症10例の検討**

○森本 伶美, 戸田 晋央, 飯嶋 睦, 北川 一夫

東京女子医科大学病院脳神経内科

**P21-7 アイザックス症候群の診断におけるピットフォールを知る**

○森 仁

倉敷中央病院脳神経内科

- P21-8 重症手根管症候群の順行性感覚神経活動電位測定時の刺激位置**  
 ○原 由紀則, 田尻 康人, 川野 健一  
 都立広尾病院末梢神経外科
- P21-9 抗CNTN1 IgG4抗体陽性, IgG4 関連疾患を合併した脱髄型ポリニューロパチーの一例**  
 ○濱口 真衣<sup>1</sup>, 国分 則人<sup>1</sup>, 船越 慶<sup>1</sup>, 松田 葉月<sup>2</sup>, 駒ヶ嶺朋子<sup>1</sup>, 大沼 広樹<sup>1</sup>,  
 青木 怜佳<sup>1</sup>, 鈴木 圭輔<sup>1</sup>, 平田 幸一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>獨協医科大学病院脳神経内科, <sup>2</sup>獨協医科大学病院病理診断科
- P21-10 脱髄性ニューロパチーの臨床病型と自己抗体に基づいた電気生理学的特徴の比較**  
 ○水地 智基, 三澤 園子, 澁谷 和幹, 常山 篤子, 鈴木 陽一, 中村 圭吾, 狩野 裕樹,  
 大谷 亮, 諸岡茉里恵, 青墳 佑弥, 桑原 聡  
 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学
- P21-11 運動神経伝導検査パラメータを用いた判別分析による Charcot-Marie-Tooth 病 1A と抗 MAG 抗体陽性ニューロパチーの新たな鑑別法**  
 ○神林 隆道, 濱田 雄一, 北國 圭一, 畑中 裕己, 園生 雅弘  
 帝京大学医学部脳神経内科
- P21-12 抗 MAG 抗体関連ニューロパチー：予後不良群の神経伝導の特徴**  
 ○中村 圭吾<sup>1</sup>, 関口 縁<sup>2</sup>, 諸岡茉里恵<sup>1</sup>, 大谷 亮<sup>1</sup>, 青墳 佑弥<sup>1</sup>, 狩野 裕樹<sup>1</sup>,  
 常山 篤子<sup>1</sup>, 鈴木 陽一<sup>1</sup>, 水地 智基<sup>1</sup>, 澁谷 和幹<sup>1</sup>, 桑原 聡<sup>1</sup>, 三澤 園子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学医学部附属病院脳神経内科, <sup>2</sup>JR 東京総合病院脳神経内科
- P21-13 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に伴う末梢神経障害の初回治療と長期予後の関連について**  
 ○森島 亮<sup>1</sup>, 清水 俊夫<sup>1</sup>, 木田 耕太<sup>1</sup>, 木村 英紀<sup>1</sup>, 頼母木直樹<sup>2</sup>, 横川 直人<sup>2</sup>,  
 高橋 一司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都立神経病院脳神経内科, <sup>2</sup>東京都立多摩総合医療センターリウマチ膠原病科
- P21-14 CIDP における電気生理・病理学的所見および NF155 自己抗体と血清ニューロフィラメント濃度との関連**  
 ○深見 祐樹<sup>1</sup>, 飯島 正博<sup>1,2</sup>, 小池 春樹<sup>1</sup>, 橋詰 淳<sup>1</sup>, 勝野 雅央<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋大学神経内科, <sup>2</sup>名古屋大学先端医療・臨床研究支援センター
- P21-15 重症 COVID-19 発症後に遅発性両側顔面神経麻痺を呈した 1 例**  
 ○乾 涼磨, 藤原 悟, 比谷 里美, 片上 隆史, 塩見 悠真, 中澤 晋作, 木村正夢嶺,  
 黒田 健仁, 角替麻里絵, 石山 浩之, 前川 嵩太, 村上 泰隆, 石井 淳子, 尾原 信行,  
 吉村 元, 幸原 伸夫, 川本 未知  
 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科
- P21-16 多発脳神経麻痺で発症し、膠原病の関与が疑われた慢性炎症性脱髄性多発根神経炎：CIDP の一例**  
 ○木村 裕子<sup>1</sup>, 神末 怜<sup>1</sup>, 長谷川 樹<sup>1</sup>, 武田 景敏<sup>1</sup>, 田村 暁子<sup>2</sup>, 伊藤 義彰<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪市立大学大学院医学研究科脳神経内科学, <sup>2</sup>住友病院脳神経内科
- P21-17 急性期ギラン・バレー症候群の神経伝導検査基準はどれが有用か？**  
 ○関口 縁<sup>1</sup>, 三澤 園子<sup>2</sup>, 網野 寛<sup>1,2</sup>, 水地 智基<sup>2</sup>, 桑原 聡<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>JR 東京総合病院脳神経内科, <sup>2</sup>千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学

- P21-18 Preligamentous typeの正中神経反回枝変異を呈した手根管症候群の1例**  
 ○立山 佳祐, 神林 隆道, 畑中 裕己, 園生 雅弘  
 帝京大学医学部脳神経内科
- P21-19 乳癌に対するエリブリンを含む化学療法後にミオキミアを伴う多巣性脱髄性ニューロパチーをきたした一例**  
 ○角替麻里絵, 藤原 悟, 塩見 悠真, 比谷 里美, 乾 涼磨, 中澤 晋作, 木村正夢嶺, 黒田 健仁, 石山 浩之, 前川 嵩太, 村上 泰隆, 石井 淳子, 尾原 信行, 吉村 元, 幸原 伸夫, 川本 未知  
 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経内科
- P21-20 約30年来の進行性四肢体幹筋力低下・翼状肩甲を生じ慢性神経原性変化を示した70歳女性**  
 ○貴田 浩之<sup>1</sup>, 白石 朋敬<sup>1</sup>, 梅原 淳<sup>1</sup>, 松野 博優<sup>1</sup>, 小松 鉄平<sup>1</sup>, 北川 友通<sup>1</sup>, 佐藤 健朗<sup>1</sup>, 高津 宏樹<sup>1</sup>, 坂井健一郎<sup>1</sup>, 大本 周作<sup>1</sup>, 三村 秀毅<sup>1</sup>, 村上 秀友<sup>1</sup>, 井口 保之<sup>1</sup>, 園生 雅弘<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学内科学講座脳神経内科, <sup>2</sup>帝京大学神経内科学講座
- P21-21 慢性炎症性脱髄性多発神経ニューロパチーにおける abnormal median-normal sural (AMNS) patternと機能予後の検討**  
 ○常山 篤子, 澁谷 和幹, 三澤 園子, 水地 智基, 鈴木 陽一, 中村 圭吾, 狩野 裕樹, 桑原 聡  
 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学
- P21-22 Guillain-Barre 症候群分類不能群の診断基準においての予後の違い**  
 ○大成 圭子, 岩中行己男, 橋本 智代, 岡田 和将, 足立 弘明  
 産業医科大学医学部神経内科学

## P22 神経筋接合部・筋疾患

- P22-1 下肢遠位筋脱力と末梢神経障害とを呈したBAG3ミオパチーの一家系**  
 ○国分 則人<sup>1</sup>, 濱口 眞衣<sup>1</sup>, 青木 玲佳<sup>1</sup>, 駒ヶ嶺朋子<sup>1</sup>, 平田 幸一<sup>1</sup>, 鈴木 圭輔<sup>1</sup>, 井上 道雄<sup>2</sup>, 西野 一三<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>獨協医大脳神経内科, <sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部
- P22-2 2019年夏季に当科で経験した流行性筋痛症の成人例10例の検討**  
 ○濱田 雄一, 高橋 和沙, 立山 佳祐, 今野 正裕, 田中 園子, 松倉 清司, 神林 隆道, 北国 圭一, 畑中 裕己, 園生 雅弘  
 帝京大学医学部脳神経内科
- P22-3 多発筋炎・皮膚筋炎におけるpseudo-myotonic discharge**  
 ○友部 未来<sup>1</sup>, 原 元彦<sup>4,5</sup>, 安田 喜内<sup>1</sup>, 寺井 弘江<sup>1</sup>, 塚越 直人<sup>1</sup>, 仲野 浩<sup>1</sup>, 諸貫 孝久<sup>1</sup>, 武内 信一<sup>1</sup>, 池田 桂<sup>2</sup>, 横田 和浩<sup>3</sup>, 三村 俊英<sup>3</sup>, 前田 卓哉<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学病院中央検査部, <sup>2</sup>埼玉医科大学病院脳神経内科・脳卒中内科, <sup>3</sup>埼玉医科大学病院リウマチ膠原病科, <sup>4</sup>帝京大学溝口病院リハビリテーション科, <sup>5</sup>埼玉医科大学病院リハビリテーション科



- P22-4 腋窩多汗症に対するA型ボツリヌス毒素局注療法後に広範な筋無力症状を認めた1例**  
 ○城野 誉士, 宮地 洋輔, 東山 雄一, 小林 卓雄, 和田 大司, 窪田 瞬, 國井美紗子, 多田美紀子, 竹内 英之, 土井 宏, 田中 章景  
 横浜市立大学医学部脳神経内科・脳卒中科
- P22-5 F波検査が有用であった重症筋無力症の1例**  
 ○長谷 健司<sup>1</sup>, 植木 幹彦<sup>1</sup>, 畠山 美穂<sup>1</sup>, 右田 陽香<sup>1</sup>, 磯部 友紀<sup>1</sup>, 新保 和賢<sup>2</sup>, 緒方 昭彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北海道脳神経外科記念病院診療技術部臨床検査科, <sup>2</sup>北海道脳神経外科記念病院脳神経内科
- P22-6 重症筋無力症における複合筋活動電位振幅は筋力・重症度と相関する**  
 ○小島 雄太, 澁谷 和幹, 鶴沢 顕之, 三澤 園子, 水地 智基, 鈴木 陽一, 常山 篤子, 中村 圭吾, 狩野 裕樹, 桑原 聡  
 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学
- P22-7 末梢神経障害類似の筋力低下を来した低カリウム性ミオパチーの一例**  
 ○田中 理<sup>1</sup>, 工藤 洋祐<sup>2</sup>, 奈良 典子<sup>3</sup>, 甘利 和光<sup>4</sup>, 高橋 幸治<sup>1</sup>, 内田 愛子<sup>1</sup>, 友野 彩加<sup>1</sup>, 城倉 健<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立脳卒中神経脊椎センター検査部, <sup>2</sup>横浜市立脳卒中神経脊椎センター脳神経内科, <sup>3</sup>横浜市立脳卒中神経脊椎センター総合内科, <sup>4</sup>横浜市立脳卒中神経脊椎センター血管内治療科
- P22-8 神経反復刺激試験において漸減現象を認めた特発性炎症性筋疾患の1例**  
 ○今野 正裕, 神林 隆道, 小林 俊輔, 園生 雅弘  
 帝京大学医学部脳神経内科
- P22-9 完全寛解が示唆されたランバート・イートン筋無力症候群 (LEMS) の1例**  
 ○関谷 智子, 青原 健太, 二宮 怜子, 田村 暁子, 柴田 益成, 西中 和人, 宇高不可思  
 一般財団法人住友病院脳神経内科
- P22-10 体幹筋の減衰現象が陽性の眼筋型重症筋無力症は全身型へ移行しやすいか.**  
 ○末廣 大知, 渡部 俊介, 森本 耕平, 野田 佳克, 関口 兼司, 松本 理器  
 神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野
- P22-11 高頻度反復刺激試験と運動負荷の正常値構築運動負荷は正常上限60%、高頻度刺激の正常上限100%でよい**  
 ○畑中 裕己<sup>1</sup>, 芳賀 麻里<sup>2</sup>, 坂本 悠里<sup>2</sup>, 阿部 千晶<sup>2</sup>, 石崎 一穂<sup>2</sup>, 櫻井 靖久<sup>3</sup>, 松本 英之<sup>3</sup>, 園生 雅弘<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>帝京大学脳神経内科神経筋電気診断センター, <sup>2</sup>三井記念病院臨床検査部, <sup>3</sup>三井記念病院脳神経内科

## P23 その他の神経内科領域

### P23-1 電気生理検査により脊髄後索障害が診断された神経梅毒の一例

○松山ひとみ<sup>1</sup>, 安田さゆり<sup>1</sup>, 大村 由香<sup>1</sup>, 肥田埜悠美子<sup>1</sup>, 飯嶋 睦<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京女子医科大学病院中央検査部脳波・筋電図検査室, <sup>2</sup>東京女子医科大学脳神経内科

**P23-2 低血糖後に可逆的にPLEDs（周期性一側てんかん型放電）を認めた一例**○河村 祐貴<sup>1,3</sup>, 松橋 眞生<sup>2</sup>, 池田 昭夫<sup>2</sup>, 神田益太郎<sup>3</sup><sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床神経学, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座, <sup>3</sup>医仁会武田総合病院脳神経内科**P23-3 Paroxysmal sympathetic hyperactivityに対する神経性理学的検討**

○大田健太郎, 中村 航世, 五十嵐一也, 浦部 陽香, 金山 武史, 池田 哲彦, 會田 泉, 米持 洋介, 中島 孝

国立病院機構新潟病院

**P23-4 健常者における横隔膜筋厚と口腔内圧の検討**○大栗 聖由<sup>1</sup>, 池口 拓哉<sup>2</sup>, 和田 晋一<sup>3</sup>, 小河 佳織<sup>1</sup>, 前垣 義弘<sup>4</sup>, 樋本 尚志<sup>1</sup><sup>1</sup>香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科, <sup>2</sup>鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻, <sup>3</sup>天理医療大学医療学部臨床検査学科, <sup>4</sup>鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学**P24 その他の整形外科領域****P24-1 下垂足の電気診断**

○田村 暁子, 青原 健太, 二宮 怜子, 関谷 智子, 柴田 益成, 當間圭一郎, 西中 和人, 宇高不可思

住友病院脳神経内科

**P24-2 手根管症候群における超音波正中神経断面積計測と神経伝導検査の関連性**

○長谷川和重

仙塩利府病院整形外科

**P24-3 頸椎症性脊髄症における前屈圧迫増大症例の脊髄障害伸展様式～ KinematicCT ミエログラフィーと脊髄誘発電位からの検討～**○藤本 和弘<sup>1</sup>, 船場 真裕<sup>2</sup>, 今城 靖明<sup>2</sup>, 永尾 祐治<sup>2</sup>, 坂本 拓哉<sup>2</sup>, 山本 学<sup>1</sup>, 坂井 孝司<sup>2</sup><sup>1</sup>JCHO 徳山中央病院整形外科, <sup>2</sup>山口大学整形外科**P24-4 頸椎後縦靭帯骨化症における脊髄誘発電位の臨床的意義**○高橋 雅人<sup>1</sup>, 里見 和彦<sup>2</sup>, 長谷川 淳<sup>3</sup>, 佐野 秀仁<sup>1</sup>, 長谷川雅一<sup>4</sup>, 辻 将明<sup>1</sup>, 市村 正一<sup>1</sup>, 細金 直文<sup>1</sup><sup>1</sup>杏林大学医学部整形外科学教室, <sup>2</sup>三鷹病院整形外科, <sup>3</sup>清智会記念病院整形外科, <sup>4</sup>久我山病院整形外科**P24-5 リバース型人工関節全置換術による腕神経叢障害の検査**

○原 友紀, 西浦 康正, 松本 佑啓, 十時 靖和, 大西 信三, 山崎 正志

筑波大学医学医療系整形外科

## P25 リハビリテーション

### P25-1 健常成人の下肢に対する全身振動刺激が皮質内および脊髄興奮性に及ぼす影響：予備的研究

○宮良 広大<sup>1,2</sup>, 衛藤 誠二<sup>3</sup>, 河村健太郎<sup>3</sup>, 大渡 昭彦<sup>4</sup>, 丸山 敦夫<sup>3</sup>, 下堂 蘭 恵<sup>3</sup>

<sup>1</sup>鹿児島大学病院リハビリテーション部, <sup>2</sup>鹿児島大学大学院保健学研究科, <sup>3</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学, <sup>4</sup>鹿児島大学医学部保健学科

### P25-2 高頻度反復経頭蓋磁気刺激による持続的注意の増強と脳内ネットワーク活動の相関

○石井 良平<sup>1,2</sup>, 池田俊一郎<sup>3</sup>, レザ カゼミ<sup>4</sup>, 畑 真弘<sup>2</sup>, パスカマルキー ロベルト<sup>5</sup>, 上田 将也<sup>1</sup>, 上野 慶太<sup>1</sup>, 内藤 泰男<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科臨床支援系領域, <sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科精神医学, <sup>3</sup>関西医科大学神経精神科, <sup>4</sup>Atieh Clinical Neuroscience Center, Tehran, Iran, <sup>5</sup>The KEY Institute for Brain-Mind Research, University Hospital of Psychiatry, Zurich, Switzerland

### P25-3 previous trial effect に関与する皮質領野

○小田 仁志<sup>1</sup>, 澤口 靖<sup>1</sup>, 國村 洋志<sup>1</sup>, 川崎 拓<sup>1</sup>, 平岡 浩一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科, <sup>2</sup>大阪府立大学地域保健学域

### P25-4 運動学習を促進する認知課題に特徴的な要素の探索

○木村 剛英<sup>1</sup>, 中野 渉<sup>2</sup>

<sup>1</sup>つくば国際大学医療保健学部理学療法学科, <sup>2</sup>常葉大学健康科学部静岡理学療法学科

### P25-5 球脊髄性筋萎縮症の3症例 -筋力の長期経過について-

○森嶋 直人, 中川 光仁, 石川 知志

豊橋市民病院リハビリテーションセンター

### P25-6 前頭葉腫瘍摘出術後の手指力調節機能

○梁 楠<sup>1,2</sup>, 山脇 理恵<sup>2</sup>, 松本杏美莉<sup>1,2</sup>, 馬場 千夏<sup>1,2</sup>, 上田 将也<sup>2</sup>, 南角 学<sup>2</sup>, 峰晴 陽平<sup>3</sup>, 山尾 幸広<sup>3</sup>, 菊池 隆幸<sup>3</sup>, 池口 良輔<sup>4</sup>, 松田 秀一<sup>4</sup>, 荒川 芳輝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, <sup>2</sup>京都大学医学部附属病院リハビリテーション部, <sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科脳神経外科学, <sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科整形外科学

### P25-7 下肢rTMS(repetitive Transcranial Magnetic Stimulation)とボツリヌス療法, 理学療法(PT)の併用による脳卒中片麻痺患者の下肢・体幹機能と歩行能力の改善

○生田 旭洋<sup>1</sup>, 石黒 正樹<sup>1</sup>, 田島 資子<sup>1</sup>, 岡元 信弥<sup>1</sup>, 辻 朋浩<sup>1</sup>, 稲垣 亜紀<sup>2</sup>, 堀本 佳彦<sup>2</sup>, 小川 鉄男<sup>3</sup>

<sup>1</sup>名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院理学療法科, <sup>2</sup>名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院脳神経内科, <sup>3</sup>名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院第1リハビリテーション部

### P25-8 脳卒中片麻痺患者における足関節ロボットでの底屈及び背屈アシストが歩行パラメータに及ぼす影響 -床反力と時間的因子の左右対称性に着目して-

○久保 峰鳴<sup>1,2</sup>, 森 拓也<sup>1</sup>, 桑原 高幸<sup>1,3</sup>, 森 公彦<sup>3</sup>, 野田 智之<sup>4</sup>, 長谷 公隆<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学リハビリテーション医学講座, <sup>2</sup>畿央大学大学院健康科学研究科, <sup>3</sup>関西医科大学付属病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>国際電気通信基礎技術研究所

- P25-9 聴覚刺激を2回および20回呈示した後に一定間隔を意識して打った手拍子のリズムの正確性について**  
 ○高橋 優基<sup>1</sup>, 前田 剛伸<sup>1</sup>, 藤原 聡<sup>1</sup>, 嘉戸 直樹<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科
- P25-10 足関節ロボットによる底屈及び背屈アシスト中の歩行時COP経時的変化**  
 ○森井 裕太<sup>1</sup>, 森 拓也<sup>2</sup>, 久保 峰鳴<sup>2,4</sup>, 桑原 嵩幸<sup>2,3</sup>, 森 公彦<sup>3</sup>, 野田 智之<sup>5</sup>, 竹内 翔<sup>1,2</sup>, 長谷 公隆<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学くずは病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医科大学リハビリテーション医学講座, <sup>3</sup>関西医科大学附属病院リハビリテーション科, <sup>4</sup>畿央大学大学院健康科学研究科, <sup>5</sup>国際電気通信基礎技術研究所
- P25-11 異なる感覚刺激を用いたニューロフィードバックトレーニングが健常者の運動イメージ想起能力に及ぼす即時的効果**  
 ○中野 英樹<sup>1</sup>, 岡本 純平<sup>2</sup>, 島 圭介<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>京都橘大学大学院健康科学研究科, <sup>2</sup>横浜国立大学大学院工学研究院
- P25-12 下肢随意運動時における上肢脊髄前角細胞への影響の左右差**  
 ○嘉戸 直樹<sup>1</sup>, 藤原 聡<sup>1</sup>, 高橋 優基<sup>1</sup>, 前田 剛伸<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科
- P25-13 電気前庭刺激が立位保持中の若年健常者の血圧に及ぼす影響**  
 ○松木 明好<sup>1</sup>, 柳野 浩司<sup>2</sup>, 塩崎 智之<sup>3</sup>, 岡田 洋平<sup>4</sup>, 森 信彦<sup>5</sup>, 中村 潤二<sup>4,6</sup>, 堂地 晋弥<sup>7</sup>, 澳 昂佑<sup>8</sup>, 田丸 佳希<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>四條畷学園大学リハビリテーション学部, <sup>2</sup>関西福祉科学大学, <sup>3</sup>奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教室, <sup>4</sup>畿央大学大学院健康科学研究科, <sup>5</sup>大阪大学大学院医学系研究科脳神経機能再生学, <sup>6</sup>西大和リハビリテーション病院, <sup>7</sup>国立病院機構和歌山病院, <sup>8</sup>川崎医療福祉大学リハビリテーション学部
- P25-14 寒さで手がかじかむ感覚の神経生理学的検討**  
 ○佐藤あやの, 今井 富裕  
 札幌医科大学保健医療学部
- P25-15 母指の正確な運動範囲の調節が短潜時SEPに及ぼす影響**  
 ○木下 晃紀<sup>1</sup>, 山本 吉則<sup>2,3</sup>, 嘉戸 直樹<sup>4</sup>, 鈴木 俊明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>2</sup>榊原白鳳病院リハビリテーション科, <sup>3</sup>榊原白鳳病院リハビリテーション臨床研究部, <sup>4</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科
- P25-16 手指反復運動の運動頻度の割合の変化が短潜時SEPに及ぼす影響**  
 ○山本 吉則<sup>1,2</sup>, 嘉戸 直樹<sup>3</sup>, 鈴木 俊明<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>榊原白鳳病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>榊原白鳳病院リハビリテーション臨床研究部, <sup>3</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科, <sup>4</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科
- P25-17 収縮強度の違いが体性感覚入力に及ぼす影響**  
 ○清原 克哲<sup>1,2</sup>, 山本 吉則<sup>1</sup>, 嘉戸 直樹<sup>2</sup>, 鈴木 俊明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療鳳林会榊原白鳳病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院, <sup>3</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法士学科

- P25-18 健常者の最大努力吸気時における吸気筋の筋厚と筋電波形の関係**  
○岩月 宏泰  
青森県立保健大学大学院
- P25-19 局所振動刺激により上肢機能の改善を得た不全脊髄損傷の一例**  
○河村健太郎<sup>1</sup>, 衛藤 誠二<sup>1</sup>, 大田 篤<sup>1</sup>, 天野 夢子<sup>1</sup>, 新留 誠一<sup>2</sup>, 下堂 蘭 恵<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学医歯学総合研究科リハビリテーション医学, <sup>2</sup>鹿児島大学病院リハビリテーション部
- P25-20 一側母指の運動角度の調節が対側上肢脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響**  
○佐野 紘一<sup>1,2</sup>, 嘉戸 直樹<sup>3</sup>, 高橋 優基<sup>3</sup>, 前田 剛伸<sup>3</sup>, 浪越 翔太<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北須磨病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>3</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科
- P25-21 異なる収縮強度での周期的な母指外転運動後の脊髄前角細胞の興奮性変化**  
○黒部 正孝<sup>1</sup>, 松原 広幸<sup>1,3,4</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>田辺中央病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>3</sup>介護老人保健施設田辺すみれ苑リハビリテーション科, <sup>4</sup>金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
- P25-22 Mental Rotation 課題中の脊髄前角細胞の興奮性とイメージする身体部位の角度との関連性について**  
○野村 真<sup>1</sup>, 松元 秀次<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>日本医科大学千葉北総病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>日本医科大学大学院医学研究科リハビリテーション学分野
- P25-23 実運動練習が心的一致時間と脊髄前角細胞の興奮性に与える変化**  
○松原 広幸<sup>1,2,3</sup>, 黒部 正孝<sup>2,4</sup>, 鈴木 俊明<sup>4</sup>, 浅井 仁<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>介護老人保健施設田辺すみれ苑リハビリテーション科, <sup>2</sup>田辺中央病院リハビリテーション科, <sup>3</sup>金沢大学医薬保健学総合研究科, <sup>4</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>5</sup>金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域
- P25-24 手のメンタルローテーション課題の注視位置の違いは小指外転筋に対応する脊髄前角細胞の興奮性を変化させる**  
○柳川 洸輔<sup>1,3</sup>, 前田 剛伸<sup>1,2</sup>, 鈴木 俊明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>鎌倉病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科
- P25-25 収縮強度が異なる静止課題を観察した際の脊髄前角細胞の興奮性について**  
○田坂 悠貴<sup>1</sup>, 高崎 浩壽<sup>1</sup>, 末廣 健児<sup>2</sup>, 石濱 崇史<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団石鎚会リハビリテーション部, <sup>2</sup>医療法人社団石鎚会法人本部, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科
- P25-26 下肢における観察課題の違いにより脊髄前角細胞の興奮性へ与える影響には相違が生じる**  
○高崎 浩壽<sup>1</sup>, 末廣 健児<sup>2</sup>, 石濱 崇史<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団石鎚会リハビリテーション部, <sup>2</sup>医療法人社団石鎚会法人本部, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科

**P25-27 運動観察における観察対象の範囲の違いにより脊髄前角細胞の興奮性は異なる**○角川 広輝<sup>1,3</sup>, 高崎 浩壽<sup>1</sup>, 末廣 健児<sup>2</sup>, 石濱 崇史<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>3</sup><sup>1</sup>医療法人社団石鎚会リハビリテーション部, <sup>2</sup>医療法人社団石鎚会法人本部, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科**P25-28 母指の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—単関節と多関節による検討—**○前田 剛伸<sup>1</sup>, 高橋 優基<sup>1</sup>, 藤原 聡<sup>1</sup>, 嘉戸 直樹<sup>1</sup>, 鈴木 俊明<sup>2</sup><sup>1</sup>神戸リハビリテーション福祉専門学校理学療法学科, <sup>2</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科**P26 歩行・姿勢・動作分析****P26-1 取り下げ****P26-2 成人脊柱変形患者における脊柱矯正手術後の立位重心動揺パワースペクトル変化**○伊藤 駿<sup>1</sup>, 森 公彦<sup>1</sup>, 間野 直人<sup>1,2</sup>, 小西 隆幸<sup>1</sup>, 倉本 仁<sup>1</sup>, 齋藤 貴徳<sup>3</sup>, 長谷 公隆<sup>4</sup><sup>1</sup>関西医科大学附属病院リハビリテーション科, <sup>2</sup>関西医科大学大学院医学研究科医科学専攻リハビリテーション医学, <sup>3</sup>関西医科大学整形外科学講座, <sup>4</sup>関西医科大学リハビリテーション医学講座**P26-3 成人脊柱変形術後の歩行速度に関連する術後早期の歩行指標の新たな解析—データマイニングによる抽出—**○間野 直人<sup>1</sup>, 森 公彦<sup>2</sup>, 牛久保智宏<sup>3</sup>, 小西 隆幸<sup>2</sup>, 伊藤 駿<sup>2</sup>, 倉本 仁<sup>2</sup>, 金 光浩<sup>2</sup>, 齋藤 貴徳<sup>4</sup>, 長谷 公隆<sup>5</sup><sup>1</sup>関西医科大学大学院医学研究科医科学専攻リハビリテーション医学, <sup>2</sup>関西医科大学附属病院リハビリテーション科, <sup>3</sup>アニマ株式会社 AI研究開発部, <sup>4</sup>関西医科大学整形外科学講座, <sup>5</sup>関西医科大学リハビリテーション医学講座**P26-4 片麻痺患者の歩行における麻痺側下肢のCOPと床反力の関係**○森 拓也<sup>1</sup>, 桑原 嵩幸<sup>1,2</sup>, 久保 峰鳴<sup>1,3</sup>, 君家 英子<sup>1</sup>, ドルジラブダン ムンフデルゲル<sup>1</sup>, 森 公彦<sup>2</sup>, 野田 智之<sup>4</sup>, 長谷 公隆<sup>1,2</sup><sup>1</sup>関西医科大学医学部リハビリテーション医学講座, <sup>2</sup>関西医科大学付属病院リハビリテーション科, <sup>3</sup>畿央大学大学院健康科学研究科, <sup>4</sup>国際電気通信基礎技術研究所 ATR**P26-5 脳卒中片麻痺患者に対する足関節アシストロボット歩行における異なる底屈アシストによる麻痺側推進力の変化**○桑原 嵩幸<sup>1,2</sup>, 森 公彦<sup>2</sup>, 森 拓也<sup>3</sup>, 久保 峰鳴<sup>3</sup>, 間野 直人<sup>1,2</sup>, 中條 雄太<sup>1,2</sup>, 金 光浩<sup>2</sup>, 野田 智之<sup>3,4</sup>, 長谷 公隆<sup>1,2,3</sup><sup>1</sup>関西医科大学大学院医学研究科リハビリテーション医学, <sup>2</sup>関西医科大学附属病院リハビリテーション科, <sup>3</sup>関西医科大学リハビリテーション医学講座, <sup>4</sup>国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)**P26-6 右片麻痺と仮定した健常成人の着衣動作分析—KINECTを用いた検討—**○松野 豊<sup>1</sup>, 緒方 勝也<sup>2</sup>, 後藤 和彦<sup>3</sup>, 池田 拓郎<sup>4</sup>, 岡 真一郎<sup>4</sup>, 後藤 純信<sup>5</sup><sup>1</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部作業療法学科, <sup>2</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部薬学科, <sup>3</sup>佐賀大学理工学部, <sup>4</sup>国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科, <sup>5</sup>国際医療福祉大学医学部生理学講座

**P26-7 片麻痺側の利き手による書字 – 習熟運動の特徴 –**

○藤澤 祐基, 岡島 康友, 中野 尚子  
杏林大学保健学部

**P26-8 パーキンソン病における転倒を予測する重心動揺測定による定量的解析**

○樋口 佳則<sup>1</sup>, Yakufujiang Maidinamu<sup>1</sup>, 青柳 京子<sup>2</sup>, 山本 達也<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学医学部脳神経外科, <sup>2</sup>千葉県循環器病センター脳神経外科, <sup>3</sup>千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科

**P26-9 PD患者歩行運動特徴の定量評価パラメータの有効性**

○井手 順子<sup>1</sup>, 後藤 和彦<sup>2</sup>, 杉 剛直<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>西南学院大学人間科学部社会福祉学科, <sup>2</sup>佐賀大学理工学部, <sup>3</sup>佐賀大学大学院工学系研究科

**P26-10 ヴァーチャル環境における擬似捕球動作：反応時間による評価**

○井田 博史<sup>1</sup>, 福原 和伸<sup>2</sup>, 緒方 貴浩<sup>3</sup>, 井上 哲理<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>上武大学ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科, <sup>2</sup>東京都立大学人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域, <sup>3</sup>帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科, <sup>4</sup>神奈川工科大学情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科

**P26-11 視覚情報の有無がBimanual load-lifting task時の予測性姿勢調節に及ぼす影響**

○桑原 貴之, 田村 優衣, 久保 南実, 松本 卓也, 陳 瀟瀟, 柚木 啓輔, 渡邊 達憲, 桐本 光  
広島大学医系科学研究科感覚運動神経科学教室

**P27 術中モニタリング****P27-1 Anesthetic Fade改善における刺激増加率の検討**

○橋本 朋久<sup>1</sup>, 宇野 耕吉<sup>2</sup>, 川北 晃平<sup>2</sup>, 鈴木 哲平<sup>2</sup>, 伊藤 雅明<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国立病院機構神戸医療センター臨床工学部, <sup>2</sup>国立病院機構神戸医療センター整形外科

**P27-2 運動誘発電位(MEP)経頭蓋定電圧刺激における刺激電流値の検討**

○横塚恵理子<sup>1</sup>, 佐々木亮介<sup>1</sup>, 玉城 瑛信<sup>1</sup>, 大川 修<sup>1</sup>, 森 英輝<sup>1</sup>, 藤井 暁<sup>1</sup>, 餅田 裕太<sup>1</sup>, 岩田 湧斗<sup>1</sup>, 丸山 悟<sup>1</sup>, 清水 徹<sup>1</sup>, 後藤 哲哉<sup>2</sup>, 田中雄一郎<sup>2</sup>, 赤澤 努<sup>3</sup>, 井上莊一郎<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学病院クリニカルエンジニア部, <sup>2</sup>聖マリアンナ医科大学病院脳神経外科, <sup>3</sup>聖マリアンナ医科大学病院整形外科学, <sup>4</sup>聖マリアンナ医科大学病院麻酔学教室

**P27-3 脳動脈瘤クリッピング術における経頭蓋MEPの刺激電極の位置についての検討**

○奥川 茜, 大島 彩子, 藤田あゆみ, 岡田耕一郎, 成清 道久, 長崎 弘和, 壺井 祥史  
川崎幸病院医療技術部検査科

**P27-4 遅発性に経頭蓋刺激筋誘発電位のアラームを生じたLenke type 4 特発性側弯症の1例**

○吉田 剛, 長谷川智彦, 大和 雄, 坂野 友啓, 有馬 秀幸, 大江 慎, 三原 侑暉, 後迫 宏紀, 松山 幸弘  
浜松医科大学整形外科

- P27-5 下肢導出を目的とした経頭蓋MEP刺激法 ～200症例を通しての見解～**  
 ○池田 紘二<sup>1</sup>, 細江 将之<sup>1</sup>, 柏原 博子<sup>1</sup>, 山本 慎司<sup>2</sup>, 松岡 龍太<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人社団英名会大西脳神経外科病院臨床検査科・臨床工学科, <sup>2</sup>医務部脳神経外科
- P27-6 小児脳外科におけるテタヌス刺激によるMEP増幅効果の検討**  
 ○本山 靖<sup>1</sup>, 高谷 恒範<sup>2</sup>, 朴 永銖<sup>1</sup>, 林 浩伸<sup>3</sup>, 川口 昌彦<sup>3</sup>, 中瀬 裕之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>奈良県立医科大学脳神経外科, <sup>2</sup>奈良県立医科大学中央手術部, <sup>3</sup>奈良県立医科大学麻酔科
- P27-7 長時間脊椎手術から検討したAnesthetic fade発生要因について**  
 ○柳澤 義和<sup>1</sup>, 梅崎 遼平<sup>2</sup>, 竹本 啓貴<sup>2</sup>, 江崎 康隆<sup>2</sup>, 田中 宏明<sup>3</sup>, 谷口 良雄<sup>3</sup>,  
 松田 和久<sup>3</sup>, 大賀 正義<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福岡みらい病院整形外科・脊椎脊髄病センター, <sup>2</sup>福岡みらい病院離床工学科, <sup>3</sup>福岡みらい病院麻酔科
- P27-8 術中経頭蓋MEPモニタリングにおける末梢神経刺激CMAPによるAnesthetic fadeの補正**  
 ○田中 聡<sup>1,2</sup>, 渡邊 智子<sup>3</sup>, 高梨 淳子<sup>4</sup>, 岡 秀宏<sup>5</sup>, 秋元 治朗<sup>6,7</sup>  
<sup>1</sup>帝京平成大学健康医療スポーツ学部作業療法学科, <sup>2</sup>AOI七沢リハビリテーション病院脳神経外科, <sup>3</sup>目白第二病院臨床工学科, <sup>4</sup>北里大学メディカルセンター脳神経外科, <sup>5</sup>北里大学メディカルセンター中央検査科, <sup>6</sup>総合病院厚生中央病院脳神経外科, <sup>7</sup>東京医科大学脳神経外科
- P27-9 内頸動脈前脈絡叢動脈分岐部動脈瘤手術におけるMEPを参考にしたクリップかけなおしの成績**  
 ○松岡 龍太<sup>1</sup>, 兒玉 裕司<sup>1</sup>, 池田 紘二<sup>2</sup>, 久我 純弘<sup>1</sup>, 大西 英之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大西脳神経外科病院脳神経外科, <sup>2</sup>大西脳神経外科病院臨床検査室
- P27-10 聴神経腫瘍手術における単・双極刺激での刺激反応強度の違い**  
 ○平石 哲也, 大石 誠, 佐野 正和, 小倉 良介, 藤井 幸彦  
 新潟大学脳研究所脳神経外科
- P27-11 乳児脊髄手術時の術中神経生理モニタリング**  
 ○埜中 正博<sup>1</sup>, 板倉 毅<sup>2</sup>, 斎藤 貴徳<sup>2</sup>, 浅井 昭雄<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学脳神経外科, <sup>2</sup>関西医科大学整形外科
- P27-12 条件変更でMEPが記録できた小児の2症例**  
 ○杉山 邦男<sup>1</sup>, 東谷 剛志<sup>1</sup>, 佐々木伸章<sup>1</sup>, 近藤 康介<sup>2</sup>, 原田 直幸<sup>2</sup>, 周郷 延雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部, <sup>2</sup>東邦大学医学部脳神経外科学講座 (大森)
- P27-13 胸椎後縦靭帯骨化症に対する前方除圧・骨化浮上手術における筋誘発電位による術中脊髄モニタリング**  
 ○牛尾 修太, 進藤 重雄, 中井 修  
 九段坂病院整形外科
- P27-14 思春期特発性側弯症手術における循環動態と経頭蓋電気刺激運動誘発電位の関係**  
 ○和田簡一郎, 熊谷玄太郎, 田中 直, 浅利 享, 石橋 恭之  
 弘前大学大学院医学研究科整形外科



- P27-15 MEDにおける腰椎椎間板ヘルニア切除操作後のMEP振幅低下についての検討**  
 ○志保井柳太郎<sup>1</sup>, 古閑比佐志<sup>2,3</sup>, 平畑 昌宏<sup>5</sup>, 藤田 宗義<sup>5</sup>, 石橋 勝彦<sup>3</sup>, 横須賀純一<sup>3</sup>, 岩井 宏樹<sup>2,3,4</sup>, 高野 裕一<sup>3,4</sup>, 稲波 弘彦<sup>3,4</sup>, 北川 知明<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>大野中央病院整形外科, <sup>2</sup>岩井FESSクリニック, <sup>3</sup>岩井整形外科内科病院整形外科, <sup>4</sup>稲波脊椎・関節病院整形外科, <sup>5</sup>帝京大学医学部附属病院整形外科
- P27-16 硬膜内髄外腫瘍手術における術中脊髄モニタリングの精度とアラーム発信に影響する因子の検討**  
 ○森戸 伸治<sup>1</sup>, 山田 圭<sup>1</sup>, 佐藤 公昭<sup>1</sup>, 横須賀公章<sup>1</sup>, 吉田 龍弘<sup>1</sup>, 中江 一朗<sup>1</sup>, 島崎 孝裕<sup>1</sup>, 猿渡 力也<sup>1</sup>, 西田 功太<sup>1</sup>, 坂田麻里奈<sup>1</sup>, 永田 見生<sup>2</sup>, 志波 直人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>久留米大学医学部整形外科, <sup>2</sup>永田整形外科
- P27-17 頸椎髄膜腫における術中モニタリングの経験**  
 ○岩瀬 正顕<sup>1</sup>, 浅井 昭雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学総合医療センター脳神経外科, <sup>2</sup>関西医科大学脳神経外科学講座
- P27-18 腰部脊柱管狭窄症の内視鏡下除圧手術における術中誘発筋電図の振幅増大現象とそのタイミング**  
 ○中川 幸洋, 延興 良夫, 寺口 真年, 米良 好正, 北山 啓太, 山根木一弘  
 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院整形外科
- P27-19 脳神経外科手術における滑車神経モニタリング**  
 ○佐藤 拓<sup>1</sup>, 板倉 毅<sup>1,2</sup>, 岩楯 兼尚<sup>1</sup>, 佐々木寛人<sup>1</sup>, 蛭田 亮<sup>1</sup>, バキット ムダシル<sup>1</sup>, 藤井 正純<sup>1</sup>, 佐久間 潤<sup>1</sup>, 齋藤 清<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部脳神経外科, <sup>2</sup>関西医科大学整形外科
- P27-20 片側顔面痙攣に対する神経血管減圧術における術中ABRモニタリングと術後聴力について**  
 ○尼崎 賢一, 内田 達哉, 細野 篤, 中口 博  
 三井記念病院脳神経外科
- P27-21 術中にSEPが回復した1症例**  
 ○植木 幹彦<sup>1</sup>, 長谷 健司<sup>1</sup>, 小柳 泉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人研仁会北海道脳神経外科記念病院診療技術部臨床検査科, <sup>2</sup>医療法人研仁会北海道脳神経外科記念病院脳神経外科
- P27-22 成人において陰部テタヌス刺激による運動誘発電位の振幅増幅効果について**  
 ○高谷 恒範<sup>1,2,5</sup>, 本山 靖<sup>3</sup>, 宮林 知誉<sup>2</sup>, 須賀 佑磨<sup>4</sup>, 山本 雄介<sup>4</sup>, 川崎佐智子<sup>4</sup>, 田中 誠人<sup>4</sup>, 重松 英樹<sup>4</sup>, 林 浩伸<sup>5</sup>, 中瀬 裕之<sup>3</sup>, 川口 昌彦<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>奈良県立医科大学附属病院中央手術部, <sup>2</sup>奈良県立医科大学附属病院中央臨床検査部, <sup>3</sup>奈良県立医科大学脳神経外科教室, <sup>4</sup>奈良県立医科大学整形外科学教室, <sup>5</sup>奈良県立医科大学麻酔科学教室

## P28 基礎神経生理

### P28-1 筋に関係する経絡上の経穴および支配神経上の経穴に対する経穴刺激理学療法が脊髄運動神経機能の興奮性に与える影響

○前田 翔梧<sup>1</sup>, 伊藤 夢基<sup>1</sup>, 島地 陽登<sup>1</sup>, 松下可南子<sup>1</sup>, 安井 柚夏<sup>1</sup>, 福本 悠樹<sup>2</sup>, 東藤真理奈<sup>2</sup>, 谷 万喜子<sup>2,3</sup>, 鈴木 俊明<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>関西医療大学保健医療学部理学療法学科, <sup>2</sup>関西医療大学臨床理学療法学教室, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科

### P28-2 運動と同時に進行運動イメージが脊髄神経機能の興奮性と運動の正確性に与える影響 -KVIQ2による検討-

○鶴田 菜月<sup>1,2</sup>, 鈴木 俊明<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>2</sup>医療法人社団董会北須磨病院リハビリテーション科

### P28-3 短趾伸筋の位置

○長谷川 修<sup>1</sup>, 奈良 典子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>横浜市立大学市民総合医療センター, <sup>2</sup>横浜市立脳卒中・神経脊椎センター神経内科

### P28-4 加算平均処理と平均値処理でのF波振幅値の比較

○東藤真理奈<sup>1,2</sup>, 鈴木 俊明<sup>2,3</sup>, 浅井 仁<sup>4</sup>

<sup>1</sup>金沢大学医薬保健学総合研究科保健学専攻, <sup>2</sup>関西医療大学保健医療学部臨床理学療法学教室, <sup>3</sup>関西医療大学大学院保健医療学研究科, <sup>4</sup>金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域

### P28-5 仮想環境における運動学習と実環境における運動学習との関連

○竹尾 雄飛<sup>1,2</sup>, 原 正之<sup>3</sup>, 白川 優菜<sup>4</sup>, 菅田 陽怜<sup>4</sup>

<sup>1</sup>大分大学大学院福祉健康科学研究科, <sup>2</sup>大分大学医学部附属病院リハビリテーション部, <sup>3</sup>埼玉大学理工学研究科, <sup>4</sup>大分大学福祉健康学部理学療法コース

## P29 BMI/BCI・情報処理・ME

### P29-1 フレキシブルセンサ素材を利用する完全埋込可能な脳計測システムの開発

○荒木 徹平<sup>1</sup>, 吉本 秀輔<sup>1</sup>, 濱中 裕喜<sup>2</sup>, 野田 祐樹<sup>1</sup>, 植村 隆文<sup>1</sup>, 根津 俊一<sup>1</sup>, 鶴田 修一<sup>1</sup>, 平田 雅之<sup>3</sup>, 関谷 毅<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学産業科学研究所, <sup>2</sup>情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター, <sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科脳機能診断再建学共同研究講座

### P29-2 視聴覚刺激後の脳波を用いたニューラルネットワークによる情動判別評価

○山本 祐輔<sup>1</sup>, 村松 歩<sup>1</sup>, 長原 一<sup>2</sup>, 武村 紀子<sup>2</sup>, 中島 悠太<sup>2</sup>, 水野 (松本) 由子<sup>1,3</sup>, 下條 真司<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科応用情報科学専攻, <sup>2</sup>大阪大学データビリティフロンティア機構, <sup>3</sup>大阪大学サイバーメディアセンター

**P29-3 スマートフォンを用いた情動刺激後における脳波の次数中心性**

○村松 歩<sup>1</sup>, 山本 祐輔<sup>1</sup>, 長原 一<sup>2</sup>, 武村 紀子<sup>2</sup>, 中島 悠太<sup>2</sup>, 水野 (松本) 由子<sup>1,3</sup>, 下條 真司<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科応用情報科学専攻, <sup>2</sup>大阪大学データリテリフロンティア機構, <sup>3</sup>大阪大学サイバーメディアセンター

**P29-4 不快画像呈示による顔面血流量および顔面紅斑指数変化と抑うつ尺度得点との関連**

○小谷 泰則<sup>1</sup>, 大上 淑美<sup>1</sup>, 朴 盛弘<sup>2</sup>, 橋詰 英希<sup>3</sup>, 平山 喬弘<sup>3</sup>, 松原 聡<sup>3</sup>, 新井潤一郎<sup>4</sup>, 後藤 尚志<sup>3</sup>, 兼子 幸一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京工業大学リベラルアーツ研究教育院, <sup>2</sup>鳥取大学医学部脳神経医科学講座, <sup>3</sup>ダイキン工業特機事業部, <sup>4</sup>ダイキン工業テクノロジーイノベーションセンター

**P29-5 AI (人工知能) を身近に感じる試み～針筋電図判読アプリ作成編～**

○戸田 晋央, 北川 一夫  
東京女子医科大学脳神経内科